滿洲日報
九月三十日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

精神的融和を目的に 日米民間使節を交換
松岡洋右氏に出馬懇請

【東京特電三十日發】廣田外相の計畫する日本民間使節交換については我國よりは松岡洋右氏の出馬を懇請することゝなるべく、米國よりはルーズヴェルト政權の外廓にある有力者モウレイ氏その他の來朝を求めこれによつて兩國の精神的融和の工作を開始する計畫であると(寫眞上は松岡氏、下はモウレイ氏)

【東京三十日發國通】滿洲事變勃發以來アメリカの對日感情は特に惡化し一九三五年の第二次華府海軍會議を前にして甚だ憂慮すべきものあるに鑑み、廣田外相は就任以來對米問題に重點を置き、これが好轉の手段を考究中だが、日米關係は由來政府間には何等衝突すべき具體的事實なきにも拘らず米國民は幻影に驚いてか日本に對する認識不足し兎角圓滿を缺く傾向にある、これが迷夢を打破するは日米問題解決の鍵であり、極東ひいては世界平和を招來するものであるとの見地より近く次の如き方法により積極的態度を以て乘出すことゝなつた、卽ち兩國政府間には條約などの形式によつて對立すべき問題はない、而して誤解は專ら米國民にあるが故に一般大衆の利益乃至信望のある民間の有力な政治家、實業家、或は新聞人等の來朝視察を歡迎しこれに對しては特別に便宜を提供し日本の現實を米國民に正解せしめる、これが人選、歡迎方法、期日、招請主催者等の問題は目下研究中に屬するが、外務省がデリケートな國民感情の融和を圖り日米恆久的平和關係維持に乘出した事は劃期的のもので成行は頗る注目されてゐる

石井代表一行

【香港二十九日發國通】世界經濟會議代表石井菊次郎子、深井英五氏一行は本日入港の箱根丸で當地に寄港した、一行は午後當地出帆一路故國に向ふ

協定線侵入者は斷乎之を排擊
密雲の我監視兵歸還に際し
關東軍司令部聲明

【新京電話】曩に關東軍は方振武軍の無軌道なる行動監視のため密雲に少數兵の集結を行つたが、これが歸還に關し關東軍司令部では三十日午前十時半左の如く聲明を發した

河北省方面に對する關東軍の行動は終始一貫嚴正公明なることを聲明す

曩に停戰協定の締結せらるゝや軍は速に兵を概ね長城の線に旋し滿洲國境域を確保する以外他意なきことを天下に闡明せり、然るに近時方振武軍は懷柔附近に占據し又于學忠軍の第百十八師は灤東地區に侵入するあり、兩者系統を異にすと雖も共に停戰協定を無視せる行動は一にして軍の斷じて許容し得ざる所のものたり、卽ち軍は公正なる立場に於て協定に則り兩者に對し共に撤退を要求し、一部の準備行動を準備するの已むなきに至りたるも、これ固より協定に基く公明嚴正なる行動にして彼等にして協定線外に撤退せば軍は直ちに舊態に復歸すべきや論を俟たず、若し夫れ右類團體にして再び停戰協定を無視し協定線內に侵入するが如きことあらば軍はその理由と系統の如何を問はず斷乎としてこれを排擊膺懲するの決意を有す

關東軍幕僚談

右に關し關東軍幕僚は語る

今回右の如き聲明を發するに至つたが、將來再び支那側に於て方振武その他の雜軍を暗に使嗾して不戰地區內に侵入せしめるが如きことは關東軍としては迷惑至極と言はねばならぬ、故に支那側で協定の精神を尊重して東亞平和の爲斯くの如きことをなからしめんことを希望して已まない

改編保安隊 北平に撤退

【新京電話】非武裝地域の治安維持を名として曩に于學忠は第百十八師の中二個團を保安隊に改編し非武裝地區に侵入せしめつゝあつたが、關東軍の嚴重なる警告に遭ひ二十八日まで完全にこれが北平への撤退を完了した

方、吉聯合軍 南口を北へ逃走

【北平三十日發國通】方振武吉鴻昌の反蔣聯合敗軍は湯山方面に殘黨の集結を圖つたが、我軍の空中よりの監視攻擊を避け一部平綏線切斷の目的を以て昨朝南口一帶の地に大部隊の集結を見たが、これに對する中央軍の防備攻擊により全く戰意を失ひ再び北方に逃走を開始した模樣である

察哈爾の政情調査

【南京二十九日發國通】汪精衞は二十九日朝中政會議において林森、居正、于右任等を招集して新疆事變、內蒙事變、河北の方吉問題を討議、黃紹雄と石靑陽を察哈爾に視察に行かしめ、軍政各般を指導せしめることになり兩氏の同意を得たならば近く發表することゝなつた

黑龍江省日系官吏異動

【チチハル二十九日發國通】孫省長、永井總務廳長の新任以來銓衡研究中であつた黑龍江省の日系官吏の人事大異動は本日それ〴〵內命が發せられ、岸谷總務科長は龍江縣參事官に、梅原經理科長は呼蘭縣參事官に轉ずる外、減俸も斷行のはず

滿鐵三次追加豫算
約一千萬圓に上る巨額

滿鐵の八年度追加豫算は四月の年度始めに出た撫順炭礦の增掘設備費を首めとして陸續相つぎ旣に二回拓務省に對し認可申請をなしたが、その後も緊急を要するものが續出するので、更に第三回の追加豫算申請をなし書類を關東廳に送ると共に說明をなすところがあつた、第三回の追加豫算は鐵道部六百五十萬圓、地方部二百五十萬圓を大物としその他細口で一千萬圓に近き巨額のもので、鐵道部の方は輸送能力增大費、電信設備增設費その他で地方部の方は小學校增設、學級增加、新京の水道工事および傳染病院新設費等である、これで四月の年度始めより僅か半年間に二千萬圓の追加豫算を計上したわけで原豫算の千五百萬圓に比して實に十五割といふ尨大なものでかくのごときは滿鐵財政史上にも前例のないところで今年の滿鐵が如何に緊急で翌年度まで待ち得ざるやうな事業に追はれてゐるかを示すものである

地方部關係の追加豫算

第三次追加豫算中、地方部關係の第一の項目をなしてゐるのは沿線の人口增加に伴ふ小學校の擴張で學校新設は

	學級數
奉天第六	一二
鞍山第二	七

で學級增加は

新京西公園	四
哈爾濱	一一

で增加學級總數は三十四學級に達して居り一學級平均五十人とすれば實に千七百人の學童が來年四月より一度にふえるわけである

顧維鈞の毒舌
きのふ聯盟總會で

【ジュネーヴ廿九日發國通】開會中の聯盟總會二十九日の本會議席上支那代表顧維鈞は豫想の如く日支問題を持出し聯盟の無爲無策を痛烈に皮肉り左の演說をなした

昨年度聯盟の業績は創立以來最も幻滅的失敗の年だ、支那が他の聯盟國より受けた武力侵略の犧牲となつた事實はその最たるものだ、宣戰布告無き戰爭の火蓋が切られたのは一九三一年九月十八日である、日本の東三省占據を不戰條約、九國條約の干犯である旨の報告書を聯盟は全部承認したが、報告書は更に日本は熱河を攻略北平天津を危險に瀕せしめたが、聯盟果して之を如何とみるか又將來如何に處置せんとするか余の聯盟に問はんとするところだと述べ最後に日本の惡罵攻擊に全力を盡し列國代表の神經を異常に刺戟した

黑龍江上流を觀る
スンガリーよりアムールへ (中)

駐滿海軍部司令部 海軍一等水兵 板津芳一手記

松花江沿岸中最も匪賊の多いと云ふ三姓下流を無事に蓮江口に着いて廣寧は此處で石炭積みをなして居たが私達は直に上陸して汽車で蓮江口の日本警備隊に行つた。下流の各地住民の家は崩壞して居るものが多く、警備隊の兵舍等も支那時代住民の家屋であつて、兵亂に逢ひ燒かれたもので、半燒の建物を一寸修理しただけのもので、想像以上の茅屋である、日本陸軍は艱難辛苦を嘗めながら日夜滿洲國の王道樂土建設に全力を盡して居る、佳木斯を發して同江に向ふ途中、綏濱に來た時、滿洲國軍艦が三隻碇泊して居た、是れは昨夜綏濱が匪賊に襲擊された爲め直に當地に急行し討伐の任務を負つて來たものであつた。

この話はハルビンに歸つてから聞いた話であるが、小林司令官一行が同江で廣寧を退艦せられた後廣寧は直に綏濱に返し日本陸軍と江防艦隊及び廣寧が一しょになつて共同作戰を行ひ討伐したとのことである。

◇

五日富錦に來た、日本人も相當に居て松花江下流第一の大きい町である、廣寧の乘員も初めて半舷上陸をした、私達の行動は各寄港地共大同小異である、滿洲國江防艦隊司令官尹少將の訪問があつた六日の夕方同江に着いた、遙かに對岸を眺めると「ソウエート」聯邦の領土が見える、翌七日滿洲國商船「上海」に乘りかへ日本海軍最初の黑龍江溯江に出た、右に「ソウエート」聯邦、左に新興滿洲國、此の國境河川は兩國の大小商船「ジャンク」等が航行し一大交通路をなして居る江水も松花江より淸く澄み大、小興安嶺の端が江に突出した所、茫漠たる大平原に江が幾條にも別れて居る。殊に「ソウエート」聯邦側に十數露里の間岩石が突出して高い絕壁をなし岩面には靑や黃の苔が一面に生へ一大美觀を呈して居る、又黑河上流の「ソウエート」聯邦側に數露里の間絕壁になり、褐炭色の岩石の層より自然に煙を出して居る地方住民はこれを火煙山又は冒煙山と稱して不思議に思つて居る文明人が見て科學的に速かに解決して正體を現すことは易いことであるが、科學知識に乏しい住民は容易に解くことの出來ない謎として居る、此の外に黑河上流滿洲國側に今度屏風岩と稱したが大きい屏風の樣な岩がある、松花江などでは見られないよい景色の所が多い兩岸の住民は再三續く水害のため財を奪はれ食料其他需用品の不足で困却して居る、特に「ソウエート」聯邦側では物資の缺乏と强制勞働の疲勞は其の極に達して居ることは黑龍江沿岸の住民を見ただけでも窺ひ知ることが出來る「ソウエート」聯邦領內より國境を脫出して滿洲國內に逃れて居る者の數は驚く程多數である、脫出の際滿洲國官憲に捕はれた者も相當居るが男は行方不明になつて居る、女は「ソウエート」聯邦內に護送されたならば「ゲ、ペ、ウ」の銃口に立たなくてはならぬから生を得んがためにあきらめて滿洲國人の妻、妾となつて居る、これ等が居るために黑龍江沿岸には混血兒が澤山居る。

その後の熱河 (8)
山口特派員撮影 島田特派員記

山莊熱河古碑

◇…昔、清朝行宮避暑山莊內に溫泉が湧出してゐた、ために河水は微溫を帶び冬期も凍らず、ここに熱河の地名が生れた、水經の註に曰く「濡水又東流し、武列水入る」とあり、濡水は灤河にして、武列水とは熱河である。

◇…山莊の一隅、水心榭の近くに「熱河」と刻んだ古碑が立つてゐる。元は溫泉の湧出する處にあつたと云ふが、今は研究家の手にその位置を變へられてゐる但し池も泉も、今は水が冷たい。

北米移民邦人に滿洲轉住を奬勵
中島翁各地を遍歷

【東京特電三十日發】北米の日本移民は人種的差別待遇の外に不況の影響を受けて生活難に惱んでゐるものが增加したので、これを滿洲に轉向せしめることが國策的に見ても妥當の措置だといふ考へからこれまで四十年間アメリカその他の移民事業に貢獻した中島義行翁はこの十一月から約一年間北米を歷遊して滿洲の實情を紹介し大いに滿洲移民熱を煽ることゝなつた

北鮮管理局幹部
三十日附にて發令

北鮮鐵道管理局は十月一日をもつて正式に成立するので三十日附をもつて左のごとく幹部人事の發表があつた

鐵道部京城在勤 技師 齋藤圓
北鮮鐵道管理局長を命ず
鐵道部參事 古川達四郎
北鮮鐵道管理局次長を命ず
鐵道部參事 青柳亮
同局庶務課長を命ず
鐵道部參事 谷清
同局經理課長を命ず
鐵道部京城在勤 參事 大橋正巳
同局運輸課長を命ず
鐵道部京城在勤 技師 小林貫之輔
同局工務課長を命ず

菱刈長官
けさ大連發歸任

去る二十二日關東長官として來滿以來滯在八日間、その間連日登廳熱心に廳務を見るとゝもに各方面との折衝に又は遠く金州まで出かける等忙しい日課を續けてゐた菱刈長官は豫定通り三十日午前七時四十分關東廳各局長各課長を始め安藤要塞司令官その他官民多數の見送りを受け、同八時四十分自動車で來連

けさ大連發北行

關東廳の政務を執るため來旅中であつた菱刈將軍は要務を終へて三十日旅順より自動車にて沿道の嚴重なる警戒裡に大連驛に到着

關東軍參謀與少佐、今岡副官、原憲兵少佐、森岡吉林領事、鶴見大使館書記官、鹽原秘書官を從へ安藤要塞司令官、各滿鐵理事、滿洲電々會社重役、高柳中將、岩井少將等 ■ 官民多數の見送りを受け展望車から敬禮を交しつゝ午前九時發はとにて北行した

監事長の反駁にソ聯抗議を撤回
北鐵局員告發に關し

【ハルビン二十九日發國通】二十九日當局發表＝二十六日北鐵ソ聯側監事マゴン氏は先般會局長のなしたるソ聯管理局員四名の單獨告發に關し陳克正監事長に對し口頭を以て內容左の如き抗議を提出した

會局長は監事會の同意及び理事會管理局長へ何等通告することなく單獨に鐵道職員を告發せるは不法なり

又二十七日ソ聯側監事二名の連名を以て文書により同樣抗議を監事長に提出した、此等ソ聯側監事に對し陳監事長は次の理由により抗議文書の受理を拒否し更に强硬反駁をもなし之を一蹴した

監事會の組織は理事會の正副理事長を有する二頭組織なるところなり、滿洲國側のみ監事長を有す又は滿ソともに監事である故にソ聯側監事は會議招集にあたり議案の提出權はあるが、監事長と平等の地位にたち監事長に抗議文を提出するの權限なし

又監事長の告發不當なりとの抗議に對し

現行滿洲國刑事訴訟法第二百二十一條は國民の告發權を規定す又同二百二十二條は公務員の告發の義務をも規定してゐる、故に右に基づき告發をなしたる余(監事長)の告發は正當にしてソ聯側より抗議を受くべき何等の理由なし

右に對し監事は我に利あらずと見て直に抗議を撤回した、なほ滿洲國刑事訴訟法第二百二十一條及び第二百二十二條は左の如し

第二百二十一條 何人たるを問はず犯罪の嫌疑あることを知りたるときは告發をなすことを得

第二百二十二條 公務員職務を執行するに依り犯罪の嫌疑あることを知りたるときは告發をなすべし

山內滿鐵顧問解任

山內滿鐵顧問は電信電話會社總裁に就任したので辭表を提出中のところ三十日左のごとく發表された

顧問 山內靜夫
顧問を解く

民政署財務課長

缺員中の大連民政署財務課長は關東廳理財課勤務事務官蠣川久太郎氏に決定、二十九日附を以て發令された、氏の略歷左の如し

昭和二年東大法學部卒業▲同三年高文合格▲同四年關東廳專賣局屬兼關東廳屬▲關東大連民政署、關東廳長官々房文書課、財務課、理財課など歷任

齋藤領事着任

【天津二十九日發國通】太田領事後任齋藤領事は今朝塘沽に入港の北嶺丸で家族同伴到着、總領事館から折笠書記生塘沽に出迎へ午後三時五十分着列車で着任した

辭令

【東京三十日發國通】
關東廳財務局長 中村孝次郎
鮮銀監理官を命ず

▲中村孝次郎氏(關東廳財務局長)三十日午前八時着列車にて歸任
▲劉垣厚氏(元北票煤坑公司理事長)同來連

蛇角

◇勝美夫人の遺書は眞相か、ソレとも出鱈目か。
◇博士は中蘭を嘘吐きといひ、夫人は秀雄を義俠青年といふ。
◇夫妻の離隔斯の如し。
◇惡人は中蘭か、青柳か。
◇疑惑は更に拍車を加ふ。
蜘蛛の巣の破れしを見る朝の秋

京大助教授團五氏免官

【東京三十日發國通】京大法學部强硬派助教授團は依然辭意を翻へさぬため三十日正式依願免の辭令があつた

京大助教授 黒田覺
依願免本官
同 康哉
大岩誠
大角從一郎
佐伯千仭

外務辭令

【東京三十日發國通】
全權大使 松田道一
依願免本官

東天紅 (214)

田中純
林一三 書

貞操の危機(二)

「奔走すると言つて、奧さんが、なにを奔走してゐらつしやるんです?」

神田家の浮沈となると、相良も熱心に訊かないで居られなかつた。上海から放浪して來た彼を引き上げて、兎にも角にも、今日の相良にして呉れた神田一家の好意を思ふと、彼は、それを聞き流して置くわけに行かないのだつた。

「それは、勿論、お金のことよ。何でも、十萬圓ばかりのお金が、今、至急に要るんですつて」

「しかし、そんなお金のことなんか、奧さんが奔走しなくたつて、神田さんがどうとかなさりさうなものぢやありませんか?」

「ところが、神田さんにはもう、財界の信用が全然なくなつてるんですつて。あんなにひどい打擊を受けた會社が、再び立ち直るなんてことは不可能だと言ふ先見越しから、どこの銀行でも個人でも、一文の金だつて融通しては呉れないのですつて」

「しかし、神田さんにさへそんなに信用がないほどならば、奧さんには、なほのこと、信用がないでせう」

「ところが、そこへ行くと、女といふものは有難いものよ。多少の外交的手腕をさへ揮へば、何處からか、お金が出來て來るものよ。だつて、世の中には、ちよつと美しい女から、甘い言葉の二つ三つもかけられると、すぐに有頂天になつてしまふやうな金持が、まだなか〳〵澤山にゐるんですもの」

晶子が、狡さうに微笑して、思はせぶりに言ふのを聞くと、相良はちよつと不愉快になつた。

「しかし、幾らお金に困つたつて、まさか、神田さんの奧さんが、そんなことをなさる筈もないでせう。あの貞操無二の奧さんが……」

「あんた、さう思ふ?」と、晶子は、同じやうな微笑を續けて「ところが、存外、さうでないかも知れないのよ。それアれ、どんな女だつて、貞操の大切なことぐらゐは知つてるわよ。だけど、それは生活に困らない間の話しよ。生活に困つて、どうしてもお金が要る、そのお金がなくては、生きてゐられないといふ瀬戸ぎわに立てば、貞操觀念なんて、存外怪しいものよ。あの人は、と思ふやうな立派な婦人が、隨分、ひどいことをやつてるんですもの。尤も、それは文子さんの話しではないけども……」

「無論ですとも。神田さんの奧さんに、そんなことがあつてたまるものですか」

「でもね、文子さんが、わたしに金策の御相談をなすつたのは事實なのよ」と、晶子は言つた。

「あなたに?」と、相良は、まだ疑はしげに「それで、あなたは、どうしたんです?その相談に乘つてるんですか?」

「ええ。兎に角、誰かに話して見やうとは約束したんだけど、私だつて、金の實る木を持つてるわけぢやなし、實はちよつと困つてるのよ」

「へえ、さうですかね」と、相良は驚いたやうに言つて「しかし、それはよほどの大金ですか?」と訊いた。

僅かな金ならば、鮎子に相談して見やうと思つたからだ。

「ええ、まア、ちよつと大金だわね。十萬圓の金が欲しいのださうだから」

「へえ、十萬圓をね……」

相良はさう言つて、たゞ、口をつむぐしかなかつた。鮎子が幾ら富豪の娘だからと言つて、それだけの大金を、自由にすることは出來ないと思つたからだ。

"一度汚された女の操の恨を晴らす"
色魔ゴリラと靑柳を罵つた
勝美夫人の告白書

【大阪特電三十日發】死を覺悟した勝美夫人が二十六日夜から翌朝にかけ認め『共犯兒玉勝美』と自ら記して大連檢察局宛發送した告白書は中薗、勝美のお互の心境、社會への懺悔の告白書で全文左の如し(右は勝美の控書から)

勝美の遺書
全文一字一句削除なし

自分故にかうしたことを來たしたのだと思ふとどうしてもさうさせることは出來ず、自分は兒玉より去る考へでゐたところ丁度歸國を許されたので秀雄に相談、無理にこの地へ同船し秀雄について記す

勿論兒玉には內密で此處まで來た、前記秀雄と私とは結婚前よりの知合であるが、

全然淸い交際である、ともに兄妹の交際をなしてゐた、私の性格は非常に短氣者であつたが非常に彼の人格、容貌に愛しい心の持樣、仁義、義俠、信義の人であることを社會はどう云はうとも自分はよく知つてゐる、事件發生當時は如何に正義の上とは云へ殺人の罪は宥されぬ、自首すると稱してきかなかつたが

こゝに事件の眞相を逐一申述べおきます

そもそも事の初めは一昨年一、二月頃色魔團靑柳貫の居候して居た事あり、尙又私と仲好くしてなりました、前信通り計畫的に紹介あつたのも心附かず單なる交際をしてなりました、日數はよく記憶しないが二月頃聖德街附近の廣場まで送られ**ウムを云はさず○○された、それからといふものは兒玉の地位名譽に附込み脅迫され金錢物品、それも二圓三圓と絞り取られた**兒玉の地位名譽を護り護らんといふ斷然たる態度に出られなかつた事は眞に殘念に思ふ、この金は後で氣付きし結果、**その手先佐藤三輪子に仕送りしたり或は又この一團の阿部、小松原等と飮食をなしをりし事はこゝに明らかに記し置く**

突如事件の當夜(五日)午後九時頃鳥打を目深に被り他の一人の男暴力團の團長の樣な男を伴ひ荒々しげな足取りで靑柳と兒分の阿部、小松原等が來り兒玉と二、三話合ひましたから自分は秘かに中薗を電話で呼寄せた、中薗秀雄も來り大に怒り階段より突落したところ他の二人はすぐ引上げましたが靑柳は尙も暴言を吐き中薗を罵りましたためミシンの上に氷を割る出刃庖丁がありましたゝめ前記**中薗が憤激の餘り手に取りて殺害せしなり**

中薗は自分の無二の兄妹として私等の親しい間柄であつたところからこの事に就いて前々から打明けてあつた、かゝる色魔をこの世に生存さすことは社會の秩序安寧のため好しからず何處までも正義の上に立ちてなせしなりと再三申しをりしなり、自分も事の突然に呆然として居たが**兒玉は一生懸命止めてをつたらしく氣の附きし時は右手に傷**をしてをりしなり、斯くて死體は暫く隱して吳れとの賴みに依り階上に持上げ置き二三日して何處かへ運び去りたるが自分が使ひに出されたゝめこの持出し先は知らなかつた、新聞にて初めて承知せしなり惡覺でも愛人とか戀愛遊戲とかの對象ではなく**一度呪はれた女の弱身からかゝる大事を引起すに至りしなり、自分はこゝに立派に惡人に對し恨みを晴らした**

自分達は結局この世を終るのだと決心をなした、何の未練もない、たゞ新聞によれば秀雄があのゴリラに對して挑戰の脅迫をしたとあるが何の必要でこんな事をするか、又ゴリラそのものをかつて一度も見た事がない秀雄の知る筈もなく何處までも社會は正義は弱く强き惡を榮えさすのであらうか、眞に殘念であまりにも社會は無責任過ぎると思ひます、**色魔團の團長ゴリラの樣な靑柳貫及彼の手先不良マダム佐藤三輪子、又その惡計畫にかゝり女としての辱めを受け又美男子とか愛人とか何をもつて色魔團の團長ゴリラの樣なかの靑柳貫を社會は何を夢見てゐるのか、**あまりにも情けなく思ふ、**殺害の主犯と動機を述べるとゝもに實に女として一大復讐をなせし結果になりし事を喜んで書き記すなり、終りに兒玉は共犯でもなく只の一寸死體を階上に隱匿するに手をかした丈けに過ぎない事を明記しておく、**如何に女なりと雖も誤れる報道は默するに忍びず、今更乍ら**一度汚された女の操の恨はこの殺人事件を卷起するに至るまでに**深い事を御推案頂きたい、以上をもつて事の眞相を記し終りたり、この上は諸檢事樣方の賢明なる御推察の下に事の解決を待つばかりである、兒玉は人も知る篤學研究溫厚の人であり自分は七年間の生活に於て一度も腹立たしい事をされた事のない程である、恐ろしい殺人事件などする人でなく、隱す人でないことを自分は好く知つてゐる、如何なる自首かは判明しないが自分が死を賭して書遺すこの手紙、よくよく御賢察願ひたい

山田辯護士の登場後一切トリックと悟る
虛僞羅列の遺書、中薗は噓つき
けふ兒玉博士が陳述

鐵窓裡にある兒玉博士に對して、勝美夫人並びに中薗秀雄の兩名が逮捕されたといふ事實は特に二十九日は嚴秘に附され三十日午前八時博士の頭腦の冷靜なる時を狙ひ深い思ひやりの下に谷川司法主任より直接博士に傳へられたが、その時博士は唯一言「さうですか……」と感慨深げな內に喜びの微笑を見せた、更に續いて司法主任が奧さんは中薗と情死を圖られて高野山で捕つたのですと述べるや博士は愕然として色を失つたが、生命には別狀ないらしいとの話しに漸く安心の色に立ち返つた、尙谷川司法主任が新聞紙に現れた勝美夫人の遺書を讀み上げるや、不斷無口の博士が憤然として次の如く陳述した

私は今始めて大きなトリックに引ッかゝつてゐることを知りました、このトリックは山田辯護士が現はれた時から仕組まれてゐたものなのです、私は最初面識のある大內辯護士に一切を打あける考へでゐましたが、秀雄(中薗)が心安い辯護士がゐるからと云つて山田氏を紹介して一面識もない山田氏を信賴して一切を委せたのです、これがそもそも間違ひでした、十八日の夜、私が事件の發覺を恐れて自首せんとした時に、私を押し止めた山田氏の態度も今にして思へば非常に奇怪です、山田辯護士登場以來、今日に至るまでの長い時日の間に、私を不利な立場に陷し入れるトリックが細心の注意を以て進められてゐたものと思ひます、殊にその遺書も何等かの計畫の下に書かれたものでせう、私は妻が果して妻個人の意思でこの遺書を書いたものか何うか疑ひます、遺書の虛僞な點を申しますれば、私なり妻なりが靑柳の脅迫に脅かされて秀雄を電話で呼びよせたと云ふやうな事は決してありません、秀雄が靑柳を同伴して來たもので、他に不良靑年等居ません、次に兇器は絕對短刀です私の家の氷割りは「三股」ですその短刀は五寸四方位のリンネルに包んで天ノ川(馬欄河)に私が投げ込んだのですから誤りはありません、又組み打して階下に落ちたなど出鱈目です、喧嘩の事に靑柳は全然抵抗しませんでした、私の目から見れば靑柳は女蕩しかも知れませんが、性質は溫しい方のやうに見えました、寧ろ秀雄は大噓つきです今後の御取調べにも、秀雄が非常な噓つきだと云ふことを御承知の上嚴正な御取調べをお願ひします、二人が捕つた以上私が述べたことが事件の眞相であるかないか、遠からず判明することゝ思ひます、私の今の心境は重荷をおろしたやうな氣持です

この意味を不自由な口で吃つゝあえぎあえぎ係官に語つたが、午前九時二十分一先づ取調べを打切つた、なほ取調べ後谷川司法主任は博士の陳述は自首以來終始一貫してゐて非常に筋道がたつてゐる、殊に最近はすつかり落ついてゐるが、前述をくつがへすやうなことは決してあるまいと語つてゐた(寫眞はけさ沙河口署で兒玉博士)

飽くまで夫人を庇ふ
高野署で中薗取調べ

【大阪特電三十日發】中薗は何故靑柳を殺したかにつき山田和歌山縣刑事課長は二十九日午後七時中薗を高野署の留置場より引出し二度目の取調べを行つた

兒玉夫人とは古い知り合ひですが戀仲ではありません世間が色々と勝美夫人の事を淫蕩女性の標本の樣にいつてゐるますが以ての外で氣の弱い世間知らずのお孃さんみたいな女です、それをあのピアノ敎師佐藤三輪子が靑柳は紹介したのがきつかけで靑柳を毒牙をのばし途中暴行まで加へしばしばこれを脅迫して金を卷上げて行きました、靑柳は實は憎んでもあき足らぬ冷血のギヤングです、勝美は世間を恥ぢて默つてゐるし兒玉博士は溫厚の士で見て見ぬ振りをしてゐるのを好い事にして靑柳の傍若無人は益々募るばかりです僕は義憤のあまり靑柳を面罵してやつた事もあります、これもこれもとはと云へばあのピアノ敎師佐藤三輪子といふ淫婦が介在してゐるからでこの女は大連社交界に色魔風を吹かせる妖女です(ついで兇行當夜の模樣の陳述に移れば聲を張り上げ)正義のために大連の社交界の革正のために敢て僕は出刃を揮つて色魔靑柳を倒しましたと叫び出刃は何處から持つて來たかとの問には答へず「僕は死刑になつても好いこれで大連の社交界に平和がくれば僕の本望です」と大見得を切りあくまで勝美夫人を庇つてゐる

博士邸へは絕對に行つた事なし
憤慨する小松原君談

同じ係に勤務してゐたと云ふ關係と靑柳貫の手記に姓名が出て來たと云ふ單なる理由で面白くない立場におかれてゐる滿鐵用度課の小松原君を訪ふと以ての外だと云ふ面持で靑年らしい激情にかられながら語る

夫人の遺書に自分までが登場してゐるなぞとは考へられません用度課の人たちはキット私の事を信じてゐて下さると思ひますが、あゝした事が事實書かれてゐるとしたら實際迷惑も甚しいです、必らず調べられたら事實が明白になると思ひますが、もし中薗と夫人が死んでしまつたとしたら……こんな事を考へるとゾッとします、博士の邸へ行つたなんて事は絕對にありません、この前も申上げた通り全く靑柳君の友人として夫人を知つてゐる範圍なんです、私の名譽の爲にも少し考へて戴きたいものです、また勝美夫人の遺書によると靑柳君が夫人から金を强請した樣に書かれてゐますが、私は一度靑柳君に賴まれて一緒にロシヤレストランで夫人に會つた時、夫人から靑柳君に財布を渡してゐるのをみましたし時々金を貰つてゐた事實はありますが强請した等と言ふ事は絕對にないと斷言出來ます、靑柳君は元來口では非常に强い事を言ふがその實小心な男ですから勝美夫人の所謂遺書なるものは僕達から見れば全然虛構としか思はれません

桃色暴力團など以ての外だ
被害者の弟克巳君談

勝美夫人の遺書が物語る如く果して靑柳貫は夫人の憎しみを一身に受けてゐたものであるか、遺書それ自身にも幾多の疑問があるが、市內對馬町六二の靑柳方を訪れると弟の克巳君は憤慨し乍ら語る

兄が夫人を嫌つてゐたのは事實でよく夫人を嫌ふ樣な口吻をもらしてゐました、あの遺書で見ると全く兄を陷れるのみならず阿部さんや小松原さんを如何にも桃色暴力團の一味の樣な事を書いてゐるさうですが、以ての外です、殊に小松原さんなぞが名前を書かれるなぞ不思議に堪へません、昨日も話合つたんでしたが、二人が生きてゐたので助かつた、面と向つて恥を知らない面の皮をヒンむいてやると憤慨してゐた位です、阿部さんも小松原さんもともに仕事に就いて居られる人なんです、少しでも御迷惑が掛つては死んだ兄も氣が濟むまいと思ひます、私の考ではあの遺書は全く中薗の出鱈目なものか中薗に脅迫でもされて書いたものだと思ひます

あす兇器捜査

靑柳貫の生命を斷つた兇器は博士の供述により馬欄河中にあることは既報の如くであるがその捜査は諸準備の手違れのため、一日午前七時頃より消防隊の應援を得て大々的に捜査することゝなつてゐる

四角關係の愛情比率表

夫人3・中薗7
靑柳2・夫人8
夫人0・博士0

【東京二十九日發國通】兒玉博士の依賴を受けて博士の恩師草間博士を北里研究所に訪れ事件解決後の善後策を協議した山田辯護士は草間博士との會見後次の如く語る

殺された靑柳と夫人との愛情の比率は靑柳二、夫人八、夫人と中薗は夫人三で中薗七、夫人と博士は○對○といふ事が出來る、つまり冷たい家庭にある有閑夫人が中心になつて演ぜられた醜惡なる愛慾悲劇で、しまひには夫人が隨分强く中薗に引ずり廻されたあとがある、此事件に博士がどの程度まで關係してゐるかは今云へぬ、離婚問題も事件が一段落ついてからボツボツ具體的にする積りだ

尙山田辯護士は四、五日滯京し私用も片付けば大連に歸る筈

遺書の內容を極力主張する夫人

【大阪特電三十日發】勝美夫人は二十九日午後九時頃數名の高野署員に物々しく護送され人力車に乘つて黑山の樣な彌次馬に見送られ高野署に到り、同署の裏手から袖で面を隱しながら同署階上取調室で山田刑事課長、板谷署長の取調べを受けた勝美夫人は取調べに對し遺書の內容を極力主張し、中薗との間には何等醜い關係なく彼は私の窮狀を救ふため天に代つて淫獸靑柳を斃してくれたと主張した

兒玉博士の更生策を
草間博士が中心に協議

【東京特電二十九日發】兒玉博士の恩師草間茂博士を中心に山田辯護士兒玉博士の兄榮一氏代議士山本壯一郎氏等が二十八日夜から集まつて博士更生策について友情を盡した涙ぐましい協議が續けられてゐる、二人逮捕の報に何れも安堵の色を浮べこの上は一段落をまつて離婚問題を解決し又兒玉博士が晴天白日の身になつてから東京に招き再生の途を講ずることゝなり山田氏は榮一氏とともに近く大連に赴き博士の身の上を護る筈である

【東京特電二十九日發】山田辯護士と草間博士との會見において山田氏は從來兒玉博士の性質を知れる草間博士から詳さにその性懷を聞いて今後の參考にしたのち兒玉氏の身の振方を打合せた草間氏は兒玉君は學界で得難い研究をしてゐる人だからあの事業を完成させたい、自分は出來ることなら大連に出掛けて行つて兒玉のために力になりたい、そして彼を檢微鏡での生活と使命を完成させることに努めたい

"若き燕"の巢から中薗へ綿々の情
三輪子の戀愛巡禮行

どぎつい中年女の愛慾生活はまさに人倫を超越したドロドロの腐肉のやうなあくどさで異性から異性へと轉々としてゐるが、變態に近い彼女御幡三輪子の亂倫生活の一端を物語るにふさはしい一片の書狀、これは彼女の若きつばめ田村元雄と同棲しながら恥も知らずに沙河口大正通一二七田村元雄方から中薗に宛て、立つてもゐてもゐられない綿々の慯を訴へたものである【寫眞は御幡三輪子から中薗秀雄へ送つた戀文】

昨日も今日も御手紙を御待ち致しましたのに、遂々二十日の日も暮れやうとしてゐるのに、十二時が十分なのにお待ち致してゐても來さうも有りません、又沙河口局まで來てゐても夜の十二時では來ませんし又配達もして下さいませんわね

お別れ致します時にあんなにお約束致しましたのにね

多分今日位は御手紙がつくだらうと御待ち致しましたのに、でもこんな無理な事は申せませんわね

何だか書きたくなりました、然し筆を取つて見ますと書くこともありませんのね、御會ひ致して御話し致してみたいのですけど

あなたが御出發の前には御手紙を下さるとの由、今からその日を心待ちに待つてゐます

書いてみると書くこともありませんわ

家を御願ひ致した方がまだはつきり拒否を申して來ないのでまた他所の家に約がいになつて居ります、若し今日中に返事が來ませんでしたら宿を御願ひいたし度いのですけど

二十二日の八時頃に御電話するかも知れませんから御承知下さいませ、ではまた御會ひの節御話が山の樣に有る樣です、では

御幡みわ子

中薗樣

(原文のまゝ)

遭難勇士の遺族來る
海軍葬に參列

去る十五日練習飛行中關洋礁沖合で墜落慘死した能登呂搭載機乘組の今井今吉航空兵中尉、功刀嘉明一等航空兵の海軍葬は三日午後三時より水行社において執行されるが、これに參列のため今井中尉の實父今井久助、實兄今井久二の兩氏並びに功刀一等航空兵の實兄功刀信佳氏は三十日入港のたこま丸にて來連し能登呂よりの中込大尉江原中尉に迎へられて直に旅順に向つたが交々語る

お國のためです、たゞ死體が見つからないのが殘念ですが、今度は三日に盛大な海軍葬をやつて頂いて本人もさぞ滿足のことゝ思ひます

一日　南西の風(曇)一時晴
滿潮(午前八時二十分　午後八時四十五分)
干潮(午前一時　午後二時三十分)

各地溫度(三十日午前十一時)

大連	一二五	奉天	一〇
旅順	一二六	新京	一七
營口	一二三	新義州	一九

今日の小洋相場(十一時半)
金百圓につき一二三圓四〇錢

善鬼惡鬼（214）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

二つの骸（四）

「おいらははじめ、此死骸を、女郎屋へ持込んで、おはまさんの目の前にさらして、強意見をしやうかさ思つたんだ。併し、考へて見るさ、おいらさいふものは、おぎんさまあつての長吉だ、いはゞ、おはまさんさおいらは苦手さいふ事になる。して見れば、おいらがどんな強意見をしたさころで、おはまさんにさつては、手前勝手のいひ草さしか聞えれえ、そこで途中で舳先をまげて、お前の親爺さんに頼んで、意見役を引受けてもらう氣になつたのだが、病氣さ聞いて、おらあ、がつかりしたよ」

長吉に心を打明けられた金太郎感心して聞いてゐたが

「何しろ、あの通り、手前勝手のおはまさんが、人の意見なんぞを聞いてくれるかなア」

「元より、只の意見ぢや、百萬日通つたつて聞く事ぢやあるめえが何しろあの死骸を二つもならべたら、まん更――」

「旨く聞いてくれれば好いが」

「聞かさずに置くものか、あの通り、眞黒になつてしやちこばつてはゐるが、あれあお前二つさも、おはまさんにさつて只の仲ぢやれえんだぞ」

「その事なら知りぬいてゐる」

「おまけに、殺した奴が、手前の亭主さ來てゐるんだ、こゝで一番、良人大事の人になつてくれなけりあ、おはまさんが心を入れかへて、良又ぞろお隣の花をいぢめに來るさきまつてゐる。さうしたら今度こそはむごたらしさの骨頂が出來れえさも限られえ、その邊の道理をおらたちが命がけで並べたてたら少しは利目があるかさも思ふんだが」

「よし、當つて碎けろだ。やつて見ろ」

「だけど、藤助爺さんの病氣さいふのは」

「うちの親爺はもうダメだ、けふあすもむづかしい」

「ぢや、やつぱり、おれ一人でやらう」

「おいらが行かう」

「え、お前さんが」

「うん、行くさ、假令小僧ッ子あがりであらうさも、人の一心てものは岩をも通すんだつて、よく内の爺がさう云つたよ。長さん、一緒に行かう、こゝに待つてゝくれ。おら、爺に相談して、意見の文句の智惠を貸してもらつて來るからな」

若いものは氣が早かつた。

行くさきまつたら、待てしばしがない。

「おい、金太、よく氣をつけてな爺の病氣にさはられえやうに、話しをするんだぞ」

「呑み込んでゐるよ」

早うつすらさ東が白みかけた。

長吉は、不氣味な船の積荷を、ぼんやり見つめながら、朝寒をおぼえる陽氣に、袖をかきわけて、渡し小屋の方を幾度かふりかへつた。

金太郎が、威勢よく臨もごつた時、最早あたりは明るくなつてゐた。

「長さん、船の荷物を、爺のとこへ持つて來いさ云つたが」

「あの荷物をか」

「さうよ。おいらさお前が、そんな死骸を見せつけたくらゐで、百萬遍を並べたつて、人の意見を聞くやうなおはまさんぢやれえさいふんだ」

「それで、爺はごうしろさいふんだ」

「死骸はこゝへ上げておいて、おはまさんを呼んで來て、爺もさども意見をしたいさかう云つてゐるんだが」

「病氣の爺にまで、そんな心配をかけちや濟まれえなア」

「なアに、爺はれ、おぎんさんを仕合せにする爲めには、ざんな事でもしたいさ、一生懸命になつてゐるよ。死骸は二人で、運び込まう、そしておはまさんは、おいらが、是非さも呼んで來るよ」

「待て〳〵、幸ひ舟があるんだ、死骸を陸揚げしたら、おいらさお前さ二人で、舟をまはして、呼んで來る事にしやう」

打合せがすむさ、二人は、舟の中の無慚をかき上げて、渡し小屋へ持込んだ。それから間もなく、二人を乗せた舟は千住に向つて漕ぎ下した。

醫大和樂部新京演奏會

奉天滿洲醫科大學和樂部では十月一日午後五時半より新京高等女學校講堂に於て新京地方事務所滿鐵社員クラブ主催の下に新京糸友會新京和風會の後援を得て滿鐵音樂部講師名和榮次郎氏指揮部員十四名出場して大演奏會を開催するが七日は四平街八日は公主嶺にて開催する豫定で入場無料である

十月の日活館　キング・コング契約發表

秋の映畫シーズンに入つたので十月の各館プロは巨篇を續々上映するものさ期待されてゐるが、日活館では十月豫定プロを左の如く發表した

▲第一週（二日―四日）「花の東京」「一心太助」再映大衆興行幻影」

▲第二週（五日―十一日）「曠野の果」後篇、メトロ映畫「戰く幻影」

▲第三週（十二日―十八日）メトロ映畫「男子戰はざるべからず」「龍造寺大助」

▲第四週「十九日―二十五日」洋劇超特別興行（上映々畫未定）

▲第五週（廿六日―一日）「大學の獸」「振分小平」

なほ秋の洋畫界の巨彈さして注目されてゐたRCA映畫「キング・コング」を千島興行さの間に直接契約したさ

タマキ舞踊團　默劇舞踊プロ

日滿女性社主催のタマキ舞踊團の默劇舞踊さ獨唱の夕は三十日午後六時半から協和會館で開催されるがプログラムは左の如くである

▲第一部　1、舞踏マイ・ベビー　研究部全員
2、舞踊アタナエルの幻想　環玲三
3、獨奏ハンリガアン圓舞曲　ドルトラ作曲　佐藤富房
4、獨唱折れば好かつた　正木正子
5、默劇良心　伊太利民謠　ゴールヅワジー作　全員

▲第二部　1、舞踏ワルツ　圓舞研究部
2、舞踊ノスタルジア　松波芳江、環玲三、吉野不二子
3、默劇ゴールドラッシュ　瀧文子、丘龍兒、環玲三
4、口笛獨奏　西田祐四郎
5、獨奏デップ・リザア　佐藤富房
6、獨唱アルカンタラの一節　正木正子
7、默劇飽寛幻想詩全員

▲第三部　1、舞踏俺れはピエロ　吉野不二子、瀧文子、松波芳江、環玲三
2、舞踊ラパロマ　正木正子
3、舞踊プロミシウフ解放　吉野不二子、環玲三
4、獨唱闇の夕ざれ　正木正子　本居長世作
5、獨奏春の憂ウツ　佐藤富房　ボッカチヨ
6、ホイットマンの詩の一節　佐藤富房作
6、舞踊第二の世界

うわさ話

滿鐵社員會の機關雜誌「協和」に十月一日號から新しく映畫欄が設けられ▲第一回は十月第三週に日活館が上映する「男子戰はざるべからず」の映畫物語を掲載▲中央映畫館の前支配人安田友彦氏は捲土重來を策して二十九日のうらる丸で東上した▲柳さく子一行は一日入港の香港丸で來連、二日から中央映畫館で實演

“CONTAX,” コンタツクス

ZEISS IKON

現代カメラ界の驚異・カメラ意匠としての傑作品

獨逸光學器械工場 ZEISS IKON（ツアイスイコン）社製コンタツクスは特にシヤツターに四つの異るタイムの集團を備へてゐます。

即ち比較的タイムの長い露出		タイムと		$\frac{1}{2}$秒
人工光線に對する露出		$\frac{1}{5}$		$\frac{1}{10}$秒
普通露出	$\frac{1}{25}$	$\frac{1}{50}$		$\frac{1}{100}$秒
瞬間露出	$\frac{1}{100}$	$\frac{1}{200}$	$\frac{1}{500}$	$\frac{1}{1000}$秒

同機は小型畫面用にて小型寫眞機のアトラクテイヴな體裁。レフレツクスカメラの特徴を具へ　現代カメラデイザインの最高品を代表するものであります。

その特異なる點は＝全金屬製カメラ・輕金屬製フオーカル　プレーンシヤツター＝活動寫眞フイルム使用＝自動的フイルム運轉＝正確な距離計＝レンズの自動焦點調節＝異なる焦點のレンズ交換可能＝美麗なる矩形型＝等々……………であります。

皆樣!!　最寄の寫眞材料店にて是非この驚異的寫眞機を御一覽下さい

詳細は下記寫眞材料店或はカウローヰツ商會に御問ひ合せ下さい。

大連｛萬玉洋行　森洋行　木村洋行　酒井洋行　高柳洋行｝　奉天｛華本洋行　木村洋行　森洋行｝　新京｛木村洋行　森洋行｝

（ツアイスイコン社）總代理店
CARLOWITZ & CO.
カーロウヰツ商會　大連市敷島町四九（五品ビル三階）電四四六二一番

型錄は「ZEISS IKON CAM MA2447」記載の上御請求下さい

國産治淋藥界の寵兒
治淋内服新製劑
複方ノボノール球
定價・三〇球一・〇〇　五〇球一・五〇
・各地藥店にあり・

滿員御禮

大河内傳次郎主演・伊藤大輔監督
月形半平太

滿鐵弘報係特別提供　P・C・Lオール サウンド版
娘々祭

市川春代・谷幹一共演　新鋭田口哲監督
二人の新學士

連日滿員　厚く〳〵御禮申上ます。

日活館

火鉢・植木鉢
連鎖街　山内洋行　電3999番

三河屋の大賣出し

廿七日より十月三日まで

布團綿　三・四〇・三・六〇
眞綿布團　一貫目　四・六〇
絹眞綿入　仕立丹襌　五・四〇
伊勢町

純毛布　大判二枚續一枚　六・三〇より一五・〇〇
布團専門新柄豐富廉賣
毛布特價品　一枚　九十五錢
季節に入りましたお仕度は只今

三河屋蒲團店　電話七八九九番

登録　吾平椿油
連鎖街心齋橋通　かどや油舖　電話二三二一五番

花環花籠　盛花生花　一般寄贈花　一般葬式及自動車葬儀取扱
明圓社　社主　上田末松　大連市若狹町大タク前　電四九一〇番

客室全部改造、御宴會向各種御料理新たに北平より料理人を雇入、調味に全力を捧げて居ます
御希望に依り日、滿藝妓歡待
北平料理　共和樓　淡路町一番地　電二七〇九五・二一〇五六

明日曜は
毛糸婦人子供セーター藏ざらへ
大賣出し中の
ラクダ屋本店へ
磐城町

ミーロン・蓄音器・ラヂオ

ミーロン號　有權登錄商標第二四四二二三號

ミーロン卓上宣傳號　金拾貳圓
ミーロン手提型壹號　金拾五圓
ミーロン・ラヂオ　再生式五球交流　金五拾五圓
ミーロン・大型器　金八拾五圓

其他各種蓄音器乞御來店御一覽

責任無限　合資会社　藤飯洋行　大連伊勢町二七・電七二三七番

實用足袋卸賣　大連市信濃町市場　電話二四五七番・二二四七番　山本洋行

篠原劑　外用塗擦
あらゆる服藥療法も效なき方最後に一度本劑をお試し下さい殊に肺ロクマク神經痛の方へ
滿洲專賣店大連市聖德街四丁目一二四　大黒屋藥店電話九八七四番

十月一日ヨリ五日間
冬物大賣出
是非コノ秋・コノ冬の新裝は豐富についたこの荷からお撰び下さい
外ニ大特價品、寄切、澤山
伊藤呉服店　大連浪速町　電代表六六一〇七・一〇八

越

寄裂見切反物大賣出し

十月一日より五日まで　賣出中營業時間午前八時より午後六時まで　三階大廣間にて……

……今秋流行の格安品豐富に取揃へて盛大に開催いたします……

大連市大山通　三越

滿鐵側所員引揚げ 滿鳥協定終焉 鳥鐵側の態度は不明

滿鳥協定は八月滿鐵より廢棄を通告し、これに對し鳥鐵よりの反駁あり改めて滿鐵より再反駁を行ふなど文書戰を續けて來たが、滿鐵は既定の方針に基き本九月三十日をもつて滿鳥共同事務所より滿鐵側所員を引揚げ、同時に東南行數量調査をも打切つて事實上滿鳥協定に止めをさした、これに對して鳥鐵側が如何なる態度に出て來るかは來電なきため不明だが、恐らく一應は先方の理論を延長して滿鳥共同事務所の存續を主張するならんも、滿鐵側が引揚げた以上鳥鐵側のみが殘つて經費を全部負擔するも無意味であるので「滿鳥協定は當然存續するものと認む」との捨科白を殘して共同事務所を引揚ぐることゝなるべく一九二五年以來の歴史的協定も事實上本三十日を以つて終焉を告げたわけである

新しい酒は新しい嚢に盛れ 市場問題で日下局長語る

三十日菱刈長官を大連驛頭に見送つて民政署に立寄つた日下內務局長は市場問題につき小川市長と會談したのち左の如く簡話ながら意味深く語つた

まだ小川市長から公式に詳しい具體案は聽いてゐないが、大體のことは承知してゐる、ナニ大したことはないよ、市も仲買人組合も考へてゐることは結局同じ所に歸着するのではないか、何事にせよ滿洲情勢の一變により以前の儘では間に合ひ兼ねてゐる、水產會においてもその感を深くしてゐるが、市の市場だつて同樣で、新しい酒は新しい皮囊に盛つて時代の進運に添ふやうにせねばならぬ、例の世話料問題にしろ市の方では解決したと稱するし、組合だつて何だか譯の分らぬやうな枝葉のことに拘泥せんでもよいではないか要は市場の健全な發達を當事者が協力してはかるべく問題はそれで解決するのだ、市場を市に開設させ、昨年例の勅令を出したのも市場の健全な發達を期したからに外ならぬ

末日限 特產納會成績

大連特產市場における九月末日限大豆、高粱は二十九日前場を以てそれ〴〵納會を告げた、大豆は賣買總出來高六千二百十六車、受渡高四百二十車、受渡標準值段四圓二十五錢、受渡歩合六分八厘弱にして前月末日限に比較すると賣買總出來高では一千百四十一車の減少を示したが、受渡高では百四十八車の增加を示し受渡標準值段は十五錢方の安值であつた、尙公定相場は最高五圓三十六錢最低四圓十三錢でこの開き一圓廿三錢である、受渡の手口を示せば左の如し(單位車)

▲渡方 東永茂 二八 和泰 九 泰來 一七 雙盛 一一 福元 興懋東 四 公濟棧 九九 益興德 二
益發合 五八 丁新昌 五 裕昌元 一七 東昌源 七 日清 一五 玉谷 六 瓜谷 一〇二 三泰 三〇 三井 二九 三菱 二三三
▲受方 寶隆 八五 和記 三四 順發公 一 豐年 六七

次に高粱は賣買總出來高一千二十五車、渡受二十七車、受渡歩合二分六厘強にして前月末日限に比し賣買總出來高では九百三車の減少を示し受渡高では七車の增加受渡標準值段は十三錢方の安值である、なほ公定相場は最高二圓五十二錢、最低一圓八十錢、この開き七十二錢であつた、受渡の手口を示せば左の如し(單位車)

▲渡方 益興德 二 東昌源 三 三井 一 三菱 一
▲受方 達昌 一 泰來 一 双盛 六 福順厚 八 天和成 一

日印現行條約延長に關し 英國折衷案提議 松平大使から請訓

【東京三十日發國通】松平大使は廿八日午後英外務省を訪問、懸案の日印通商條約延長問題につき協議の結果、英國側は新通商條約締結まで現行條約を繼續實施せんとする日本側の要求は廢棄通告を無意味ならしめるから、英國より日本へ通告した通り廢棄を一ケ月延長することにしたいと提議し、兩國の意見を折衷した案を得た松平大使は政府に請訓し來つたが、英國側の意向は既報の如く日印通商條約に關する暫定取極めに就いて英國政府は條約有效期間滿了後尙一ケ月延長することに同意する、しかし若しこの有效期限たる十一月十日以前日印間に協定が成立せざる場合は印度に於て日本及印度の兩政府代表者間で協定される條件に從ひ更に適當なる期間延長せ

下旬貿易 出超二千二百萬

【東京三十日發電】九月下旬の對外貿易は左の通り出超を示した

輸出 六千四百四十四萬四千圓
輸入 四千百五十九萬八千圓
差引出超 二千二百八十四萬六千圓

らるべしと言ふにある

產業自衞から 印度頑强 代表聯合協議

【シムラ二十九日發國通】澤田カイタン兩氏會見の結果印度側は飽く迄印度產業の自衞手段として關稅の必要を理由として日本の要求を斥けんとする意向あるので、澤田代表は直に政府代表民間顧問の聯合協議會を開始し、我國の執るべき方策を協議したが、會議の前途は愈々多難とみられてゐる

朝鮮水產會 新京で卽賣宣傳

【釜山】朝鮮水產會では水產物輸出獎勵の目的を以て來る十月十五日より五日間新京において朝鮮水產物の宣傳卽賣會を開催することに決定したが、種類は約百種の低級魚類に屬する鹽鰯及鹽干魚等である、なほ卽賣方法として新京の外奉天、大連方面の水產物取扱商人六、七十名を招待して商談を試みることゝなつてゐる、又夜間は活動常設館を借受けて朝鮮水產映畫を上映して宣傳する筈である

外國爲替管理 關東廳令內容(上) 橫山理財課長解說要旨

廿九日午後四時より大連商議主催、大連、滿日兩社後援の廿七日附發布「關東州及滿鐵附屬地外國爲替管理令」に對する橫山理財課長解說の要旨を左に揭ぐ

內地に於ても爲替賣買の思惑を禁止し、或は資本の逃避を防止する目的をもつての外國爲替管理法が資本逃避防止の意義を擴大して、本年第六十四議會により可決され去る七月一日より實施されてゐるが、この關東州及び南滿洲鐵道附屬地に於てもその實施の必要を認め、これを實施する聲明を發し、且つ關東州及び滿鐵附屬地には特殊的經濟事情が存在するので其の實施方法を種々講究中であつたが今年八月拓務省に於て外國爲替管理委員會に諮問し、この委員會の根本方針に大體從つて去る七月二十七日「關東州及び南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理規則」の公布を見、來る十月五日より愈々實施されるに至つたのである

今各條にわたつて逐一說明して行くが、內容說明に當つて前置したいことは、此の法令は三つの部分から構成されてゐることである、卽ち第一は公布に關する勅令であつて關東州及び滿鐵附屬地の外國爲替管理法も大體內地の爲替管理法に準據して居る事を示し、第二は關東廳令による外國爲替管理規則よりなるもので、此の法案の最も重大なる實體的な規定であり、第三は細則よりなつて居り、此の法の實施により生ずる手續きに關する事項を規定してあるのである

實際この外國爲替管理法なるものは複雜な對象を取扱つてゐるから、その條文が非常に難解なものとなつて居るが、この說明にあたつては法文の趣旨を失はない程度において平易に話す心算である、先づ「第一條」は金輸出禁止に對する規定であつて關東長官の許可なくして金貨幣、金地金、金の合金又は金を主たる材料とする物を本令施行地外に輸移出し、又はその豫備を爲すを得ずとされてゐる、なほこの本令施行地內と云ふのは關東州及南滿洲鐵道附屬地を指すのであつて、金貨幣は之を鎔潰し又は毀傷することを絕對に禁じてある「第二條」はこの規則中の最重要規則であつて、此の外國爲替管理規則の適用を受ける所の對象を夫々列記してあるのである、卽ち第二條は「關東長官の許可を受くるに非ざれば左に揭ぐる取引又は行爲を爲すを得ず」「一、邦貨を對價とする外國通貨の賣買」とあり、此處で云ふ邦貨は本邦貨幣、日本銀行券、朝鮮銀行券、臺灣銀行券たる所謂「金圓」を謂ふのであつて、是以外の通貨(例へば鈔票の如きものも)は皆外國通貨として取扱はれ、之等外國通貨の賣買は共に許可を受ける必要があり、この賣買には先物賣買も含まれ、また他人に賣買を委託する場合も包含し、取引に於ては取引人及びその委託者共に許可を必要とするのである、それ故之等の兩替、錢鈔業に於ての賣買は當然にこの規則が適用されるわけである、然し例外規定として次の第三條に許可不要の場合が規定されて居り、然もこの例外が相當に廣範圍にわたつて居るから、日常賣買需賣買には絕對に許可が要らないといふ事になり、この點安心して然るべしと思はれる

第二條の(二)は邦貨又は外國通貨を對價とする外國爲替の賣買で此處で云ふ外國爲替とは本令施行地と施行地外とに跨るもの、卽ち施行地より施行地外へ仕向け又は施行地外より施行地內へと仕向けられた爲替手形、小切手類を指すもので、之等の賣買は皆關東長官の許可を受ける必要を有し、たゞ外とにわたる場合は外國爲替と施行地外との圓爲替でも本令施行地外へ仕向けられたものは許可を要することになり、一例を擧げれば、ハルビンから大連へ仕向けられた圓爲替も許可無くしては行はれない事になる、但しこの場合內地との間の圓爲替は除外され、これは自由に賣買する事は差支へないのである、以上によつて明かなる如く外國爲替の賣買卽ち邦貨、外貨(滿洲に於ける銀系通貨を含む)でも外國爲替の賣買は上海との間の滬申取引と同樣この第二條の對象となる、但し例外のある事は上述の通りである三、四、五等は條文に示す如く特に說明を要しない、六の例を示せば本令施行地外からの送爲替を施行地內に拂ふ場合等が代表的なものであり、この場合勿論この規則の對象となるのである

「第三條」は第二條の規定に拘らず關東長官の許可を受くるを要しない、卽ち例外の場合を定めてある、一、は輸移出入貿易の爲に必要なる場合で、この場合には當然許可を要しないが然しそれには貿易の內容、性質に制限があるわけで、この貿易に實際に必要にして適度なる範圍及び時期の許す限りに於てこの例外が認められ、貿易額に不相應な又非常に遠期の先取引をなす時はこの限りに非ずとしてあり、第二項は條文に明なる如く、第三項は本令施行地內に於ける公債、社債等の在外投資者に對する收益をその在外投資者に送附する場合、第四、五、六項は省き第七、第八項は旅行者等に對する規定で、第七項は通貨にて自己にて持參するもの、第八項は送金をなす場合である

通商審議會 十二日第一回會合 海外商權確保案審議

【東京三十日發國通】我海外商權確保の根本方針を確立すべく、內田前外相が設立した通商審議會は外相更迭、委員の人選並に增補等の問題で延期されてゐたが、委員の顏觸れも二十九日發表され第一回の顏合せは來る十月十二日午前十時より外務大臣官舍で開會愈々我海外商權確保の具體案審議を開始する事となつた

近海郵船が 連灣航路に 新配船

近海郵船では今回大連臺灣航路に配船中の岩手丸を廢して優秀の貨物船岐阜丸を配し大連臺灣間の蒐貨に積極的に動きかけることになつた、更に十二月よりは第二養老丸を配して二隻の定航とする豫定であり、行く〳〵は船客の設備をもする筈であると

開原管內農作 概ね增收

【奉天】九月中開原管內の農作狀況は八、九月に於て比較的順調な氣候に惠まれ、一般農作物は孰も成績良好で、黍は本月上旬既に大體收穫を了し粟も本月中旬より取入れが開始され大豆、高粱も作柄良好で稻作の如き作付面積は昨年の二倍で收穫又一割五分の增收の見込昨年より二十萬石增加し結局七十萬石の收穫がある見込である

九月限株式受渡

大連五品取引所の株式九月限定期受渡高は株數一千五百六十枚、代金七萬五千六百十圓、一株平均值四十六圓六十三錢でこれを前月の受渡に比較すると株數二千二百八十枚、代金六萬一千五百九十五圓の共に減少を示してゐるが一株平均值は東新株の受渡が多かつたので十二圓六十三錢の值上りを示してゐる、各取引人別に受渡の內譯を示せば左の如し

▲五品株(渡方)柏原一〇〇、石橋四〇〇、岡村五〇、三谷二〇、早渡六六〇(受方)山田三〇、伊藤五〇、德泰四〇、白川一〇、後藤一二〇、石橋三〇〇、山本七〇、橋本三〇、中村三五、瀨川三〇、美好五〇、三谷五〇、鴇邊四〇、岡崎五〇、計一、二三〇枚
▲新豆株(渡方)山田五〇、鎌野五〇、早渡三〇(受方)山田三〇、伊藤五〇、石橋五〇、計一三〇枚
▲東新株(渡方)後藤二〇、早渡一八〇(受方)山田三〇、白川一〇、中村八〇、美好四〇、岡村一〇、鴇邊三〇、計二〇〇枚、總株數一、五六〇枚、代金七六、〇一〇圓
▲受渡標準值 五品 二七、〇 新豆 二一、〇〇 東新 一九四、〇

八月中 奉天到着貨物

【奉天】奉天驛取扱ひによる八月の貨物噸數は到着十二萬五千八百六十三噸で昨年同期の七萬四千九百六十三噸に比し五萬噸餘の增加であるが、發送數量は二萬七千二百二十七噸で前年同期の五萬三千四百九十五噸に比し二萬六千二百六十八噸の減少を來して居る、これは今年の特產出廻りが少いためと軍需品の輸送が激減した結果である

清酒品評會 褒賞授與式

關東州酒造組合第十六回淸酒品評會褒賞授與式は三十日午後二時より市役所市會議場にて開催されるが入賞淸酒並に表彰杜氏左の如し

優等 松鶴ロ號 合資會社原田商會
一等 高風イ號 岩田 爲藏
同 アカシヤ正宗ロ號 北川 商店
二等 月ケ瀨ハ號 森川 淸
同 美乃鶴ハ號 鹽足 龜吉
同 志摩錦ハ號 志摩釀造合資會社

被表彰杜氏
優等 原田商會 宮澤 金作
一等 北川內 佐藤 郡司

錢莊困憊 國幣に統一され

【奉天】滿洲建國で中央銀行が國幣をもつて統一したゝめ、錢莊業者はこれまで各省が濫發してゐた地方通貨の交換で利益を占めてゐたのが全然其の利鞘がとれなくなり、僅かに國幣と圓金との交換で店舖を維持してゐる狀態であるが百餘軒の城內錢莊兩替店はいづれも青息吐息で約半數は閉店の止むなき傾向にあり大恐慌を來してゐる

九月限商品受渡

大連五品取引所の九月限商品受渡高は麻袋七十五萬枚、代金二十五萬九千百五十圓、綿布受渡高八百二十八俵、代金十七萬五千四百七十七圓六十錢であつた

會頭書記長北行

來る十月一、二の兩日ハルビンに於て開催の全滿商議書記長會議並に三、四兩日の滿洲商議聯合會に出席の爲め長永大連商議書記長は廿九日午後四時半の急行で北上、高田會頭は滿洲商議聯合會に出席の爲め十月一日北上の筈

黃塵

◇…奉天城內の兩替業者達が舊紙幣の流通を禁止されてから、スッカリ營業がさびれ出し、氣息奄々の揚句が店を閉ぢればならぬものが少くないといふ、由來複雜な通貨裡に生活してゐるのが支那人の一特有性があつただけ、國幣の統一といふ單一化が彼等を困らしたことはあり得ることだ。

◇…滿洲の木材都市安東が材木の拂底を來して、はる〴〵樺太から輸入するなんどは全く未曾有の現象だらうそれだけ本年の木材消化が旺盛であつたことを物語るものだ。なんにしても目出たい一事實たるに相違あるまい

滿洲國商標法の一瞥(四) 中村如峰

四、關東州と商標法

滿洲國商標法第八條に國內に住所、居所及び營業所の孰をも有せざる者は、國內に住所、居所又は營業所を有する代理人に依るに非ざれば、商標の登錄出願其他の手續きを爲し、又は商標專用權若くは商標に關する權利を主張することを得ずとある、この國內とはいふまでもなく滿洲國內の意である、卽ち滿洲國內とは關東州並に滿鐵附屬地を除いた滿洲國內の地域をいふのである、換言すれば滿洲國の法權の及ぶ範圍の地域を指示したものと解すべきである。

この意味からして關東州及び滿鐵附屬地は、商標法では純然たる外國扱ひである、日本內地、朝鮮、臺灣、樺太と同樣である、英國や米國や波蘭やチエックやエストニヤやラトビヤとも同樣に取扱はるゝのである、今、滿鐵附屬地は近く治外法權の撤廢、附屬地の返還が解決せらるれば、滿洲國の法權下に歸するのであるから暫く之を切離して、關東州單獨に商標法上の地位を考察しなければならぬ。

先づ第一に考察しなければならぬ事は、滿洲國の商標法上、關東州は純然たる外國扱ひを受けねばならぬであらうかといふ問題である、素より關東州は我が租借地であり、我が法權に依つて統治せられつゝある地域である、滿洲國の法權が一歩も踏込むことの出來ない地域である、この意味からすれば、日本內地や臺灣、朝鮮と同一な外國であり、米國やエストニヤ等とも同樣な外國としての形體にあるのである、然らば之を經濟的に見たらどうであらうか。

◇

關東州は滿洲國の南端に位置し同一經濟關係に置かれ、而も滿洲における經濟の主體は關東州にあり、原動力もその大部は關東州にある、大連における輸出入貿易額が、全滿貿易額の約七割を占據し大連海關の收入がこれに伴ふものあることを考へたならば、之等の事情は最も明確に且つ如實に證據立て得る、且つ滿洲に取引される我が商品の商標約六萬(我が特許局の推定)の大部分が、また關東州を中心なり基點として動いて居る。

斯うした關係から關東州を見るときは、關東州と滿洲國との聯絡と交涉は同じく外國といつても、日本內地や臺灣、朝鮮、樺太とは大いに事情を異にするものあるを知るに足るべくまた米國やエストニヤ、ラトヴイヤ等とは全然違つた立場にあるを、直に發見し得るであらう卽ち經濟的に滿洲國から見た關東州は、果して之れを純然たる外國と言ひ得るであらうか、然るに滿洲國商標法は全然關東州を外國同樣に取扱はんとして居るのである。

然らば其の結果はどうなるであらうか。

關東州內の在住者は、日本人と滿洲國人が殆ど大部を占め、他は少數の外國人である、この日本人は素より假令滿洲國人でも、關東州內に住居する以上は、商標の登錄出願其他の手續を爲し、又は商標專用權若くは商標に關する權利を主張せんとする場合は、滿洲國內に居所、住所又は營業所を有する代理人に依るに非ずんば、之を爲すことが出來ない(第八條)ことになつて居る、料金納付の如き些細な手續までも、代理人を依賴して報酬を支拂はなければ出來ないその煩瑣と負擔は言ふべくもあるまい。

その代理人は滿洲國に居所、住所又は營業所を有する者ならば、誰でもよいといふ譯には行かない、實業部令第七號を以て公布せられた「商標局に對する手續に關する件」に依つて許可されたものでなければならぬ、卽ち滿洲國內に居所、住所若くは營業所の孰かを有し、商標の出願、請求その他の手續きに關し代理行爲を業とする者であつて(第一條)實業部總長から許可を受けた者でなければ(第二條)代理を依賴することが出來ないことになつて居る。

◇

次は證明の矛盾である、滿洲國商標法は先使用主義を採用(第四條第一項)して居る結果、商標登錄出願に際して次の證明を要する

一、滿洲國內に於けるその商標の使用開始年月日
二、その商標を滿洲國に於て現在引續いて使用しつゝあることと

故に滿洲國內でない關東州では、如何に古くからその商標の使用を開始し、現在引續いて使用して居つても、それは先使用の證明にはならないといふことになる、滿洲國政府が大自慢の先使用主義も、關東州に在つても些かも有難味がないのみならず、却て國內不正業者の爲めに飛んでもない不測の被害を受けないとは、誰れが保證しやうぞ、關東州內の商標權者若くは商標使用者は深甚な考慮と戒心を要するのである。

特產 市況(三十日)

賣物旺盛で大豆軟調

今朝の定期は大豆は賣物旺盛に軟調を辿り、豆粕も相伴つて軟調を呈し、豆油は買氣薄に低落を辿り高粱は邦商奧地筋の買戾しに强含を示した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百七十三車
▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 五萬四千枚

▲豆油(低落)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
一月限	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇

出來高 一千五百箱

▲高粱(强含)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三十車
▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)	四〇七〇	四一三〇
大豆(裸物) 出來高	六十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	一一九〇	一一九〇
出來高	一萬枚	
豆油	出來不申	
高粱(上物)	一八五〇	一八二〇
出來高	三車	
包米	二五八〇	二五八〇
出來高	一車	

豆粕生產高 三十日 一二、〇〇〇枚 五軒 / 卅一日 八、〇〇〇枚 四軒

定期喰合高(廿九日帳入) △印減 前日對比

	喰合高	前日對比
大豆	三三〇六車	△七車
高粱	七三五車	△八車
豆粕	四八一千枚	一二千枚
豆油	六三五百箱	一〇百箱

豆

けさ大豆は奧地筋及南支筋賣りに外商及邦商買も材料とならず軟調を辿つた▲豆粕も大豆安に押されて邦商買も利かず軟調を示し豆油は買氣薄に低落を呈し高粱は邦商奧地筋の買戾しに强含を辿つた▲輸出筋の買氣があつても新大豆の出廻りに悲觀人氣を呼び奧地筋が一齊に賣放つので相場は依然として落潮滔々▲現物大豆は日清一〇、三菱一〇、三井五、寶合、現粕は三菱四、瓜谷四、奧二で一萬枚の買物に過ぎず一方油房生產高は十月に迫つたのに一向に增加しない

六圓〇五、大洋九五圓三〇、神戶日米同事、上海標金四五元安を入れ當市は人氣冴えず弱含み商狀を呈した

銀

海外銀塊は倫敦同事、紐育八分五高、米日爲替二十五仙高を入れ▲材料區々なるも當市は依然として爲替法の運用に對し樂悲交々の觀測行はれ不引立の商狀を呈した▲昨日橫山理財課長の條文解說でアウトラインだけは判つたが結局運用如何が問題であるので氣迷ひを免れない▲結局實施されてみなければ確然とは判らないことであるから當分マバラ筋は手を引き靜觀するが賢明であらう▲滿人取引人側では大連に見切りをつけ早くも青島進出を考へてゐる向もあるさうだ

株

大阪諸株はいづれも二圓搦みの低落東新も三圓方暴落して二圓臺の新安値に辷り▲當市も之につれて五品錢鈔は八九十錢安と低落しいづれも新安値となつた▲九月は期待された秋高相場も出ず低迷商狀を辿り月末掉尾において安値をみせたのであつた▲けふの引の氣味ちからみると東新はもつと惡るさうだがさて來月はどうか▲大體において九月は玉整理時代で終始したが貿易の好轉などから十月は人氣の好轉をみるのではあるまいかと思はれる

錢鈔 氣迷ひ人氣で鈔票弱含み

海外情報は倫敦銀塊現物先物共同事、紐育銀塊八分の五高、孟買同事、米英クロス三仙四分の一高、米日爲替二十五仙高、滙水百八圓から百九圓四分の一、滙申九七元五〇、滙烟九

◇定期前場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近二百十一萬圓

◇現物前場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金十七萬一千圓 銀對洋七萬四千圓)

株式 東新低落 五品軟調

北濱定期の前場寄は大株二十錢安、大新一圓五十錢安、鐘紡一圓八十錢安、鐘新一圓八十錢安と反落を呈し引は各々七十錢、二十錢、六十錢、四十錢方安と下押す、東京短期の東新は再び五圓臺を割つて四圓十錢と寄付き、更に二圓十錢へと二圓方の低落に大引、當市五品の定期も內地につれて軟弱に九十錢方安、延も弱く、錢鈔又も九十錢方安と反落し、東新も二圓九十錢と東京軟調に連れて弱引した

滿鐵株(保合)

▲東短前場 滿鐵新株 六十七圓十錢
▲大阪短期 滿鐵舊株 六十七圓七十錢

前場

◇定期(單位十錢) 銘柄 當限 先限 五品(寄・中・引) [illegible]

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇糶取引 代行 二五八 商取信 一六〇
◇爲替及受渡日歩 爲替 受渡 代引 代渡 日歩

商品

株式出來高(廿九日)
定期 二、八六〇枚
延 一、五〇〇枚
糶 六五〇枚
合計 五、〇一〇枚
早受渡金額 五七、八四〇圓

上海爲替情報

▲本日受渡休會

【上海三十日發】圓は銀塊賣物多く大連筋ボツ〳〵買ふも全く評價されて氣配强し、弗は中央銀行正金銀行良く賣りたる爲、投機筋の買も利かず三、四分三賣手にて飛込み賣なく安値高値保合

上海標金
寄値 七七五元
高値 七七六元六〇
安値 七七二元
止値 七七三元五〇

手形交換高(三十日)
金 [illegible]
銀 [illegible]

爲替相場 鮮銀

倫敦向電賣(一圓) [illegible]
紐育向電賣(金百圓) [illegible]
同上海電賣(百弗) [illegible]
同 賣(銀百圓) [illegible]
日本向電賣(同) [illegible]
同支日拂買(同) [illegible]

奧地相場 錢鈔

奉天票(現物) / 金票對(奉天) / 國幣對(現物) / 金票(奉天) / 國幣對(先物) / 開原國幣對金(現物) / 新京國幣對金(現物) / 安東鎭平銀(當限・先限) / 哈國幣對金票(現物) [illegible]

各地特產發送高

▲開原 大豆 三車 高粱 一車 豆粕 二車 雜穀 一車
▲公主嶺 大豆 三車 高粱 七車 豆粕 四車
▲四平街 大豆 四九車 高粱 二車 雜穀 四車
▲新京 大豆 一五車 豆粕 五車 雜穀 一六車

大連埠頭到着高

大豆 八六車 高粱 一車
豆粕 六車 雜穀 一二車

市場電報(三十日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊 一八片一六分七
同 先物 一八片一六分七
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
スチール [illegible]
アナコンダ [illegible]
英米爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]

神戶日米

第一回 [illegible]
第二回 [illegible]
第三回 [illegible]

棉花

●米棉 現物・十月・十二月・一月・三月・五月・七月 [illegible]
●印棉 ベンコール 一五一留比 ブローチ 一七三留比 オムラ 二〇〇留比

大阪株式

銘柄 大株・大新・鐘紡・鐘新・日糖・郵船・日鐵・滿鐵新・東株・東新(短期) 前場寄・前場引 [illegible]

東京株式

[illegible]

大阪期米 / 神戶期米 / 東京期米

當限・中限・先限 前場寄・前場引 [illegible]

大阪綿糸 / 大阪棉花 / 橫濱生糸 / 印度麻袋

[illegible]

滿洲日報

昭和八年十月一日 (日曜日) 滿洲日報 第九千八百六十四號 (一)

朝夕刊共十二頁

定價 一部金五錢 一ヶ月金一圓二十錢 郵税金十五錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別場所指定二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武監
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

廣田外交新作戰に陣後の支援を懇望す
對米平和保障努力を誓ふ
外相きのふ藏相訪問

【東京三十日發國通】廣田外相は三十日午前九時半高橋藏相と重要會談を遂げ同十一時辭去した

【東京三十日發國通】廣田外相高橋藏相會談の内容は帝國の外交方針に關し鋭意研究の上聯盟脱退後に於ける對列國關係對支問題等に就き新生面を開く事に努力しつゝある點を説明し對支關係に就いては近く蔣支那公使の歸任を待つて兩國關係改善上に一進展を見んことを期待すると述べ更に對米關係に就いても此際之が改善を實現する必要ありよつて駐米大使以外に更に有力な使節を派遣し日米關係を緩和せんと考慮してをる次第であることを告げ外務省としては全力を擧げ對外關係改善に努めつゝあるを以て藏相に於てもこの點大に同情諒解を與へられたし從つて外務豫算に就いても多少増加すべきを以て之を容認されたいと述べ外相の平和國策の全貌を高橋藏相に告げたるに對し藏相も賛意を表したものである

藏相諒解

【東京三十日發國通】廣田外相は就任以來外交國策遂行のため其の抱懷する意見に就き齋藤首相を始め軍部側最高首腦部を個別的に訪問何れも長時間に亘る懇談を遂げつゝあつたが更に三十日別項のごとく閣僚中の長老たる高橋藏相を訪問一時間半餘に亘り現下の帝國外交國策遂行の完璧を期するため所信を披瀝し更に外務省の新規要求に就き説明し藏相の支持諒解を求めたが高橋藏相も新外相を大いに鞭撻激勵するところあつた

軍令部異動

【東京三十日發國通】海軍々令部條例改正に伴ふ軍令部異動は一日發令の豫定

補軍令部總長 元帥海軍大將大勳位 博恭王
補軍令部次長 海軍中將 高橋三吉
海軍少將 島田繁太郎
補軍令部第一部長 海軍少將 古賀峯一
補軍令部第二部長 海軍少將 津田靜枝
補軍令部第三部長 海軍大佐 前田政一
補軍令部第四部長

兩陛下還幸啓

【東京三十日發國通】葉山御用邸に御滯在あらせられた天皇、皇后兩陛下には今朝十一時三十五分東京驛御着、二ケ月半ぶりで天機並に御機嫌麗はしく兩陛下御揃で宮城に還御遊ばされた

政黨聯合に一步前進
まづ選擧法共同調査を行へ
松田民政幹事長提議

【東京特電三十日發】二十九日衆議院各派の議會振肅委員會において民政黨の松田幹事長から選擧法改正の各派共同調査を提議し、各派委員もこれに賛成したことは政黨各派の間に漲る空氣を代表したものとして相當注目されてゐる、即ち從來政民各派の中には政黨の信用恢復と議會政治立て直し工作のため政黨共同國策調査會設置論が行はれたが、種々の關係から實現しなかつたが選擧法改正の共同調査はやがて政黨の聯合提携に一步を踏み出す可能性を促進するものとして政界各方面から注目されてゐる

議會振肅委員會

【東京三十日發國通】衆議院議會振肅委員會は昨日午後二時から議長官舍で開會され秋田、植原正副議長、政友會島田、山口、民政黨頼母木、松田、國民同盟山道、清瀨、第一控室安部の諸氏出席、選擧法改正事務局案の審議に入り松田氏は改正案の大綱即ち比例代表制か選擧公營を採用するか連坐規定の擴張、罰則規定の改正に就き各派一致案を作成して議會淨化を促進したいと提言し島田氏も主旨に賛成で各部會の承認を經て希望に副ふと述べ午後四時半散會した

商工省官吏 實業部入り

【東京三十日發國通】かねて滿洲國政府より有望な青年官吏の招聘方を商工省に申出て來たが商工省では銓衡の結果商工事務官椎名悦三郎氏以下四名、商工技師伊藤慶二氏以下二名の六名を選び右六名は本日附依願免官となり滿洲國實業部官吏として近く赴任する事となつた

第十回論功行賞發表
滿洲事變犠牲九十八柱に對し

【東京三十日發國通】滿洲事變第十回論功行賞は卅日公表、主として滿洲にて名譽の戰死を遂げた九十八名に關するもので中九十五名は金鵄勳章を授與せられ特に偉功を樹てたる步兵第四十聯隊村井瀨伍長に對しては拔群者として特殊賞を受け又騎兵第十八聯隊黑澤少尉は准士官として小隊長として勇戰特に功五級といふ破格の恩典である特校の分左の如し

步兵第二十九聯隊 功四級勳四等旭日章 步兵中佐 佐伯健雄(仙臺)
騎兵第十八聯隊 功五級勳四等旭日章 騎兵少佐 川崎長雄(兵庫)
騎兵第十八聯隊 功五級勳六等旭日章 騎兵大尉 片岡三男(岡山)
騎兵第十八聯隊 功五級勳六等旭日章 騎兵少尉 黑澤貞造(埼玉)
關東軍憲兵隊 功七級勳四等旭日章 憲兵軍曹 佐藤達吉(北海道)

空の架橋
日本海横斷
凱歌は相澤大尉へ
……二番機舞鶴を出發……

【羅津特電三十日發】今日は海軍の日本海横斷飛行の成功を祝するが如く昨今稀な絶好の飛行日和なるが相澤大尉の操縦する一番機は右舷發動機不工合の爲遺憾ながら本日の横斷を取止め一日の試驗飛行の結果、工合よければ一日午前七時舞鶴出發の豫定、二番機は朝霧深きため豫定時刻より遲れ本日午前八時四十五分舞鶴を出發した

羅津へ着水

【羅津特電三十日發】八九式飛行艇五二號機は五百十浬の日本海を横斷し午後四時二十分羅津灣頭遙か向ふの上空に機影を現し羅津灣を二回旋回し萬歳々々の歡呼裡に四時三十五分鮮かに着水した、この日羅津は戸毎に國旗を掲げ着水場海岸はこの空の勇士相澤大尉以下七名の勇士を迎へるため指揮官宮川少佐を始め在郷軍人、正田警察署長、矢島郡守、雄基憲兵隊長、齋藤羅津面長、桑原羅津建設事務所長、羅津の各有志外數千名の觀衆を以て埋まる近來稀な賑ひを呈した

一跨ぎ舞臺に狹し日本海

【羅津特電三十日發】相澤大尉は語る

舞鶴出發は務と五一號機故障のため大分遲れて午前八時四十分五二號單機で向ふべく話しました、途中は始終二メートルより六メートル向ひ風を受けて速力の出なかつたのは殘念でしたが近來にない好天氣で視界六十浬以上悠々横斷出來たのは全く天候のお陰であつた、六十浬先から北鮮の連山が見え出した瞬間はゴールに飛込んだやうな氣持がした、明一日五十一號艇が飛來するが矢張り向ひ風に惱まされるだらう、その代り歸還飛行に六時間かゝらぬと思ふ、兎に角今日の日本海横斷飛行は愉快極まりないものであつた

五百十浬横斷飛行の機上で勇士相澤大尉の詠じた句はかうだ

一跨ぎ舞臺に狹し日本海
一飛びにかけて空の橋

廣田外相に竢つ 對蘇關係の調整 (二)
新村龍二

二

以上は廣田外相の對外關係危機に對する廣田外相の判斷であるがこの判斷より外相の對外政策は生れて來る。外相は去る九月十八日滿洲事變二周年記念日に當り現狀維持が國際間の最高の正義を意味するやうに考へるのは形式論である、今日の現狀は昨日の現狀でなく又明日の現狀でもない、内容から云へば流轉するのが歴史の本質である と聲明した。この歴史觀を今日の外交用語に飜譯すると現狀修正主義である。この現狀修正主義はヨーロッパにおいてはイタリーやドイツが提唱してヴエルサイユ條約改訂要求となつてゐる。この意味において廣田外相の現狀修正主義は現狀維持を主張する國々に對蹠するやうに想はれる。だが今日は何れの國も現狀維持を以て今後その生活を繼續し得るとは思つてゐないのだ。今日は何れの國も或る諸問題に於ては現狀維持を固持し、他の諸問題においては現狀打破を主張してゐるのである。たゞその間の相違は何れの國がどれだけより多く現狀維持を要求し、またどれだけより多く現狀修正を主張してゐるかといふだけなのだ

而も廣田外相の現狀修正主義は自ら快を叫ぶために日本の孤立化を謳歌するものとは類を異にしてゐる。外相はその點を明白にするために「流轉する歴史の内容をその形式と衝突せざるやうに調和して行くのが平和を愛好するものゝ資格である」となし「今日の問題は如何にして形式的ならざる眞實の國際主義と國家主義とを調和するかの問題である」といつてゐるではないか。外相の漸進哲學は無鐵砲な空威張ではないのだ

ところで現狀修正論を提唱しつゝ「眞實の國際主義と國家主義とを如何にして調和するか」の問題を解決する任務を背負つて出た廣田外相は如何なる具體的對外政策を披瀝したか

外相は先づ「滿洲國の完全な建設を實現することが日本としては東洋平和の維持方法として最善の方法である」といふ確信から出發してゐる、而して他の諸國に對しては九月十六日外國新聞記者に對する就任挨拶のステートメントに於て

今や世界諸國の政治的經濟的相互關係は益々複雜化しつゝある我々があらゆる國々と最もよき關係を續けて行かねばならぬことはいふまでもないが、特別の注意を我々は直接の三大隣國との關係に就て拂はねばならぬ、それは即ち支那、ソウエート聯邦、アメリカである、イギリスとも經濟協定を結ばねばならぬ

と明言した。

支那、ソウエート聯邦、アメリカとの關係を特別重視せずして日本の外交政策はあり得ないといふ見解はこれまで多數の識者によつて承認されてゐたものであるが、かくの如く外務當局の最高責任者がこの事を明言したのは殆ど最初である。これはヨーロッパ第一主義、國際聯盟至上主義との絶縁である。日本人の頭には今や滿蒙が大陸における日本の生命線であることこそ、南洋委任統治諸島が太平洋における日本の生命線であることは十二分に徹頭した。そして大陸における生命線はいふまでもなくソウエート聯邦と相接し、太平洋における生命線はアメリカの勢力と近接してゐる。だからこの兩生命線と直接に接觸するソウエート聯邦とアメリカとの關係が如何に重要視すべきものであるかは小學校の生徒にも明白である

ところが如何に贔屓目に見るもこの二大隣國との關係は決して好いとはいへない。好くないどころか、益々惡化するやうに見受けられる。アメリカは「均勢を得た兩國(日米)の軍備は相互尊敬の念を維持するに役立つべく、若しこの均衡が破れる場合こそ、他の國がやゝともすれば侵略的野心を持し來るものである」(新聞王ハーストの言葉)とて頻に海軍空軍々備を擴大して居り、その政府は日本のなした日米仲裁條約締結提議を廣田外相就任の後も依然「これは問題にならぬ」と木で鼻をくゝつたやうに取扱つて居り、日本のゴムグツや電球に對し高い防塞を張り遶らすことを聲明した

對日政策の轉向に反蔣派反對を叫ぶ
南京首腦部辭職說

【上海特電二十九日發】黄郛の北支對策を支持するに決した蔣介石、汪精衛、宋子文等首腦部は更に蔣作賓公使を日本に歸任せしめ、日本に對しても經濟的に働きかけ財政の行詰りを打開せんとする模樣であるが、これに對し國民黨内少壯氣鋭の黨員は對日抵抗を高唱せる蕭氏等が假令一時的にもせよ對日接近策をとるは國民を欺くものとし政府糾彈を叫んでゐる、又西南派を初め各地の反蔣派もこれに呼應せん氣配を示してゐるが、折角對日轉向を策した蔣氏らはその對策攻究中なるところ二十九日に突如蔣、汪、宋三氏の辭職說が傳へられた、これは蔣氏等が反對派を牽制しつゝ將來の責任回避よりする一策と消息通は見てゐる、いづれにしても慰留されるものと見らる

【上海特電三十日發】汪精衛と蔣介石、宋子文等との暗鬪は遂に深刻化し汪は南京より上海に歸り要職全部を辭職することに決意したと傳へられてゐる、これに對し蔣介石、宋子文も財政破綻を口實として辭意を表明したとの報あり蔣介石、汪精衛の提携不調は軍費捻出米麥借款に絡まる策謀の結果であると見られてゐる

北平公安局長 余晉和氏就任

【東京三十日發國通】三十日陸軍省着情報に依れば久しく問題となり一時は河北軍隊の動搖をも豫想せしめた北平公安局長問題も二十八日豫定の如く余晉和氏の正式就任を見るに至り一段落を告げた

于學忠軍天津に歸還

【東京三十日發國通】三十日陸軍省着情報に依れば保安隊の名に依り非武裝地區に侵入せしめた于學忠軍に對し支那側は我が軍の撤退要求の結果二十九日天津に歸還せしめた

ハバナの騷擾益々激化

【ハバナ二十九日發國通】ハバナ市中における共産黨の示威行列隊と政府軍の衝突は益々激化し銃聲はハバナ全市到るところに聞かれるに至つた、その結果多數の死傷者を出してゐるが、正確な數は未だ判明しない、米人ニュース映畫撮影者も衝突の實況撮影中狙撃された、今回の騷擾にはソウエートロシアから入り込んだ共産黨員が煽動を行つてゐる事實あり、本日は罷業團を煽動しハバナ市内の取引を停止させ砂糖工場を奪取する計畫を樹てたもので形勢なほ憂慮されてゐる

譲步條件付原狀回復
日印條約問題

【東京特電三十日發】シムラ來電によれば三十日の日印會商に於て日本代表は日印通商條約の廢棄通告された四月十日以前の狀態復活にする事但し無條件復活でなく、日本側より綿布其他の數量統制を行ふ、綿布關税は現行七割五分より四月十日前の五割に引下ぐべしとの要求を提起したと

林總裁けふ東京出發

【東京特電三十日發】林滿鐵總裁は上京の用件を終り十月一日午後一時發歸任の途につき三日京城に赴いて村上理事と會見七日頃歸連の豫定である

滿鐵重役會議

【東京三十日發國通】滿鐵重役會議は三十日午後二時より開會、八田副總裁、十河、山西、竹中、河本、大淵、山崎の各理事、石本總務部長出席、重要協議をなし午後七時散會した

佐藤武田兩中將

【東京三十日發國通】參謀本部附佐藤三郎、近衛師團司令部附武田秀一兩中將は十二月關東軍の某要職に轉補される事に内定した

警察官異動
牧田(沙河口)署長遼陽へ

關東廳警務局中警務部の滿洲國及び鐵路總局進出に伴ふ異動は三十日左の如く一部を發表された

補遼陽警察署長 警部 牧田太猪藏
高等課警部 警部 廣石郁磨
補沙河口警察署長 警部 平林三次
同 警部 佐藤敬治
依願免本官(各通) 衛生書記 川島繁雄
願により本職を免ず 本溪湖警部 吉川忠一
同 撫順警部 佐々木兼雄
同 鞍山警部 藤本[illegible]
同 本溪湖警部 坂井博延
同 北里房義
依願免本官(各通) 警務局警部 田部奥竹
新京警部補 武市琦
同 黑瀨始
遼陽同 吉宮重雄
營口同 杉岡與助
瓦房店同 喜多喜一
大連同 伊藤次郎
同 光增延
范家屯同 佐藤彌太郎
鐵嶺同 千葉誠
同 安本美喜三
同 中村智全
依願免本官(各通) 警視 清水徹
同 磯部波治

五・一五事件 民間側公判
きのふ第三回

【東京三十日發國通】民間五・一五事件第三回公判は三十日午前九時十分開廷、橘孝三郎起ち「自分がこの計畫に進んで參加せんと決意するに至つた重大動機を申上ぐる」と前提し

曾て古川が私を訪れて來た時是は日召や陸海軍人達の社會改造の指導原理であり革命のバイブルであると北一輝の日本改造案なる書を示されたが其の改造案なるものは社會的認識が全くゼロである、斯るものを聖典として國家改造をやられてはたまつたものでない依つて不肖乍ら自分が出て建設的指導に當らんと決意したものである

と述べ

王道國家の根本は徹底せる民本主義でありその一機關として議會を認めるがそれは資本家地主の利益を代辯する現在の如き代議士でなくして大衆を代表するものでなければならぬ

と説き更に茨城縣の實情を例に引き地方政治の墮落と地方官吏の無力ぶりを述べ

要するに現在の政治が大地に足をつけてない事に一切の原因がある

と力説し少憩に入る

少憩後再開

少憩後十時四十五分再開、林正三腦貧血で退廷、橘は日本改造案の第二項經濟組織論に入り

個々の利益が全體の利益と衝突し血みどろの鬪ひをなさざるを得ぬ資本主義的經濟組織の慘禍から人類を救ふのは協同組合運動に依る外はない、併し消費者のみでは盾の反面のみだから生産者側の協同組合組織を徹底的に行はねばならぬ

と力説十一時五十五分休憩

午後續行

午後一時三[illegible]開[illegible]、橘起ち教育論に入り「誤れる教育は其人と共に國家をも損傷する」として「愛國主義精神を涵養し共[illegible]生活に馴致する樣せねばならぬ」と説き起し現在の大學教育の技[illegible]のみに偏するを排し次いで共[illegible]織國防組織論に入り次いで思想[illegible]展の經過につき一通り語り[illegible]革命とは主權を改めるとの意であるから日本にはあり得ない言葉である と革命の字義を説きマルクス主義の批判に入り少憩に入る

二時半再開

橘氏は更に人口問題に就てマルサス主義を否定し日本は山岳國だが尚ほ拓かれぬ耕地が無限にある、足りないのは土地でなく人だと喝破し

然るに共土地を耕したくとも耕せないのはマルサスの説く如く自然關係でなく社會關係である

と述べ次にマルクス主義の批判に移り農村の經濟關係はマルクスの説く如きものではないと論じ午後三時閉廷

伍堂理事辭表撤回に決定す

【東京特電三十日發】伍堂氏は昭和製鋼所社長として專念したき意向を有してゐたが、永井拓相、林總裁會見の結果その辭職を容るゝときは各方面に影響するところ多しとしてこれを慰留することになり三十日林總裁よりこれを伍堂氏に傳へたので氏は永井拓相とも會見しこの問題に觸るゝことなく製鋼所の件につき報告するところあつたが、尚製鋼所の人事其他の問題を處理し内地の製鋼界の狀況を視察の上歸任すると

書記生墨國へ

【東京三十日發國通】三十日在メキシコ堀公使よりの來電に依れば過般メキシコ國タンピコ市附近を襲つた大暴風雨洪水のため住民は住むに家なく飢餓に瀕し慘狀を極めて居るが同市には邦人約百名が居住し居るので公使館では直に邦人救濟のため食糧その他救濟資料を携帶せしめ二十九日飛行機に依つて伊勢川書記生を現地に派遣救濟に努めて居ると

開魯北方に匪賊

【奉天電話】二十九日開魯北方に匪首占中華の率ゆる約二百名の匪賊團が現れ急報により開魯政治隊より齋藤中尉の指揮する二小隊騎兵一小隊蒙古軍が出動し約四時間に亘つて激戰の末これを西方に潰走せしめた

無線通信無休制

【東京三十日發國通】遞信省では南米エヂプト、小アジヤ、シヤム諸國との從來の時間通信制を改めて無休連絡を行ふ事になつた、即ち十月一日より日本は日本無線の設備を最新式の裝法に改善し二十四時間を通じて通信し得る事になるので從來に比して速達される筈

綿類輸出增 棉花輸入減

【東京三十日發國通】九月下旬十六港外國貿易概算は夕刊報の如くなるが前年同期に比し輸出二百七十三萬六千を輸入七百二十六萬四千に增加、輸出入合計二千萬の增加となつた、而して一月以降入超額六千九百七十五萬四千圓、前年同期に比し四千四百八十五萬五千の入超減となつた、その内容は綿織物の輸出依然旺盛他方棉花の輸入數量は減少を示してゐる

菱刈長官過奉

【奉天三十日發國通】旅大方面を視察中の菱刈司令官は本日午後三時十五分奉天通過新京に向つた

辭令

【東京卅日發國通】
依願免本職 撫順高女教諭 辻一

關東廳辭令(三十日)

關東廳事務官 蠣川久太郎
大連民政署財務課長を命す 關東廳警務局長 大場鑑次郎
警察官練習所長を命す 關東廳事務官 米内山震作
歐米各國へ出張を命す 勳七等 牛田才藏
依願免本官 關東廳通信技手 川井藤三郎
敍正七位 關東廳理事官 鎧谷文吉
陞敍高等官六等 關東廳事務官 近藤義一
七級俸下賜 從七位 近藤義一
依願免本官 關東廳專賣局屬 近藤義一
任關東廳屬 吉本龜助
任關東廳警視 清水徹
五級俸下賜

本日夕刊共十六頁

兒玉博士夫人を繞る
舞臺に躍る人々・批判 (C)

家庭生活に對して眞劍さがない
わたし達には想像も出來ぬ
滿鐵々道部タイピスト　中原勝子さん

「そうした話はどこか閑のある奥さんにお聞きになると好い」これが中原さんが記者に放つた…

それを批評しろとか感想を述べろとかいはれるのは貴方が無理でせう…

と言つて家庭生活を無視して好い筈はありません、研究に專念されるとすれば家庭をお持ちになることが間違つてゐると思ひます、かうしたことを考へると博士も家庭生活を無雜作に考へて却つて博士

…自身が享樂的な女性をお求めになつたのではないでせうか。子供さんでもあれば……
記者「僕たちは結局勝美夫玉博士の肩書に結婚されたと言つてゐますが」
だから奥さんも不眞面目だと言ひたいのです、とに角私は今度の問題は想像もつき…
もうこれだけ言へば好いで…
この問答完全に記者の敗つたことを告白する、…勝子さん（二三）は神明…卒業後直ちに滿鐵に入社…鐵道部のタイピストブー…務され、社員會評議員に…れた經驗もお持ちの方で…しつかりしたことが何處…窺はれる靜かな女性であ…

夫人に同情
遼東ホテルの　梶田さん語る
（眞は中原勝子さん）

兒玉勝美夫人と母校を同じくする後輩の梶田ますみさんを遼東ホテルにお訪ねしました。

此の度の事件の中心人物兒玉勝美夫人と母校を同じうする後輩としての感想をと云はれるのですか、じつと眼を閉ぢれば黒つぽい海老茶の袴をキチンと穿いたあの方の靜かに澄んだプロフイルが想ひ出されます、今度のことは結末がかうした悲劇に具體化されて表面に表れただけのことで、これに似た幾多の精神的悲劇のあることを思ふ時胸の痛む思ひがします、…

酒がさせる兇行
飮まれないやうに注意すべし
大連署司法庄司刑事談

來るべき大問題
女學生の眞劍な叫び

全部が夫人の責任です
大連彌生高女五年生……B……

今度の問題は直接私達に關係はないが將來直に來るべき大問題ですから、斯樣な問題に遭つた時の私達の立場から事實的にこれを批判してみませう
一、學者肌の兒玉博士は或る意味においては人間の不具者であり人情味に乏しい人であつたかも知れぬ、併し世の學者なる者が皆な斯樣な人だつたら學者の妻は必ずこの樣な事件を惹起する事になるが學者は學者としての
生命を何處までも持續して行ける樣に妻たる者が常に內助の心掛けを忘れてはいけないと思ふ
一、夫婦の趣味が餘りにもかけ離れてゐる
一、博士の行爲全部に對し勝美夫人が全責任を背負つても良いのではないか
一、青柳は男子として餘りにも弱過ぎる
一、博士が夫人と青柳の關係を知つた時何故訴へ出て正しく裁いて貰はなかつたか、博士は常識

…た私にその經驗があるとしても兒玉博士夫婦には夫婦としてだけの他人には解らない深刻な感情があつたでせうし、そうしたことは到底私には解る筈がないのですから
度が眞劍でなかつた點に總ての原因があると思ひます、奥さんは享樂的な方のやうですし、博士もそりや醫學者としては世界的權威者であつたでせうけれどそれだから

子供があれば（がなさ過ぎる）
大連技藝女學校生徒　尾崎道子

兒玉博士の事件に接しまして…達は深く深く家庭といふ物について考へさせられました。
一體家庭といふものはどこ…風にしたら平和な家庭になれるでせうか？兒玉博士の樣に研…沒頭し少しも家庭を顧みず…間のことも知らず、たゞ研…〳〵と一心になつて居る博士…庭――實に暖かみのない家庭…

餘りに力弱い
大連神明高女生徒　中西てる子

卓上日誌
▲けふの運動會　大連朝日小學校（八時三十分）春日小學校（八時三十分）南山麓小學校（九時）嶺前小學校（八時）下藤小學校（九時）聖德小學校（九時）
▲伏見臺兒童圖書館　二十八日から十月四日まで曝書のため休館

梅毒の有無を檢査なさい
【答】恐らく先天的のものと思ひますが良法はありません、梅毒の有無を檢査し有毒であれば驅梅法を行へば生えて來ます（…太郎）

家庭顧問
頭髪が少くて困つてゐます

製帽講習會　彌生會の試み

ラヂオ RADIO
大連 JQAK　十月一日
▲午前六時　ラヂオ體操第二…
東京 JOAK　十月一日

新棋戰（其一）
先　六段　石井秀吉
　　六段　石原勇吉

萩原七段解說
土居八段講評

第廿九回　滿日特選碁戰

滿日各地版

鞍山附近一帶で 雲母、鉛鑛發見
實業廳へ採掘權申請

【鞍山】發かれんとする遼陽縣下の大寶庫―鑛鑛を豐富に藏してゐる鞍山附近一帶には昔から鉛鑛や雲母、砂金等が又多量に藏されてゐると傳へられ從つてこの附近一帶湯崗子の溫泉に見る如き鑛泉が處々に湧出してゐるとも傳へられてゐたが、最近の調査により右は單なる傳說や噂にあらずして儼然たる事實なること漸次明白となり早くも各方面の事業家利權屋が飛び込んで豐庫開發の具體化を急ぎつゝあり、就中雲母採取に就ては當地某氏目下滿洲國實業廳へ採取權認可申請中であり近く認可を見る運びとなつて居り、一方大資本家三井の食指も大いに動き過日來詳細調査中であると傳へられてゐる程の優秀なるもので、又鉛鑛脈は製鋼所櫻桃園採鑛所員某氏が本月二十日頃實地踏査してその豐富なる鑛脈を發見製鋼所に於て原鑛分析の結果含有量六十%夾雜物少き富鑛なることまで判明して居り、而してこれ等雲母、鉛鑛脈は何れも當地東方乃至東南、東北方等數邦里なる遼陽縣下一帶に亘り豐富に散在せるもので早く舊政權時代より支那人間に傳へられ再三採取計畫を樹てられたが、該地方は滿洲でも有名な千山馬賊の横行地域として今まで手の下しやうがなかつたもので、現在に於ても尚匪賊の脅威は免れず假りに採取權を得るも直に作業を開始するわけにはゆかぬが、やがて匪賊平定ともなればこれ等の豐庫一齊に開かるべくかくなる曉昭和製鋼所に次いで鞍山一帶に於ける鑛山業の發展はまさに目覺しきものがあらうと

愈々無風帶か
安東の地委戰、蓋を開けたら定員に一名不足

【安東】地方委員選擧はいよ〳〵一日公會堂で執行されるが、一時亂戰を豫想されたに拘らず二十八日現在では

內地人は大津峻、瀨之口藤太郎、中島三代彥、金井佐次、山縣寅吉、伊藤勘三、藤平泰一、秋元民、中川憲義、橫畑幾久の十氏鮮人は金虎養氏一名、滿人側は孫玉寶、史買堂、馬占鰲の三氏都合十五名が立候補し定員十六名に對し一名の不足といふ無風帶を現出するに至つた、これは近藤松五郎、小島劍一氏等が立候補を取消したのと鮮滿人側で出馬の意思はあるも形勢を觀望してゐる者が可なりあるためであつて、いよ〳〵選擧間際になつてから乘出す者あるべく興味は選擧直前の突風的立候補にかゝつてゐるやうである

支那人の暴行
少女を山深く連れ行き

【旅順】二十七日午前十時過ぎ水師營西北街七一劉懷思の二女劉秋宏(一〇)は友達である附近の遼明禰了頭(一三)と共に水師營南方の山野を步行中通り懸つた三澗堡西窪子屯鐵工職董長顯(三〇)が「棗の木のある處を敎へてやらう……」と連れ山深く連れ行き人影なきを幸ひ同行の遼明禰(一三)を押へつけ逃走を防ぎ劉秋宏(一〇)を押倒し暴慾を遂げたのが發覺し二十八日劉の實父が告訴に及んだので吉田司法係は現場調査を行ひ取調べの上起訴した

奉天出廻大豆 豐作で續落

【奉天】奉天市場への新豆の出廻りは昨今一日平均四車位であるが本年は豐作のため今後大量の出廻りを豫想され、相場も續落、二十九日の出來値は支那桝一石九圓三十錢で、前日より四十錢下落し最初の出廻り相場に比べると約一圓五、六十錢方の暴落である、然し當市場への出廻り品は概ね品質不良で蟲豆が多いとのことである

討匪行戰死者の納骨式擧行

【安東】八、九兩月に亘る獨立守備第〇〇隊の三角地帶討匪戰の戰死者牛丸軍曹等十一氏の遺骨祀は安東納祠に祀られることゝなり廿八日午後三時半鎭江山納骨祀において嚴肅なる納骨式が執行された

…を終れば先づ神式にて修祓、獻饌祭詞奏上、次いで導師引導讀經に移り第六大隊長代理羽山少佐並に市民代表として時局委員長、森地方事務所長の弔辭あり、弔電披露の後神官玉串捧奠、導師燒香を終つて各機關代表の玉串拜禮燒香を終つて撤饌羽山少佐の挨拶があり參列者一同燒香、同二時四十分閉式となつた

四人組の匪賊逮捕

【鐵嶺】過般來鐵嶺守備隊の密偵なりと稱して縣下各地に出沒して良民を脅迫し不正を行ふ四人組の滿洲人あり、守備隊でも軍の威信に關する問題なので鋭意搜査中のところ二十八日歸順匪首董品三が城內に於いて犯人の潛伏せるを探知し滿洲國警察の協力によつて三名を逮捕し目下取調中なるが、首謀者たる萬某は元守備隊に雇はれてゐた者で巧に蹤跡を晦ましてゐるが、數日中に逮捕の見込みであると

鞍山に高女創設
愈よ明春開校に決定

【鞍山】豫て計畫中であつた當地の高等女學校開設問題はその後地方事務所當局の努力によりいよ〳〵具體的決定を見るに至り明春より開校の由傳へられてゐるが、最近仄聞せる處によれば滿鐵當局においても昭和製鋼所の設立に伴ふ大鞍山の將來に鑑みて斷然その必要を認め明九年度豫算を以つて直に校舍建築の工事に着手することゝし、既に地方事務所に於ては再三校舍敷地に關し地元及び本社當局と折衝したる結果最後案たりし淺間通に二分されてゐる北七條通敷島町の一角約一萬二千坪をその敷地に決定し目下本社において工事設計敎職員人選等の準備中の由であるが、差當り明春の開校に當つては目下竣工中の大宮小學校を假校舍とし一年生二學級を收容の豫定であると

公主嶺 電氣週間の催し

【公主嶺】大同電氣株式會社公主嶺支店では來月一日より五日まで電氣週間に當るので社屋を電飾し奉仕車十輛を運行赤襷の社員總出動需要家を戶別訪問し電氣袋を贈呈電燈の故障修理門燈の掃除等需要家にサービスをなし五日は電氣關係者を招待懇談會を開き斯業の進步發達を祝福禮讚すると共に六日は小學校に映畫の夕を無料公開しその他ポスター及びビラを撒布し大に電氣知識を大衆化し電氣の普及利用を宣傳唱導すと

錦州の犯罪者
罪の身に故鄕を想ふ

【錦州】北より南へ――幾萬とも數知れない渡り鳥が來る日も來る日も錦州の空を過ぎて行く、染み〴〵と母國が思ひ出されるこの頃薄暗い領事館警察署の留置場には五名の同胞が刑期を待ち、或ひは裁きの日を待ちながら日夜罪の責苦に喘いでゐる、罪名別にすると竊盜一名、同被疑一名、贓物故買二名で以上は未決、詐欺一名これは既決である、この詐欺漢は旅館に宿泊中酒と女のため所持金を蕩盡し宿泊料支拂に窮して踏み倒した如何にも新開地らしい犯罪者、當局は

以前阿片密輸者が相當多かつたが專賣局の取締が嚴重になつた爲め昨今尠くなつた、多いのは矢張り竊盜、詐欺、橫領だと語つてゐた、冷たい鐵格子に映る淸澄な空、そして渡り鳥の群、瞬く星、利鎌のやうな月を眺める時彼等は異鄕萬里の獄裡で良心に何を誓ひ何を呼びかけてゐるであらう

奉天の乘降客
激增をたどる
乘客五割降客七割增

【奉天】伸び行く大奉天を物語る奉天驛の乘降客を見るに八月乘客は十一萬六千九百八十八名で昨年同期の六萬八千百二十五名に比し四萬八千八百六十三名卽ち五割餘の增加であり降客は十二萬二千二百一名で昨年同期の七萬三千四百三十名に比して四萬八千七百七十一名卽ち七割餘の增加を示して居る、之は內地の滿蒙熱による見學視察の團體が押しかけて來た事にもよるが一般の活動が活潑化した現れである

鐵路總局、國線の對外宣傳に乘出
目下案內書を編纂中

【奉天】總局では國有鐵路の充實と共に沿線の治安も漸次確保されて行くので對外的宣傳をなす爲編纂する事となつて目下準備中であるがこれは各沿線の名所古蹟を寫眞に入れ懇切に說明を附したものである、目下寫眞を撮影中で本年內には完成を見る筈で來年三月迄には發行の見込である

輸送規定完備へ 邁進する鐵路總局
十一月初め頃發表豫定

【奉天】鐵路總局では舊政權時代には完全なる輸送規定がなく不統一の狀態で、其間從業員に不正事件がしば〳〵行はれ貨物輸送の運送が左右される有樣であつたが、斷然この弊風を一掃するに努めると共に輸送規程を作成し十一月初め頃發表の見込で來年早々よりこれを實施する意向である、同規定の重要なるものは從來輸送貨物の紛失損傷に對しては鐵道が責任を負つて居なかつたが、改正案では責ふ事になり全線統一の貨物引換證を發行する外貿易の伸展をはかるため代金引換輸送を行ひ荷主の希望により着驛の變更に應ずる筈であるが、其の爲には滿人從業員の訓練を要するので之が準備を進めつゝある

故河合上等兵の慰靈祭

【鞍山】匪賊長勝の討伐に當り名譽の戰死を遂げた鞍山守備隊故河合市松上等兵の慰靈祭は二十九日午後一時半から同隊伊藤大尉委員長となり秋風蕭々たる守備隊練兵場頭において執行された、正面故勇士の遺骨兩側には軍司令官、守備隊司令官、滿鐵總裁を初め在鞍諸有志より贈られたる供物、花環弔旗などところせまき迄に供へられ定刻神官僧侶並に羽山隊長以下戰友在鞍各機關代表、學生、在鄕軍人、靑年團員一般市民一同着席

錦州市場會社 滿鐵が出資計畫
近く創立總會を開催

【錦州】建設途上にある新興錦州では新鮮な魚菜の供給や物價の統制に關する何等の機關なき現狀に鑑み、卸並びに小賣の市場を設置すべく有志相計り資本金十萬圓、一株五十圓、四分の一拂込みの錦州市場株式會社を設立すべく計畫中既に滿鐵の諒解を得、總株數二千株中八百株は滿鐵、一千二百株は有志において引き受ける事とし場所も市中目抜の大馬路空地約二千坪と定め創立準備中であるが、滿鐵において右八百株を滿鐵の名義とするか夫れとも傍系會社たる奉天市場會社の名に於て引き受けるか根本方針がまだ決定しない爲め、その儘の形となつてゐる、滿鐵の方針さへ確立せば早速株主總會を開く段取となり、設立の曉は居留民の臺所經濟に多大の利便を齎すであらうが、なほ之れにより渤海の魚族は連山灣、西海口の兩港より期せずして錦州に蒐まり轉じては奉天方面にまで供給され大連方面の漁業者に一大脅威を與へるであらうと觀測する向もある

奉天の拳銃强盜團　奉天署の手に逮捕された附屬地內外を荒し廻つた拳銃强盜團の一味

地委逐鹿界
けふ各地一齊に投票

奉天　奉天地方委員の選擧はいよ〳〵十月一日に擧行されるが二十九日現在で定員二十名に對して立候補者二十二名で猛烈な競爭は見られないが、只候補者の心配する點は棄權で、本年は例年に比し有權者五千三百三十一名の中失權者は八百九十七名、卽ち一割六分餘で多いとはいへないが恐らく棄權者が多數に上るのではないかといふ事で、これがため自動車や人力車で有權者の狩出しを試みんとして居る運動員さへもある狀態である

瓦房店　餘す處二日に迫つた今日地方側では相談した樣に候補者に立つものが一人もない、全く有史以來の珍現象を現出した、地方側は一般に日和見の狀態で誰かゞ出る位な處で人任せ主義である然し全然色氣がない譯ではないが自發的には眞平だと鎖を横に振る途中計り、さりとて俺が一ッ力瘤を入れてやるから奮起せよと出馬を促すものも一人もない、斯くては瓦房店の市政に一大支障を來すのみか滿鐵に對しても申譯なしと見て取つた森田東區長は緊急市民大會を二十七日午後七時市民俱樂部に招集し日滿關係の重大事に鑑み最適任者を三名選出方希望を述べたるに滿場一致候補者を豫選する事に可決、卽時無記名投票したるに白土彌次郞、大津與作、松尾新造の三氏(同點)最高點で選ばれ常盤町內では白土、南部町內では大津與作、西巴では松尾新造の三氏が出馬する事になつたが白土氏は市民が勝手に當選さしたのだから俺が出る義務はないとポンと蹴つたので折角人物本位に嚴選したのも水の泡根本的に覆へされ南部町內も西區町內も共に步調を合して解消した、滿鐵側では機關區相澤庶務主任、驛山崎助役、保線區伊藤助役、病院丸目事務長各々轡を並べて出馬し一齊に火蓋を切つたが、內輪で石よりも堅い結束を固め、更に地方側地盤に手を伸ばし縣人會、町內會、校友會その他の團體勤務先取引關係に手を廻し緣故を辿り攻防必死の秘策を廻らし「淸き一票を頼みます」と驅を進めて陣頭に乘り出し拜み倒しにて爭奪の序幕戰に入り暖雲漸く動き始めてゐるが今の處病院事務長丸目保氏が最高點で當選する噂が高い森田東區長は語る

十月一日愈々選擧です日滿關係の重大に鑑み識見人格の優秀實力本意人物本意で實際に市の爲に働いて下さる人を選出し市政の進步を圖りたい、有權者は一切の情實を避け責任政治に目醒め立憲政治國を尊重し棄權者のない樣に心かけて貰ひたい

開原　開原地方委員選擧は各員自重靜觀主義を執つて居たが期迫るに隨つて出否の旗色鮮明し二十五日佐竹氏は市中有志を驛食堂に招じ委員たりし過去十二ヶ年間の指導と援助を感謝し次回は辭退すべく聲明し二十六日藤井、上野山、崔王の諸氏名乘をあげ驛長矢口氏亦出馬を諾し鮮人有力者一名の候補決定したと、開原八名の定員は全部出揃うた譯である、佐竹氏は多數有志數次の勸說を受けつゝあるも初志を飜へさず氏の不在中理想選擧を爲さん計畫ある聞きその推薦者に對し二十八日電報を以て固辭したと傳ふ

鐵嶺　選擧史上空前といはれる今年の地方委員選擧は想像以上の淋しさで定員八名に名乘りを擧げた候補僅かに五名、投票前から三名の缺員であるが、この三名には名乘りこそ擧げざれ現委員の下山、橋本、末廣三氏が當然推されるであらうと豫想されてゐるので漸く定員に達するといふ有樣である、滿鐵側候補の小平、小野、小森、平田氏等も最初は華々しく名乘りを擧げ猛烈な文書戰を開始したが市中側候補の鳴をひそめて動かぬ爲め張合拔けがして全くの無風狀態、今は誰が最高を獲得するかといふ點にのみ興味が注がれてゐるに過ぎない、投票前期の如き狀態なるを以て有權者にも熱がなく而も今日は日曜日であり棄權者も相當多數に上るであらうと觀られてゐる、而して選擧も愈々一日午前八時より演藝館において投票が開始せられ午後四時締切り午後五時頃から開票の豫定であるが、選擧立會人には大塚良治氏河村當次郞氏が委囑された

營口公會堂 建設協議

【營口】當地公會堂は曩に使用建物を軍部に返還以來各種の集會其他に甚だしき不便を感じ早急に建設の必要を痛感するも建設基金の支出に行惱みを生じて困難の態であつたが、今回或る事情があつて急に建設し得べき機運が生じたので二十八日午後一時より地方事務所に於て二十日會を開會した幸ひに午後二時半より二十日會出席員全部と廣範圍に渉つた市民有志の人々を小學校講堂に參集を求めて公會堂建設に關する打合せ會を開會した參集の人々は主催者二十日會員等四十名であつた、開會に先立ち大畑憲兵分隊長は軍部が曩に返還を受けた公會堂は現在憲兵分隊廳舍として使用しゐるが市民が公會堂なき爲め非常なる不便不自由を忍ばれ居るを見るに實に御氣の毒に存じ常々如何にすべきやと陰ながら種々心配したる所、今回ある事情の物を得たるにつきこれを古川地方委員議長に通じ今日これを說明し併せて目下の狀勢からして日滿人共用の公會堂を必要とするについて諸君が向後五ケ年の歲月を經たる時の事を思ひ及ぼし日滿合作の公會堂を建設せられん事を希望すとの意味を述べて退場、續いて參會者一同より古川地委議長を座長に擧げて協議に入つた、協議については相當意見を有する人もあつたが重大性を帶びた事を一二時間に決定する事は元より不可能であるに依つて參會中腹藏なく意見の交換を行ひ又は滿鐵の意圖等の開陳を要求して說明を聞き結局十名の詮衡委員を座長指名して午後四時半閉會した

生田流箏曲演奏會

【奉天】生田流箏曲演奏大會が奉天芙蓉會の主催で二十九日午後六時より春日小學校で開かれる

遼陽片々

◇兩親再教育協會主事杉本春喜氏の講演會は二日午後一時から社員俱樂部日本間で社會係の主催で開催演題は家庭教育の實際と云ふ會費無料多數の來聽を希望すと▲張臺子驛の北方四粁の線路上で二十八日七十三歲になる草刈老人が貨物車と輕油動車の行違ひ運行の間に挾まつて卽死したので警察署の新妻警部補が福地囑託醫を伴ひ實地檢證した▲地方委員選擧は一日午前八時から公會堂で執行選擧立會人は小林留吉西田爲次郞の兩氏であると▲輸入組合では豫て背後地旅商團の計畫中であつたが滿鐵會社の諒解も出來たので近日愈々實行すと▲廿九日執行された鞍山守備隊の慰靈祭に遼陽から本橋時局委員會幹事が參列した▲支局及び販賣店では讀者奉仕の爲め之迄夕刊と朝刊を二回に配達して居りましたが列車時間の改正で一日から配達を一回に致しますから御承知を願ひたい▲警察署保安係では管內の原動機檢査を實施した▲地委定員八名に立候補七名殘り一名の當選者に興味を持つ有權者が多い、結果は何れ蓋を開けば判明する譯

旅順放送

▲旣報十月一日午後五時から昭和園において擧行される電氣デーの餘興には錦晴會々長松木錦良氏總指揮大連より福永、福森兩大勾當、幸大勾當その他の總出演でその番組は花ちる里、黑髮、六段まゝの川、春の曲、茶音頭、娘道成寺、千鳥、秋の言の葉、風まちと決定した

▲滿洲博覽會に出品した旅順商工者中近かく表彰される者は左の如く決定された

二等絹織及生糸　旅順　糸廠
三等滿洲の華　加藤東金堂
三等殺虫劑　石井　榮一
三等日本刺繡　鹿井　モミ
褒狀ストーフ　野間鐵工所
褒狀煉瓦　小林　治作

▲京都市內各小學校長並に訓導見學團一行二十名は市川準一視學引率の上來る十月二十二日來旅する由

▲吉野町六辛島文一氏方では二十一日二男健君が出生

▲赤羽町六臼井健三氏方では二十三日六男六郞君が同上

▲赤羽町六渡邊義弘(四〇)二十七日赤痢と診斷

▲千歲町二六河野詑郞(八〇)同上

▲朝日町二ノ一二中山イネ(二九)同上

▲越家溝三浦八郞(一八)同上

▲山頭村緒方さみ子(三〇)同上

選手を出迎へぬとて 二十數名を毆る
奉天中學五年生の下級生毆打事件
學校當局の責任回避に 關係父兄極度に憤慨

【奉天】去る二十八日鞍山で擧行された滿鐵中等學校射擊大會に參加した奉天中學校の選手は二等を贏ち得て同夕方歸奉、各級の生徒を以て組織する應援團一同は驛まで出迎へ賑々しく歸校したが歸校後應援團五年生十數名は驛まで出迎へず舊グラウンドに開催中の有田サーカスを見物中の四年生以下二十數名を會場から呼び出しグラウンドの一角の薄闇につれこみ有無を云はせず之等下級生を袋叩きにした事件は學校當局でも容易ならずとして圓滿解決に努力し、一方被害者の父兄側でも二十九日朝中學校に名和校長を訪問した處校長は「それはお氣の毒であるがこの事件は學校外の事だから」と暗に學校內ならとも角學校外は知らない意味の回答をしたといふので憤慨し重大問題として父兄會を開催して父兄側の對策を講ずることになつてゐるが、この事件の內容はかうだ

抑々の原因 は鞍山で開かれた中等學校の射擊大會に參加せる奉中選手を奉天驛に出迎へに行かなかつたといふに始まり舊グラウンドに開催中の有田サーカス見物が許され二十七日に各生徒ともその入場券を貰つてゐた、二十八日は射擊大會が開催され夕方歸奉することゝなつてゐたので、その際はなるべく驛に出迎へに行くやうになつてゐた同夕方となつて出迎へに行かなくてもよいといふことを知つて四年生以下二十數名は二十八日夜サーカス見物に赴いたのである、同夜八時頃となつて

突然 五年生十數名が來りサーカス見物中の中學生一同を會場外に呼び出した、上級生の命令には絕對服從することゝなつてゐる、二十餘名も云はれるまゝに外に出た處グラウンドの一角の薄暗がりの處へつれ來り一言も云はせず力まかせに袋たゝきにしたのである、その理由は驛まで出迎へに行かなかつたといふのである

被害者側の父兄は語る

「實にひどいことをしてゐます、その毆つた五年生中には成績のよいものもゐたといふことで成績のよいものがこんなことをする位ですから他のものも推して知るべしでかうした學校に我子を入學せしめてゐるのは誠に不安で堪りません、私の子供も頬を無茶苦茶に毆られ四ケ所も大きなこぶを出し一時は痛さにたへられず苦しんでゐるのを見て可哀さうでなりませんでした、外の毆られた生徒は後難を恐れて何にも云はないやうですが私の處は何もかも云つてしまひます、二十九日校長にお目にかゝつて話をしましたがそれは

學校外 のことだからと暗に君の方で解決せよといふ無責任の回答でありました、奉中の前途を思へばこそどうしてこのまゝにして置かれません、父兄會を開いて對策を講じ事によつたら診斷書を奉天署に提出してお願ひするやうにするかも知れません」

又學校當局では語る

「この事件が學校外だから知らないと云ふやうなことは決して云つてゐない、上級生が下級生を毆つたのは惡いことだが、被害者は只一人休んでゐるのみで他のものは何事もなく出席してゐる、下級生を毆つたものに對しては學校としても相當處置をとるつもりでゐるが父兄側で傳へてゐるやうなことは絕對にない」

熱河代表等 本社支社訪問

【奉天電話】關東州內の文化施設と首都新京の實狀及奉天、撫順、鞍山其の他各地の工業狀況を見學せしめるために第〇團部の笛井恒大尉が班長となり熱河及奉天省の綏中興城等での有力者を集めた警察隊長、自衛團長、教員、學生、村長の一行三十六名が二十八日滿日支社を訪問した一行はいづれも元氣「歸りましたら大に村民に日本の滿洲國にたいする援助を話し教へてやるつもりです、これからは愈々日滿兩國は眞の兄弟として手を握り合つて行かねばならぬと覺悟しました、それもやがて東洋の平和を確立することです」と語つてゐた（寫眞は支社前における記念撮影）

日滿融和の結婚 一度破れて返咲く
可愛の日本の妻よ、何處

【奉天】日滿融和の結婚に破れて再び咲き返る喜びの邦人婦人——市內琴平町五番地元飲食店都庵に女中として働いてゐた城戸すな子（二）はその以前滿洲國官吏趙寶田（三八）と戀仲となり日滿融和に魁して兩人共結婚しその間には本年三歳になる男子まで惠まれたが趙は滿洲國の官吏と云つても收入が少なく同人の俸給だけではどうしても一家を支へて行かれる樣な見込みがないのですな子は夫に對し「あなたも一生懸命勤めて下さい、その代り私も懸命に働きますから」と申立てた、二人の兩眼には淚さへ浮んでゐたが、その間にはいふにいはれぬ堅い愛によつて結びつけられた夫婦で喜びも苦勞も共々にと水入らずの生活を續けて來た、そしてすな子は前記飲食店で女中として夜遲くまで働いて居たかうした一家も漸く溫かい平和に惠まれて來たもの、每夜の如く遲くまですな子が自分以上に働いて居るのを見てこれ程苦勞させるにしのびないと趙はすな子の將來を思つて一旦離別した最近となつてその趙も昇進し俸給も增したのでこれなら大丈夫と考へすな子の許を訪れたが同所にはそれらしいものが居ないので目下各方面に手配し搜査中であるがこれを聞けばすな子も定めし喜ぶであらうと關係者では力を入れて搜査してゐる

匪賊賢しうして「牛賣りそこなふ」
副頭目始め六名見ん事逮捕
十八頭を盜んで彈藥衣服に代へんとして

【奉天】奉天省瀋原縣に蟠居中の匪首古文珍は部下五六十名を有し各地を荒し廻つて居るが、去る十六日瀋原縣小蘇子營河に副頭目以下六名が牛十八頭を掠奪して之を瀋海線で貨車積にして奉天に輸送し來り瀋陽縣後三家子村陳守番（六五）の手を經て賣却し此の代金を以つて冬の衣服並に彈藥の購入をなしつゝあるを兵工廠憲兵分隊で探知し一味を檢擧一應取調べの上瀋陽警察廳に引渡したが犯人は山東省生れ瀋原縣河南村副頭目王前燈（三七）同陳德順（五九）王運田（五二）楊世禧（三二）陳守番（六五）五名である

奉天孔子廟の盛んな祭典

【奉天電話】滿洲國政府は王道精神をもつて建國の立前とする處から大聖人孔子を滿洲の祭神として崇し國民信仰の中心とする事になり仲秋節の二十八日午前四時半から大南門裡の孔子廟において牛、羊、豚を神前に供へ臧式毅省長が祭司となり各廳長、各科長その他文武官を引具して古式に則り奏樂舞樂のうちに莊嚴な祭典を行つたが祭司の參拜後參列者の禮拜あり式を終了した、なほ市政公署、市商會ではこの日を記念し一般市民を集めて孔子の道にたいする大講演會を開催し各官公署はこの日いづれも休暇し孔子廟に隨意參拜し大同二年の仲秋節を壽ぎ祝つた、二十九日は武の神である關帝廟の祭典が執行された

製材大不足 樺太材を移入
安東では未曾有の現象

【安東】安東の製材界は滿洲各地における軍、民兩方面の大需要に依り未曾有の活況を呈したが、肝腎の原木が上流林區の治安關係で出廻り遲れ、六、七兩月の流筏高は極めて僅少で八月下旬以來相當の着筏を見てゐるが、到底需要に足りないので一部製材業者は今春來鴨綠江材の不足を見越して樺太材の輸入を計畫してゐたが、秋田商會及び鴨綠江製紙では樺太材五萬噸輸入を決定、來月上旬安東着の豫定である、木材都市を誇る安東が他地から木材を輸入することは未曾有のことゝされてゐる

奇特な邦人婦人 冬物を一山寄附
憐れな人に惠んでくれと

【奉天】二十九日午前十一時半頃奉天署保安室に三十五歳位の邦人婦人が多數の衣類を包んだフロシキ包を持參し之を寒さで困つてゐる人にやつて下さいと云つたまゝ係官が其の名前を聞く暇もなく立ち去つた、そのフロシキ包の中にはタンゼン、メリヤスシヤツ、單衣、袷等三十餘點這入つて居たが人情紙より薄い世の中にかうした婦人の奇特な寄贈に係官も感謝して居た

—二十九日擧行された關東軍兵器廠竣工式—

軍事救護資金募集 演奏會
十月六日旅順昭和園で 愛國婦人會支部の試み

【旅順】十月六日旅順昭和園において開催される愛國婦人會旅順支部主催、關東廳、關東軍司令部、滿鐵後援の陸海軍傷病兵慰藉なる軍事救護資金募集を目的とする尺八とセロの大家鈴木藤枝女史の演奏會は、愈々當夜午後七時から開演と決定され入場料は大人五十錢、子供三十錢、陸海軍人三十錢、愛婦會員三十錢、曲目は左の如し

▲第一部 二上り獅子（總員）尺八新曲（イ）紅そうび（ロ）セキレイ（琴寺田敏子、尺八鈴木藤枝）セロ獨奏（イ）トロイメライ（ロ）ジョスランの子守唄（セロ鈴木藤枝ピアノ岩田達雄）尺八洋曲マドリガル（尺八鈴木、ピアノ岩田）獨唱セレナーデ（ソプラノ鈴木、ピアノ岩田）尺八古典曲深山獅子（琴寺田敏子、三絃吉村のり子、尺八鈴木藤枝）

▲第二部 筑前琵琶扇の的（鈴木藤枝）尺八洋曲ユモレスク（鈴木、岩田）ギター獨奏スペニッシユ・ファンタンゴ（鈴木藤枝）茶音頭（琴寺田敏子、三絃吉村のり子、尺八鈴木藤枝）セロ獨奏（イ）白鳥（ロ）セレナーデ（セロ鈴木藤枝、ピアノ岩田達雄）正調追分唄（鈴木藤枝）千鳥（總員）

因に女史は日本女子大學出身後セロ研究の爲め渡歐、全歐洲を五年間尺八行脚に成功したヴイオロンセリストとして著名である（寫眞は鈴木女史）

奉天に造られた 善隣女子技術學院
十月一日より開校

【奉天】今回大西關月窓胡同路東に關啓秀氏を名譽校長とする善隣女子技術學院が開設され十月一日午前十時半より左記順序で盛大な開校式を擧行することになつたが同院は生徒百名を擁し設立後半歳を經過してゐるが當時は萬事不備であつたので今度漸く擧式の運びとなつたものである

▲開會、國歌、挨拶（主事）經過報告、會計報告、祝詞、謝詞閉會、▲正午より二時までバザー▲午後二時より餘興（日本舞踊・園兒の歌）

平安北道の初雪

【新義州】平安北道厚昌郡東興（奉天省長白縣對岸）に二十七日午前零時初雪が降り一面の銀世界を現出した、昨年の初雪は十月四日で今年は一週間早いと

鮮人學校への寄附金 雇人が拐帶逃走

【安東】安東朝鮮人會經營の私立普通學校、新興學校に對し岡本領事の斡旋で日本側資產家數氏が多額の寄附を爲し目下校舍を新築中であるが、二十五日校長金虎贊氏が朝鮮人會雇人李英俊（三一）に右寄附金の一部一千六百圓を領事館より受領せしめたところ、李は之を拐帶逃走し各方面に手配搜査中であるが未だに手懸りがない、折角日本人有志の義金で新校舍建築內容充實を期待してゐる新興學校に取つては意外な大打擊で關係者は非常に憂慮してゐる

鐵嶺附屬地の道路改修

【鐵嶺】附屬地北五條通りは青柳街まで鋪石道路となつてをり以東も全部鋪裝する計畫であつたが滿鐵の豫算關係に禍されて工事中止となり青柳街以東の居住民は何れも砂塵と烈風に惱まされ屢々鋪裝道路完成の歎願を提出したが未だ達せられず遺憾とされてゐたところ、今回龍首山の自動車道路開拓に刺戟されて五條通兩側には家屋商店櫛比し將來商店中心街となる形勢を備へたので愈々五條通改修の必要急迫し山田地方事務所長もこの實狀を觀て滿鐵本社に對し道路改修の急務なるを力說遂に滿鐵を動かし二十九日附を以て道路改修費一千八百圓を交附する旨通知に接した、これによつて五條通居住民は多年の苦惱から救はれ龍首山自動車道路は一層完全なものとなるので鐵嶺全市民は非常に感謝してゐる、因に改修工事は急速に着手される模樣である

各地片々

◇奉天 奉天附屬地內外を荒し廻つた大膽極まる强盜團逮捕に對し、立川署長は司法係一同に金一封を送りその功を表彰した

◇奉天 奉天警察署では軍事功勞者及團體を表彰するため目下各方面の調查中である

◇奉天 二十六日午後六時頃京圖線、延吉驛で五六名の匪賊らしい擧動不審者を認めた轉轍手陳樹林は之を誰何すると矢庭に發砲腰部に銃創を負はせ南方の叢地に逃走した

◇公主嶺 公主嶺驛主催鐵道現業員を主體とさせる修養團の講習會は當地修養團支部後援二十七日午後一時より二十九日午後八時まで滿鐵社員俱樂部に於て短期講習會を開催したところ大多數の參加者に好成績をあげた

◇鐵嶺 鐵嶺小學校では滿鐵列車時刻の改正と始業時間變更期につき從來午前八時二十五分始業となつてゐたのを今一日から八時五十分始業に變更實施する

◇鐵嶺 鐵嶺篤志婦人分會員七十餘名は來る五日午前十時より龍首山に於て大懇親會を催すと

◇鐵嶺 鐵嶺青年訓練所は來る七日午後一時より練兵場に於て秋季查閱を實施するにつき後援者多數の參觀を希望すると

◇營口 商業會議所にては第十七回滿洲商議聯合會に對する營口の提出議案につき三十日午後七時より所內會議室に役員參集審議した

◇營口 奉天省立營口水產高級中學校在學生並に卒業者の一團が昨七年十月一日校友會を設置してより來る十月一日は滿一ケ年に相當するため一周年記念として一日二日に涉り同校禮拜堂に於て生徒主演の演劇を開催し教師並に同校關係者を招待する事とし夫々案內狀を發送した

◇普蘭店 中澤警部補沙河口署へ榮轉、普蘭店警察署司法主任中澤警部補は昨年二月着任以來三十餘件に及ぶ强盜事件を片端より檢擧して餘す處なき敏腕家であるが一面溫厚篤實署內外の氣受けよく離普を惜まれつゝあつたが二十七日附にて突然沙河口署へ榮轉と決定十月一日午前十時三十分の上り列車にて赴任の由であるので當地官民有志多數は二十九日午後六時半より警察署講堂にて送別の宴を催し氏の行を盛にする處あつた、因に司法の後任には三十里堡勤務の植田警部補が坐るものと見られて居る、そして三十里堡は現下の情勢より推して當分缺員になる模樣である

◇金州 金州南京書院長兼金州公學堂長山口二郎氏は今回滿洲國文敎部へ轉職する事となり近く發表される筈である、又旅順高等法院覆審部次席判官行山義光氏も滿洲國へ就職ハルビン勤務となる

一ツの藥で三作用！

1. 眼病を治し
2. 目を美しくし
3. 紫外線の害を防ぐ

好評嘖々の人造鼈甲ケース付 特製「大學眼藥」 一瓶入三十錢

（中の瓶がカラになつたら、少し小形ですが二十錢の瓶を代りに入れゝば、便利なケースが永く使へます）

明眸市川春代孃（日活）は、さすがに特製「大學眼藥」の愛用者です。
強烈なライトの紫外線を防ぐ爲め撮影所では斷然特製「大學眼藥」が愛用されてゐます

目藥を使ふ方は

▼先づ、眼病を治したい、目の痛みを止めたい、といふ御希望だけでお使ひになるのが大多數ですが……目藥御使用の結果が單に眼病が治るのみならず目が美しくなり、目を害する紫外線が防止されて目が保護されるといふ事になれば全く望外の喜びを味はゝれる譯です

▼さればこそ、この三作用ある特製『大學眼藥』を一度お使ひになつた方は、誰方でも『ナル程、目藥は大學に限る』と申されます

▼おまけに、一瓶毎に、洗眼專門の『大學洗眼藥』が添へてあつて、これで快く目を洗つてから特製『大學眼藥』を點せば、治療がより早く完全に行届くのですから、『これこそ理想的眼科藥である』との信認は廣く海外までも行渡つて居ります

專賣特許

（我社研究部發明 ウルビオレギン應用）

醫學博士 河本重次郎氏
醫學博士 小玉龍藏氏
醫學博士 吉田義治氏
醫學博士 山中崔之氏
醫學博士 豐田正遷氏
推奬

特製 大學眼藥

特製『大學眼藥』の魅力は

藥効が特に優れて良いといふばかりでなく、自働點眼容器といひ、スマートな鼈甲ケースといひ、東洋唯一のサニテープ完全包裝（大學洗眼藥に使用）といひ、何れも、便利・衛生・快適の點に於て他に比肩するもの無き高級品のみを揃へてゐる所にあります
さてこそ、在來の目藥の領域を脱して、紳士のポケットにも、淑女のハンドバッグにもふさはしい、最もモダンな『保健明眸劑』として近代人の絶大なる支持を受けてゐるのであります

藥價低廉

一瓶毎に「大學洗眼藥」添付

人造鼈甲ケース付
一瓶入 三十錢
二瓶入（ケースは一個） 五十錢
補充用特大瓶付（同） 一圓

ケースなし
小瓶 二十錢
大瓶 三十錢
徳用 五十錢
（小兒用） 二十錢

——◉全國各藥店及び百貨店藥品部にあり——

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社

適應症

○トラホーム ○結膜炎 ○角膜炎 ○はやり目 ○のぼせ目
○光線による眼炎 ○血目 ○疲れ目 ○たゞれ目 ○かすみ目
○ころ〳〵する目 ○凝り目 ○打ち目 ○突き目 ○ほし目
○なみだ目 ○はれ目 ○麥粒腫 ○くもり目 ○やに目

痛まず、シマズ 心地よくキク

中薗(單獨)と夫人(共謀)の供述に俄然喰ひ違ひ

博士の陳述とも漸次隔たり 高野署に當分留置

【大阪特電三十日發】捕はれの第一夜を高野警察署に送つた博士邸殺人事件の主犯中薗秀雄と自ら共犯と名乗る勝美の取調べは和歌山縣警察部山田刑事課長、板谷高野署長等の手で二十九日午後九時四十分勝美を署樓上に引致してから俄然緊張した、中薗に對する訊問は三十日午前十時一先づ打切り、勝美の訊問は、アダリンの中毒症狀が全く消え失せ豫想外に元氣で十數日の逃避行に意識は半ば惑亂の狀態になつてゐる中薗に比してはるかに頭腦明晰なので、三十日朝七時まで續けられたが、その間二人の供述は漸く齟齬を來し中薗の供述は既報の勝美の手記の内容とも書間の自己の供述とも次第に喰ひ違ひの溝を深めてきた、この喰ひ違ひの焦點は中薗は單獨犯行を主張して常に勝美を有利な立場に置かんとし勝美は共謀を主張してあくまで彼にゆがんだ心中立てを押通さんとする點、中薗が最初否認してゐた勝美との關係を漸く肯定するやうな言葉を述べたが勝美は頑として汚れざる戀の道行きと突張り、さうした汚れた魂を包む身體で靈場に死場所を選ぶやうな不所存は致しませんといつてゐる外、二人の陳述と大連の兒玉博士の言との間にも幾多の辻褄の合はぬ點がある、その間午前八時過ぎ勝美の親戚京都市松原御幸町丸山義男氏は同署を訪れ勝美に武術道場で對面して慰めの言葉を殘して下山したなほ二人の身柄は三十日和歌山へ護送の筈であつたが　この供述齟齬の點その他があるので、大連側の身柄受取りの一行が到着するまで高野署に留置することにほゞ決まつた

夫人の遺書到着

檢察局あての遺書と一緒にきのふ知人の宅へ

問題となつてゐた勝美夫人が大連檢察局に宛てた遺書の行方につい……親展」と、鉛筆で宛名をしたゝめた角大白封筒に三錢切手二枚を貼……さ、鉛筆で宛名をしたゝめ……白封筒に三錢切手二枚を貼……には……に鉛筆でしたゝめ……夫人宛遺書と、薄……色の……封筒に同じく鉛筆で「大連地方檢事局檢事御中秘親展」と……三錢切手を貼り、全然發信……を秘した問題の夫人の遺書一通とが收められてゐた、……局宛遺書は沙河口署より、……まゝ高井檢察官の手に廻送……の筈である、なほ上野夫人宛……にしたゝめられた遺書の内……の如し

なおれがひは出來ぬ筈です事件明瞭にさせるために書きました、同封の手紙汚らしいでせうがまげて表記にお送下さいませ、こちらからではさうてい駄目（身の處置のつかぬ内に）と思ひますので長い間親身も及ばぬ交際身に覺えました、厚くお禮申上げます、ごぞう幾久しく御家お祈ります（原文のまゝ）

では心いそぎます故これで失禮します、御機嫌宜敷く
……完全に間違ひました、然しうらみは果しました、喜こんで行きます……
もしよかつたら御開封下さつても結構です、必ず御送り下さるやう伏して願ひ上げます
（寫眞は到着した遺書）

なほ裏面には宛名も住所も記さず隱密的に

疑惑視さる山田辯護士　大内氏は語る

その行動を疑惑視されてゐる山田辯護士は昨春四月ごろ大内辯護士への有力な紹介狀を携へて來連、奉天、新京方面へも職を求めたがおもはしくなかつたので昨年八月大内法律事務所で月給を得つゝ法律事務に從事した、然るにその事件取扱振りは大内氏の意に滿たぬ點が多々あつたので獨立開業することになり、その後一應内地に赴いたが本年一月より榮町の現事務所で開業し來つたものである、右について大内辯護士は語る

山田君は自分の恩人の紹介狀を持つて來たので及ばずながら御世話した、然しその仕事つぶりは自分が贊同し難いやうなことがあり、しつくり行かなかつたのは事實だ、自分が兒玉博士の辯護を引受けるといふのか、直接聞いたのではないが金井章次氏が自分に賴んだらといつてゐたといふことを耳にした、或はさうなるかも知れぬ（寫眞は山田辯護士）

冷い家庭生活

勝美さんが屢々訴へた事柄 上野園生夫人の話

遺書が發送されて來た上野園生夫人は五年前大連に友の會が設けられた當時から勝美夫人と知り合つたもので勝美夫人は今日まで親身の姉のやうに眤んでゐた、勝美夫人が十三日うすりい丸で出發した場合も眞頭に送つてゐたほどで二年前より園生夫人は勝美夫人より生活に就いて訴へられ、また博士は園生夫人の忠告に對して、今の研究が後十年經てば完成するから我慢してくれと答へてゐた、また勝美夫人の訴ふるところによれば過度な研究の結果殆ど生理的不能力者に近い程で最近數年來夫婦生活は殆どなかつたといふことである、右に就いて園生夫人は語る

屢々 博士との冷たい家庭

勝美夫人とは友の會以來五年程からのお交際で前は始終私の宅にもお出でになりましたが一昨年の秋ごろから私の宅が遠くなつた關係かあまりお見えになりませんでした、博士夫妻にお子さんもありませんし私も妹か娘のやうに思つて夫人におつき合ひしてゐましたが、二年前頃から勝美夫人は屢々博士との家庭生活の

冷さ を訴へられたのです、

こんなことをいふのは何ですが始終顯微鏡を覗いて眼を使はれる博士は殆ど夫婦の生活もなさらなかつたやうにいつてをられました博士にほかに女があるといふやうな話が傳へられてゐますが夫人はその當時からそれは否定してゐられました、私どもは兎に角かうした不幸をなくするには博士の家庭生活を溫かくするに限ると思ひまして色々申

博士の實兄ら大連に向ふ

きのふ神戸を出發

【大阪特電三十日發】兒玉博士の實兄兒玉眞造、從弟兒玉彥衞の兩氏は三十日正午神戸出帆のうすりい丸で大連に向つた、二等三號室に川口二三、山本純正と僞名し人眼を避けて居たが語る

こんな大事件を惹起して世間に申譯がないので兒玉家として取敢ず大連で研究所その他關係方面にお詫びのため兩人で行くことにしました、高野山で發見された二人のことも誠(兒玉博士)に面會されたら話してやる考へです、誠の立場も大連に行けばはつきりわかるだらうと思ひますが何しろ可哀想な弟です

上げてみましたが博士は當時から「もう十年經てば今の研究が成功するからそして農學博士の學位をとるのだから待つてくれ」といつてをられました、その後一昨年秋頃からピアノ教師の御幡さんとは益々親しくなつて御幡さんは博士邸に

泊り 込んだりして勝美夫人

を遊びに連れ歩いてゐたやうです私共も御幡さんとは餘り深入りなさらないやうに幾度か御忠告申し上げました私どもは前から博士夫妻に早くお子さんがお出來になればよいと思つてゐましたところ本年二月末勝美夫人からこの頃身體に變調があるといはれそれはきつとお芽出たよと喜んでゐたのです、その後暫くお會ひせず本年六月常盤橋で偶然會つた時勝美夫人のお腹の大きいのを知つたのでお芽出たうと申上げたところ夫人は否定なさいました、十三日親戚に不幸があるといつて夫人は内地にお立ちになりました時

私も 送つてゆきましたがその

時中薗といふ人らしい男が船の中を歩いてゐるのを見ました、さういへば夫人が大連醫院に入院してゐらつしやる時病院で二、三度その人に會ひましたが紹介していたゞきませんから知りませんでした、然し勝美夫人は私どもから見れば眞面目な純情の方で今度この事件が解決して夫人の寄りつくところもなければお世話申し上げやうと主人とも話し合つてゐた程です

安東所長の手紙

援助を乞ふ 草間茂博士にあて

【東京特電三十日發】滿鐵衞生研究所長安東博士は學硏の盟友兒玉博士のために事件發生以來涙ぐましい活動を續け友情の美しさを見せてゐるが兒玉博士がかうした事件の渦中に卷込まれた詳細につき東京北里研究所の草間茂博士宛去る二十四日附で大要次の如き書信を寄せてゐる、一讀安東博士のあふれる友愛には感激させるものがある、同書信の内容は次の如くである

突然の兇報にてさぞ驚かれしこと存候が小生等も突然に兒玉君より事件の一部を聞いて驚愕せるも複雑なる事情の伏在を豫想せるため一途に先生の御援助をお願ひする次第に候、本日は實はまだその運びにいたらず申告致候間（先日同君警察に出頭、すべてを申告致候間）ここに改めて事件の内容を簡單に御報告可申上候

——本月五日兒玉夫人の不行跡が元にて自宅にて同氏の面前にて殺人事件あり、加害者の恫喝により死體の處置をなし（加被害者はともに夫人の情夫にて兒玉君は全く知らず）さらに加害者の恫喝のもとに該事件を最近に至るまで（約二週間）秘してゐたり——これ當人の供述に候、これ以上詳しくは申上げかね候も時日を經過せる點において種々嫌疑を受くるおそれ有之候、すでに司直の手に渡り候間事件は間もなく明快となるべく存候も御來連御援助賜らば當人の幸福これにすぎずと存候　敬具

九月二十四日

安東生

"爵"を寄贈

けふの全滿射擊會へ 菱刈關東長官から

けふ一日擧行される第七回全滿洲射擊大會の團體一般の優勝者に菱刈關東長官より世界各國何れの國にも出された事のない優勝爵を寄贈與される事になつた

爵は今より三千數百年前支那夏殷、周時代の酒器に屬するもので盛酒（トツクリ）飲器で所謂盃の名である、この外にも種々の酒器はたくさんあつたのだがその内この爵は最も著名なものである、古傳によると雀と同事で雀の形も取つたもので考古學上より見ると角の盃から導きかけたものでこれに三脚がついたものである、夏殷の時代は宗廟に祀る所の禮樂の器となつてをり重器とされてゐたもので周時代は諸大名が天子に謁見した時の大名に奉ぜられた證據となつてゐたものだ、古い文献によると角或は木によつて作られてをり、今日我國に於て使用されてゐる公、侯、伯、子、男の爵位も周時代によつたものである、大きさは中味約一升と規定されてあり二升、三升のものもある、その當時の一升は一合が價物とされてゐる、つまり現在ではその當時の一升は一合に當るものである事が發見された、かくの如く周の武王殷に勝ちて康叔を衞に封ずるや鐘を分ち魯の桓公は大鼎を大廟に納めた欽公には爵位を與へてゐる（寫眞は爵）

本社主催並に後援 けふのスポーツ

第七回全滿洲射擊大會　午前八時から春日池射場で

第四回大連實業對大連滿鐵ヴエタラン硬球庭球戰　午前九時彌生町三井物產コート

西部大連第二回軟球庭球大會　午前九時霞町倶樂部コート

第一回大連實業對大連滿鐵軟式野球第一回戰　午後三時滿倶球場で

けふの小學校運動會

十月一日大連市各小學校の運動會

日英對抗戰中止　けふ午後二時より大連運動場で擧行の筈であつた大連倶樂部對英國軍艦のラグビー試合は都合により中止となつた

佛國軍艦入港　佛國軍艦アルゴール（一四五〇噸）は三十日大連入港ブイ三に繫留した

臨時競馬 第四日目成績

颱風圈內 (108)

畑耕一作　山田喜作畫

反逆者（十二）

「むゝつ！糞つ！」
「うつ！つゝつ！野、野郎つ！」
ドン！ドン！――ピストルは撃ちかはされた。が、一つは壁を、一つは窓硝子を碎いたに過ぎなかつた。
銀次も小宮も、胸を押へながら双方へ轉がつた。
「乙……乙彦さん……織……江さん。け、け、怪我は……怪我はないですか……危い！は、は、早く……」
「斯、斯、斯波！銀次を……銀次を！」
互に聲をしぼつた。
ドアを蹴開けて、疾風の如く飛び込んで來た人物。今、小宮のピストルを拾ひあげやうとする斯波の脇腹へ、ものをも言はぬ拳のひと突き。「うゝむ！」――意氣地なく、彼は床にのけ反つた。
「銀次！僕だつ！しつかりしろ！」
晨也だつた！
「おゝ、あなた！」
「兄さん！」
織江と乙彦は左右から――
「ドアに鍵を！」
晨也は銀次を抱へ起しながら言つた。
乙彦は急いで内部から鍵をかけた。
これだけの物音に、アパートの人々が眼をさまさぬ譯はなかつた。廊下には、あわたゞしい足音が聞えはじめた。
「しつかりしろ。銀次！僕だ。天岸だ！」
晨也はその耳に口をあてた。
「むゝつ……むゝつ……」
銀次は喘いだ。
――醫師を呼んでも、もう無益であることは、そのうつろな瞳の色で知れてゐた。だから、晨也は誰をも遮蔽して、彼に最後の感謝と慰藉の言葉をいはうとしたのだつた。
「うゝつ……うゝつ……」
「銀次！銀次！」
「わかつたか？天岸だ。かうしてなに事もなく戻つて來たのだぞ。部下の者達も僕の眞實を認めてくれた。と、同時に、彼等自身の眞實にも目覺めてくれた。彼等も僕と共に、今までの生活の一切を清算することを誓つた。喜んでくれ。彼等はどこまでも僕のいゝ部下だつたのだ。それを知らせるために、そして明日の朝は一同揃つて、これまでの罪に對する社會的な制裁を受けるために、自首する手筈がきまつたのだ。その時、最も信頼してゐる部下の戸山が、僕に濟まないことをしたと懺悔した。それは小宮が、いつしか彼と接近して、僕を自滅させやうと計つた企らみだつた。小宮が、今夜このアパートに織江さんをよこした事實を知り、また乙彦にも危害を加へ、飽くまで僕に道ならぬ復讐を遂げやうとした企らみも、戸山の言葉によつてわかつた。僕は驚いて、あらゆる手段をつくして一分も早くこゝへ駈けつけやうとしたのだ。――が、殘念だつた。一足遅れてしまつた！お前をこんなことにしてしまつた！」
「……いゝ……僕、これで……これでいゝ……首領さへ……天、天岸さんさへ……」
銀次は苦しさの中にも、微笑しやうとした。
「銀次さん！」
織江は呼んだ。
「むゝ……むゝ……乙……乙彦さんも……」
「僕は無事です。それではあなたがよそながら僕等兄妹を守つてゐてくだすつたのですね？知りませんでした。難有う！」
乙彦も跪いて顔を寄せた。

昭和九年 年賀用滿洲繪葉書圖案募集

一、趣旨
昭和九年の劈頭を飾るべき「年賀用滿洲繪葉書」圖案を左規規定に從つて公募致します

二、投稿規定
イ、滿洲の地方色を表はすもの、滿洲に於て在來より吉絆を意味するもの、干支に因みたるもの、若くは滿洲紹介をも兼ねるに適する年賀繪葉書たること（右を一枚に一項目を入るも數項目を入るゝも隨意とす）
ロ、畫面適當なる場所に「賀正」「昭和九年大同三年元旦」の文字を挿入若しくはこれに該當する文字挿入の空欄を設けること
ハ、畫面に簡單なる解説をなすことを得
ニ、十色以內たること（オフセット又は石版）
ホ、作品は私製葉書若くは葉書大の洋紙たること
ヘ、作品には各畫面に非らざる面に住所氏名を記載すること
ト、出品點數を制限せず
チ、作品は封筒に入れ「大連市紀伊町九十一番地滿洲文化協會」宛とし、「年賀繪葉書應募」と傍書すべし
リ、作品は一切返戻せず
ヌ、作品中入選の分に關する版權は本協會の所有とし、同一若しくは類似畫題の頒布刊行を禁止す
ル、入選作品と雖も審査員に於て着想、畫面色彩等變更することあるべし

三、締切並に發表
應募締切　十月十日
審査發表　締切後一週間以內
入選の分に限り書狀を以て通知す
但し他に適當なる方法に依つて氏名を公表することあるべし

四、審査員
伊藤順三氏　大野斯文氏　加藤郁哉氏
丘襄二氏　村田治郎氏　貝瀬謹吾氏

五、懸賞
一等　金五拾圓也　一名
二等　金參拾圓也　一名
三等　金貳拾圓也　一名
秀逸　金五圓也　五名

大連市紀伊町　社團法人　滿洲文化協會

579

マンニチ にちようふろく

童話（これはほんとうのおはなしです） 總理大臣と鳩

山田健二

息がザラメのやうに凍る冬の朝です。

大きな北の國の總理大臣室にはもう澤山の立派なお客樣がつめかけてゐました。お役人が手紙や書類を山のやうにかゝへて机の上においてゆきます。

大臣はもう七十を越したお年寄ですが、子供のやうな血色のよいお顔に輕いほゝえみを浮べながら一つ一つ丁寧に處理してゐます。その時……

「クク……クク…」と總理大臣室にしては驚くほどご粗末な部屋の天井の方で何か鳴きました。

澤山のお客樣も、お役人も氣がつきませんでしたが、大臣だけは署名をなさつてゐた筆をおいて靜かにその方を見上げました。

天井の角にある空氣拔きの穴に張つた金網が少し破れて屋根裏が見えてゐます。

聲はこゝから聞えてきたのです。暖かい南の國の人達には想像することもできないほど寒い、北の國の冬には、弱い鳥や獸物は外で暮すことも食物を探すこともできません。

總理大臣室の屋根裏にも冬になると何處からともなく寒さに追はれて行きどころのない鳩が黑煉瓦の破れ目からはいり込んで巣を作りました。

總理大臣はその空氣拔の穴を見詰めながら、ぢーッと耳をすましました。

「ク……ク……」悲しさうなひもじさうな鳴き聲がまた聞えてきます。

「おい……一寸……」總理大臣は靜かに家來をお招きになりました。

「ハイ……」

「私用で使つてすまないが、これで高粱を少し買つて來てくれないか」

さういつて大臣はポケットからいくらかのお金を出してお渡しになりました。

「ハ？高粱を……」家來はあまり變な品物なのでお金を頂いたまゝで恐る恐る問ひ返しました。

「あゝさうだ、すまないが直ぐ買つてきておくれ」

「ハ……」

やがて家來は高粱の一杯入つた三角の紙袋をかゝへて歸つてきました。

「あゝ御苦勞ごくらう、ついでにそれをあの屋根裏の鳩にやつてくれないか、さつきからひもじさうに泣いてゐるから……」

「ハッ」家來は初めて高粱の使ひ途がわかるとあわてゝ梯子をかけて金網の破れ目から屋根裏に入れてやりました。

急にカサ〳〵と天井を引掻く小さな足音が亂れて聞えてきます。

「あゝ……ありがたう」總理大臣は心から安心したやうに、また目を落して、詰めかけてゐるお客樣の用向きをお聞きになりました。

「閣下……お中食の時間でございますが」

「ホー……もうそんな時間か、今日も中食はやめだ」

朝薄暗い内に食事をなさつた大臣はもうすつかりお腹がすいてゐらつしやるのですが、あまり忙しいのと、待つてゐるお客樣がお氣の毒なのでその日も中食をなさらないで仕事を續けました。

かうして朝早くから夜遲くまで國のためにお働きになつた總理大臣は夜中近くに疲れ切つた身體をやつと横になさつたかと思ふと三時半にはもう目をさましました。

そして身體をきよめると机に向ひ硯箱の蓋を取りました。窓硝子は銀の杉の葉をおしつけたやうに凍つてゐます。

「ス……ス……」やがて大臣は凍つた水をとかし、正しい姿勢で墨をすり初めました。

だんだんすれてゆく墨が黑いエナメルのやうに光ります。

墨がすれると大臣は筆をとり、たつぷりふくませて白紙に力一杯

「王道」

と書きました。

「ム……」大臣は書上ると下腹の力を拔いてぢつとそれを見詰めました。

「クッ……クッ……」

その時屋根裏の鳩が元氣のよい聲で鳴きました。

「ホー……もう目がさめたなー」

大臣は靜かに立上つて空氣穴の下に行きました。

薄暗い網の上に白い鳩のお腹が動いてゐます。

大臣は嬉しさうにそれを見上げた時

ボタリ……と

何か大臣の額をすつて床に落ちました。大臣は片手で額をなすりながら下をごらんになりました。

「ハハ…鳩の糞か…大きいなー」

總理大臣は朗かにお笑ひになりました。

敵彈に肺を射ち貫かれ 平氣で十時間の旅

さすが日本軍人 勇敢な東宮少佐

佳木斯屯墾團指揮官の東宮少佐は寶淸の匪賊を征伐して、九月二十三日集賢鎭といふところにむかひました。ところがその途中で三百人の匪賊にあひました。大へんな苦戰しておひちらしましたが、そのとき敵のたまが東宮少佐の右の肺をうちぬきました。なにしろ肺をやられたのですから血はドンドンほとばしります。しかし人一ばい元氣な少佐は一こう平氣なもので、左の手できず口をおさへながら、そこから集賢鎭まで十時間も馬車にゆられていきました。しかしただの一どだつていたいなんていはなかつたので、そばにゐる人々もさつぱりしらなかつたのですが集賢鎭についてから少佐がひどいけがをしたといふことがわかり、みんな大さわぎをしました。ところが少佐は大きなこゑで「これしかりのきずでさわぐな。豫防注射ほどのいたみしかないのだ」とどなりつけました。いまはハルビンの衛戍病院で手あてをしてゐますが、あと三週間もしたらまた佳木斯にいつてウントはたらくのださうです。とても元氣なさうです。(寫眞は東宮少佐)

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

地理

一、我が國の主な火山脈五つ書きなさい。

二、我が國の川は流れの早いのが多いがそれが爲ごんな利害がありますか。

三、我が國は何故農業が盛なのですか。

四、我が國で養蠶の盛な縣はごこですか。製絲業の盛んな縣はごこですか絹織物の發達してゐる縣はごこですか。

五、我が國で製絲業の盛んな地方三つをあげなさい。

六、我が國に工業の發達した理由をあげなさい。

七、我が國の主なる貿易品を各三つづゝあげなさい。

前週の答 國語

(1) 父と作者と弟

(2) 九月二日頃

(3) お百姓には一番こはい二百十日が無事にすんだからです。

(4) 節分の翌日、今日から春が立つといふ日で大てい二月の四日か五日頃です。

(5) 立春から數へて二百十日目にあたる日で、大てい九月一日頃です、昔からいつも支那海方面から暴風が吹いて來る時節で丁度稻の花が咲く頃ですから農家では大そう心配する。

(二) 問

(1) 鬼の首でも取つたやうに、喜こんだ。

(2) 一心に讀み續けた、晝の仕事の合間に讀むのは勿論、夜は床に就いてから燈が盡きるまで讀む、燈が盡きると翌朝すぐ手に取れるやうにまくらもとの壁際に置いて。

(3) 借りてゐた大切なワシントン傳を雨にぬらしたが、それを辨しやうすることが出來ないので其の代りに、かうした仕事をした。

(4) 何度も〳〵讀返してゐるうちに大偉人であるワシントンの品性に深く感化された。

(5) イ、讀書に大そう熱心であること、卽ち深く何度も〳〵くりかへして讀み徹したといふこと。

ロ、借りた書物の辨しやうが出來ないので三日間も畠の草取りした尊とい心はえらいと思ひます。

(6) イ、ワシントン

ロ、雨が降つて本がすつかりぬれた晩のこと。

ハ、辨しやう。

ニ、ワシントン傳を貸した人。

ホ、ぬれた。

ヘ、もらつた。

ト、ワシントン傳をもらつてのこと。

(三) 熟語

遠泳、水泳、寶物、重寶、統一統治、優等、優良

(四) イ、あの人の今の成功は少年時代からの努力のたまものである。

ロ、私のお友達の秋野さんは每日學校から歸るとかひ〴〵しく父の手助をしてゐます。

ハ、私は一々計算を學習帳にしなければならないのだが便宜上ソロバンでやつてゐる。

ニ、彼は先生の言葉に力を得てとう〳〵優等の成績をなさめた。

ホ、遠足の朝ふと目を覺した瞬間、目覺時計がリン〳〵と鳴つた。

(五) 組合せ文

(ニ)(ハ)(イ)(ヘ)

(ホ)(ロ)

こどもの考へもの

第六十六回

船底をおよぐお魚の群れか 左の車が怪しい……

この寫眞をごらんなさい。お魚がたくさんあつまつて、お船のそこでもおよいでゐるやうですね。けれどそれにしては左側にうつつてゐる車はチト變です。これはさて何でせうか。わかつた方は來る十月八日までに、ハガキで大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附錄係」あてお答へください。正解者にはいつものやうにして二十名に限りご褒美をあげます

第六十四回の答 ザウ君でした

第六十四回の考へものは、象さんを前からうつした寫眞でした。今度も殆ど全部が正解だつたので籤をひいて次の方々にご褒美をあげることにしました。それで大連市內の人々には新聞社から當籤お知らせのハガキをさしあげますからそれと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方には直接お送りいたします。

當籤者

▲大連渡邊太▲同鈴木ケイ子▲同隈岐恒夫▲同青山芳子▲同川崎良佐▲同平井直夫▲同山本茂▲同八丁忠臣▲同服部克彦▲同柳瀨千代子▲同岩下節子▲同氏原しな子▲同兼井順子▲旅順沖山直政▲鞍山市村陽三▲開原佐藤靜子▲貔子窩篠田美佐子▲海城西村篤▲煙臺鮫島泰雄▲營口宮野哲夫

一年前の苦みをながく記念

滿洲里に住む日本人

去年九月二十七日蘇炳文といふ軍人が滿洲國にそむきました。そして二千の部下をつれて滿洲里市をとりかこみ、三百人の日本人をつかまへてしまひました。この日本人たちは二ケ月ものながいあひだたべものはなく、ひどいさむさにくるしめられましたが、日本軍のてあついまもりをうけてやつとのこと、ウラヂオストックをとほつて日本の敦賀にかへることのできたことをみなさんよくおぼえてゐることでせう。あのころはずゐぶんさわがれましたが、あれからもう一年たちました。いま滿洲里市にゐる日本人は大ていあのころひどくくるしんだ人々です。あのくるしみをながくきねんするために滿洲里市の中央廣場に記念碑をつくつてゐましたが、こんどやうやくできあがりましたので九月二十七日市民の運動會やいろいろの餘興などをしておいはひしました。

みなさんが大すき　熱河のこども

島田特派員記
山口特派員撮影

日本人の様に立派な人に

この寫眞は熱河の省城承徳の小學校の入口です。この學校は承徳縣立模範小學校さいひます。熱河で一番立派な小學校で、大きなお寺の中にあります。おさなりは滿洲國の兵隊さんの宿舎です。朝は八時に始まります。さうして午後二時ごろおしまひになるのです。ちやうご日本の小學校さおなじです教室は一年生から男子さ女子さは別々の教室です。おさなりの兵隊さんが教練を始めるころ、小學校でも勉强をはじめます。校長先生におあひするさ、

「おさなりの兵隊さんの勇ましいかけ聲が聞えるさころで勉强するので、一番大せつな文武のみちが生徒によくわかります。今に滿洲人の生徒も日本人のやうな立派な人になるでせう」

さいつてをられました。

日本のお友達が持ちたい

朝禮學校がはじまるさきには、日本の小學校のやうに、矢張り朝禮があります。お寺の中の、大きな松の木の下に組ごさにならんで先生の號令にあわせて「イー、アル、サン、スウ」さ大きな聲をはりあげながら體操をします。承徳の小學生は大へん元氣です。さうして日本のおさもだちをたくさんもちたがつてゐます。

日本語の時間が大すきです

教室はあまり大きくありません。二十人か二十五人ぐらゐはいれる教室です。そこにぎようぎよくならんで讀本をよんだり、歌をうたつたり、繪をかいたりしてゐます。窓はガラスなごなく、紙がはつてありますが、冬でも寒がりもせず、一生けんめいに勉强してゐます。小さな生徒に「一番すきなのはなんですか」さ聞くさ、みんな日本語の時間が一番すきださいつてゐます。日本語が上手になつたなら、大連や、奉天の方に行つて日本人の小學生さ仲よくなり、いろ〳〵お話したいさいつてゐます。小學校の五年生に日本の歌が唱へますかさきくさ「シロジニ、アカク、ヒノマル、ソメテ」さ大へん上手にうたつて聞かしてくれました。

私たちは滿洲國人

新聞社のおぢさん達が學校へ行つて、三年の女生徒にしやしんをさつてあげませうさいふさ、みんなよろこんで教室のおもてにならんでくれました。承徳の模範小學校で一番人數の多い組は三年の女子で三十人ださうです。女の先生が、三列におならびなさいさいふさ皆んなすぐきれいにならびしやしんにうつりました。この寫眞の後のはうにあるお家が教室です、寫眞をさつたあさで、女生徒達をあつめて、皆さんは何國人ですかさききますさ皆、滿洲國人ですさ答へました。次に皆さんは日本人のえらい人をだれか知つてゐますかさ聞きますさ、西中將さいふ、日本のえらい軍人さんを知つてゐますさ答へました

學校が退けると……

學校がをはるさ、日本の小學生のやうに、お友達ごうし仲よく手をつないで歸つて行きます。せまい町をさほつておうちへ歸るのです。中には先生をさりまいて、いそ〳〵さ樂しくお話しをしながら歸るものもあります。おうちに歸りついたなれば、やはり日本人のやうに入口で「ただいま」さいひます。さうしてお父さまやお、母さまにごあいさつをします。男子は學校から歸るさ外へ遊びに行きますが、熱河の女子はおうちからはめつたに外に出ません、おさなしくおうちで遊ぶさうです

はしがき

熱河の省城承德を訪れるものは先づ十六支里にわたる城壁に圍まれた世界の秘苑、所謂清朝の避暑山莊の華麗さに驚かされます。同時に山莊の東方二里の山麓に、ずらりと並んだ廣大なラマ寺の金光燦然たる有樣にも、驚きの眼を見張らずにはゐられません。ラマ寺は全部で八大廟、避暑山莊を守るが如くに並んでゐます。溥仁、溥善寺、普寧寺、安遠廟、普樂寺、普陀宗乘廟、殊像寺、廣安寺、羅漢堂の八大廟で、世に獅子溝八座の大寺廟と呼ばれてゐます。清朝が何故このやうな大寺廟を熱河の僻地に建立したのでせう。大清朝の大皇帝の威力の下に建立されたこれ等の大建築は決して單なるラマ敎崇拜の觀念から建立されたものではありません。各式各樣のこれ等寺院はいづれも遠大な政策の下に成されてゐるのです。卽ち、大山莊に次ぐ矢繼早のラマ大寺建立によつて蒙古人及び熱河省民に清朝の尊嚴と威大さを示し、これを威壓せんとしたものです。同時に喇嘛敎を大いにこの地方に弘布して、熱河蒙族の勢力を削いで弱くし、更に宗敎の力によつて蒙民を懷柔せんとしたものです。威を示すと同時に宗敎の力を以て治める清朝の高踏的な大政策なのであります。これからラマ寺建立の物語りについてのべませう。（カットは普陀宗乘廟の全景）

島田一男記
山口晴康撮影

榮華をつたへる熱河のラマ寺

獅子溝の八大伽藍をめぐる

清帝と妃の戀物語

▼▼…清の雍正帝に一人の寵妃がありました、この寵妃は西藏の或る王侯の一人娘で西藏一帶にその美名を謳はれた人でしたが、雍正帝はその美名を聞き、特使を西藏に送りわざ／＼北平の紫禁城に迎へました、なるほど聞きしにまさるその美貌に、雍正帝は忽ちその美姫を唯一の寵妃として日夜側から離さず、寵愛しました。ところが、この寵妃は初めの内は支那中央の珍しさに喜んでゐましたが馴れるにつれて西藏が戀しくなりどうしても一度歸してくれと申しましたが雍正帝は何うしてもそれを許さず歸すかはりに承德の避暑山莊の東方に姫の故鄕そのまゝのラマの大寺院を建立し、又寺院の横の山あひに西藏のライオンや、虎を取りよせるから我慢せよと申しこゝに始めて山莊外に獅子溝といふ地名が生れ、又ラマの八大寺廟が建立され妃は夏になると雍正帝と共に承德離宮に避暑し、城壁の上の望樓に立つて毎日ラマ寺の風景を眺め獅子の鳴き聲を聞いて故鄕を思ひ出してゐた……と承德附近の住民は語り傳へてゐます

▼▼…これは全く一つの傳說に過ぎません、實際は何ういふ風にして八大寺廟が出來たかをお話ししませう、はしがきに述べた如く大清朝ははじめから宗敎による大政策を深く藏されてゐましたそして康熙帝の五十二年に始めて溥仁、溥善寺を建てました、これは康熙帝六旬の年祝に蒙古の王公が寄進したものであるといはれてゐます、ところが乾隆帝の御代に入るや宗敎政策は俄然具體化して積極的に寺廟の建立が始められました、乾隆二十年に普寧寺、同四十四年に安遠廟、三十一年に普陀宗乘廟、三十六年に殊像寺、三十九年に羅漢堂といふ風に慶事があるといつては建立し名僧が入朝したといつては建立し、又新らしい部落が出來たからといつては建立したものです、建立された寺廟は何れも互に粹を爭ひ燦然たる瓦を爭つてゐたのであります、一時は寺廟毎に四百人以上のラマ僧がをり、中でも安遠廟にはラマ僧の外準噶爾達什達瓦の妻女ほか數千人の者まで移住させたといふことです、以上喇嘛八大寺廟建立のあらましを物語りましたが

▼▼…次に喇嘛敎について少し述べませう、熱河省において最も普遍的な宗敎は喇嘛敎でありますが、喇嘛敎は主として蒙古人が中心となつて奉じてゐますので蒙古人の勢力に比例して喇嘛敎の權威も擴大し或ひは減退してゐるのです、喇嘛敎は唐代に西藏在來のボンボ敎と印度の佛敎の調和によつて發生したもので、喇嘛とは「無上」の意味を持つてゐます、從つて世界最大の敎へといふ意味なのが何時からか敎名に轉化してしまつたのです、喇嘛敎が始めて蒙古に入つたのは蒙古勃興時卽ち憲宗の代です、始めは紅敎と稱し衣冠を紅色とし妻帶を許したのですが、その後宗敎の權威をかざし愚民の迷夢を深くし、財物を吸取し、更に風紀を紊亂せしめたので遂に大改革が加へられ、紅衣を脫がせ黃衣とし妻帶を禁じ、現在の喇嘛敎となつたのです

寫眞說明

【左上】世界第一の喇嘛大佛
【同下】普陀宗乘廟喇嘛塔
【右上】殊像寺五座の喇嘛塔
【同中】羅漢堂五百羅漢
【同下】宗乘寺宗門
【其右】傳說の望樓

新作落語　俄か仕込み

夢想兵エ

俄仕込みの附燒刃といふものはどうしたつて地金が出るもの、ですから人は平素の心掛が大切、何事でも心掛けて居れば、それが自づから身に備はつて、ボロが出るやうなことはございません。

「勘太郎や、おまへももう高等小學を卒業したんだ、尋常を出て直ぐに中學へ進んだとすれば、今年は三年生になつた譯だ。それなら人樣に今日の挨拶位は、もう心得てなくちやならない。今も聞いて居れば、お隣の御隱居が、やあ今日はと云つたのに、お前は啞か聾みたいに默つてゐた。それならばまだいゝんだが、その次ぎに御隱居が、隨分寒いなと言つたら、お前は何と言つたれ、寒いたつて僕のせゐぢやないですと言つたぢやないか。そんな挨拶といふがあるかれ」

「だつてお父つさん、寒いのは僕が寒くしたんぢやないぢやありませんか」

「そりや言はなくつても分つてるさ、どこの世界に、氣候を暑くしたり寒くしたりすることの出來る人間がゐるものかれ」

「だからそれでいゝぢやありませんか」

「そこが今日の挨拶といふものだ自分のせゐで寒くなつた譯ではないが、人樣から隨分寒いれと聲を掛けられたら、全くお寒う御座いますれ、この向きだと今晩あたり白いものを見るかも知れませんです、位のことは言へなくつちや駄目ぢやないか」

「そんな事が挨拶なら、なんでもないです」

「だから、なんでもなく言へる口を持つてゐるんだから、人樣から挨拶の言葉を掛けられたら、叮嚀に挨拶を返すんです」

「つまり何でせう、向ふで今日はと言へば今日は、お早うと言へばお早うと言へばいゝんでせう」

「さう鸚鵡返しでも曲がない。そこは何とか少し言葉を添へなくつちや愛嬌といふものがない。男は度胸、女は愛嬌と云ふけれど、男だつて愛嬌があれば人樣から可愛がられる、可愛がられて損の立つことはない。以後よく氣をつけなさい」

「えゝ分りました」

勘太郎大いに心得たつもりで、それからは隣の隱居や向ひの亭主と顔を合はすたびに、大いに雄辯を揮つて挨拶の言葉を述べるので

「あの子も今年は十六になつたさうだが、年が一つ殖えれば殖えただけのことはある。近頃は挨拶などもなか〳〵上手になつた。今日途中で會つたところ隨分寒う御座います、この向ですと、今夜あたり白いものを見るでせうなんて、急に大人らしいことを言ふやうになつた、感心なものだ」

隣りの隱居はスツカリ感心して向ひの亭主に吹聽らしく話したりして、勘太郎は近所の評判が大變によくなりました。

やがて春になりました、春雨がシト〳〵と降つて、毎日うつ陶しい日が續きます。

「や、勘太郎さん、どちらへ」

「へい、親父の用事で、一寸其所まで」

「毎日シト〳〵とうつ陶しいことだれ」

「全くシト〳〵とうつ陶しいことです、この向きですと晩には白、いやしつぽり濡れちやうでせう」

相手の人は變な顔をして行つて了ひました。しつぽり濡れるなどといふ言葉は、決して子供の使ふべき言葉ではありません。

「どうも勘太郎さんは少々變ですれ」

「どうしたのです」

「子供らしくないことを言ひますよ」

「へえ、どんなことを？」

「どんなことつて、まだ春情發動期にはちと早過ぎるやうだのに、どうも變ですよ」

「近頃の子供は早熟ですかられ。油斷がなりませんよ」

「どうも近所にあゝいふ軟派の不良少年がゐては、女の子を持つ親は心配ですれ」

今まで評判のよかつた勘太郎は一轉して不良少年のやうな評判を立てられましたので、親達も非常に心配をして、これは家に引き籠つてゐて小說なんかに讀み耽つてゐるためであらう、これから成るべく外へ出して、運動をさせることにしよう。まだ〳〵あれ位の時には、スポンヂボールで野球に夢中になつてゐていゝんだ、さうだこれから少し野球に凝るやうに仕向けてやらう。

「へい、今日は御免なさいまし」

「やあ鐵五郎さんかい、暫く見えなかつたれ、どうだれ景氣は」

「景氣なんかどうだつていゝんです」

「へえ、御挨拶だれ。不景氣〳〵で世間がこぼしてゐるのに、お前さんは、又大層な鼻息だれ、そんなに景氣がいゝのかれ」

「ちつともよくありませんけど、あつしや毎日々々雨が降りやがつて、好きな野球が出來れえんで、スツカリ腐つてるんです」

「あゝ、さう〳〵、お前さんは野球狂、いや野球病、ぢやない野球道樂だつたれ。いゝ道樂だ、道樂にも色々あるが、大抵は金を費つて身體を惡くするものばかりだ。そこへ行くと野球道樂は全くいゝ道樂だ」

「そんなにいゝ道樂だと思ふんでしたら、お宅の勘太郎さんにも、ちつと野球をやらせなすつちや如何ですれ。今時の少年青年で野球が出來れえやうだと、世間へ出ても人から相手にされませんぜ」

「へえ、そんなものかれ」

「だつてさうぢやありませんか、ありや燒き（野球）が駄目だから人間が甘いつてれ」

「何だい、洒落かい」

「まあ、さう言つたやうな譯ですから、勘太郎さんにも是非野球をやらせるやうお勸めします、實はその事で今日は參りましたので」

「いや、有りがたう、わたしも實は勘太郎に野球をやらせるやうにしたいものだと、今も今とてその事を考へてゐたんだ。お前さんがさうまで言つてくれるのは丁度幸ひだ、ひとつ、天氣になつたら誘ひ出してもらひたいもんだ」

其所へ丁度勘太郎が二階から降りて來たので、早速此の事を話しますと、

「僕、野球なら少しは出來るんです」

と非常な乘氣であります。

「さうかい、それは大變都合がいゝ、實は鐵五郎さんが是非お前にも、野球をやらせるやうにと、親切に勸めに來て下すつたのだ」

「さうですよ勘太郎さん、あなたは少年だから、稽古をすりや直ぐ巧くなりますよ。實はあつしどもが組織してゐる血櫻團といふチームで、メンバーが一人足りないもんだから……」

「鐵五郎さん、その血櫻團といふのは、本當に野球のチームですかい」

「變なことを旦那お聽きですれ。どうしてですれ」

「いや、近頃新聞で見ると、淺草に血櫻團とかいふ不良少年の團體があつて、カフエーを脅かして無錢飲食をする、往來や活動館の中で氣の弱さうな者に喧嘩を吹きかけて飲み代を取るとか、迚もギャング的な事ばかりやつてゐるといふ事だから、どうも血櫻團はチームの名前には、荒つぽ過ぎやしないかれ」

「なアにそんな事があるもんですかれ、もつと凄い名前がありますよ」

「へえ、血櫻團よりはもつと凄いのだつて、どんなのがあるんだれ」

「血盟團といふのもあるし……」

「血盟團は物騷だれ」

「一人一殺團といふものもあるし……」

「井上日召が團長ぢやあるまいれ」

「爆彈倶樂部といふのもあるし……」

「本當かれ鐵五郎さん、まさか私ながらかつてゐるんぢやあるまいれ」

「突擊決死團といふのもあるし、あつしのチームの血櫻團なんか、名前が優し過ぎて困つてるんです」

「どうして又そんな、五・一五事件か、農民密盟團とか言つたやうな、物騷な名前ばかり附けてるんだれ」

「だつて、野球は相手を殺せば、勝ちになるんでせう」

「殺すと言つたつて、本當に殺すわけではないのだから、別段そんな物騷な名前を附ける必要はなからうぢやあるまいか」

「それがどうしてもさういふ名前でなくつちやいけれえんです」

「それは又、どういふ譯で？」

「兎角野球選手は女に持てるのでだがこいつがどうも選手には鬼門なんで……」

「はゝア、女難よけのため、チームの名前を物凄くしてゐるといふのかれ」

「まあ、さういふ譯で……」

「ぢや、お前さんなんか、第一番に女に持てる方なんだな」

「あつしや監督だから、選手ぢやありませんや」

「ぢや選手の方はもう卒業したのかい」

「はなから監督をやるんで……」

「それでゐてよく選手を仕込むことが出來るれ」

「なアに俄仕込みでさ」（終）

家庭滿洲語　紙上講座

第廿八課

一 (1) 天氣很好　(2) 晒鋪蓋　(3) 打一打　(4) 疊上　(5) 疊鋪蓋　(6) 都疊好

二 (1) 好的了　(2) 不好的　(3) 這個不好　(4) 換好的

三 (1) 那個好　(2) 這個好　(3) 那個太大　(4) 換小的

四 (1) 褯子　(2) 髒了　(2) 洗了麼　(4) 沒洗　(5) 怎麼不洗　(6) 天氣不好

【譯語】

一 (1) 天氣が大層好い　(2) 夜具を日に乾す　(3) 叩く（叩け）　(4) 疊む　(5) 夜具を疊む　(6) 悉皆り疊んで仕舞つた

二 (1) 善いの　(2) 惡いの　(3) これは惡い　(4) 善いのと取換へる

三 (1) どれが善いか　(2) これが善い　(3) あれは大き過ぎる　(4) 小さいのと取換へる

四 (1) むつき（おしめ）　(2) 汚れた　(3) 洗つたか　(4) 洗はなかつた　(5) 何故洗はないか　(6) 天氣が惡い

【說明】

天氣 は天候又は時候のことで晴雨寒暑の總てに用ふる言葉である。

很 は甚だといふことで、非常にとか大變などゝ譯す。

鋪蓋 の鋪は下に敷くこと、蓋は上から被せることで、それから轉じて寢具といふ言葉に成つたのである。

換好的 或は**換小的** の如きものは總て（斯樣斯樣なのと取換へる）又は（斯樣斯樣なのに取換へる）といふ意味のものである。

怎麼不 ○○は（何故○○せぬか）といふ言表し方の言葉である。

發音上の注意

很 ヘ（ハ）ーヌは單純な（ヘーヌ）ではなくして（ハ）の音を出す口つきを其儘變へずに（ヘ）を發音しやうとすれば（ヘ）と（ハ）の間の音が咽頭の方から出て來るから、其音を稍伸ばして最後に舌尖を齒齦に附けて輕く（ヌ）に終るのである。

晒 ス（ア）エイは舌尖を內方に曲げて置いて上顎との隙間から（サ）の音を出さうとして直後にアエイをつゞめて發すればよい。

那個 ナエ（イ）コ（カ）は那一個のつゞまりで**這個** ツエ（イ）コ（カ）は這一個のつゞまりから替はつて來たのである。

前週の答

(1) 不穿衣裳　(2) 不穿鞋　(3) 你換換　(4) 換水　(5) 不換衣裳　(6) 晒乾了　(7) 都收起來了　(8) 擦乾淨　(9) 刷乾淨了麼　(10) 很乾淨了

【問題】 次の言葉を支那語に譯せ

(1) これは大層宜しい　(2) あれは大變惡い（良くない）　(3) 着物を疊む　(4) 綺麗なのと取換へる　(5) 私は良いのが欲しい　(6) 良いのは無い　(7) どちらが正しいか　(8) これが正しい　(9) あれが違つて居る　(10) 何故行かないか

用心深いパパ

一年前の回顧

大東京市生る　（十月一日）

郡部八十二ケ村、半徑十哩五百萬市民を抱擁する待望久しかりし大東京市が遂に生れ、大東京市はわきかへるやうな祝賀氣分が漲りました、この日市長永田秀次郎氏は午前十時半宮中に參內市民の名において上奏文捧呈、十一時半明治神宮參拜市の永劫の繁榮を祈願しました

リ報告書發表　（同　二日）

全世界の注目を惹いたリットン卿一行の聯盟調査委員がジユネーヴの聯盟に對して僞した支那調査報告は午後九時ジユネーヴ、東京、南京三ケ所に於て一齊に發表されました

星ケ浦の匪賊逮捕　（同　上）

滿洲事變以來頻々として州內に匪賊の侵入あり油斷がならぬので旅大各警察署で必死の警戒中遂に星ケ浦方面襲擊の計畫中の匪賊六名を逮捕すると同時に待機潛伏中の甘井子埠頭北方の匪賊をも交戰の結果逮捕しました

産業博の醜狀暴露　（同　三日）

伏魔殿視されてゐた日滿貿易協會主催の大日滿産業博覽會は開期僅か二ケ月の間に大連市民に十數萬圓の大損害を蒙らしめ遂にそのインチキ博覽會の醜狀を暴露しました

ヤ軍爭霸戰に優勝　（同　四日）

シカゴカツブス、ヤンキースの世界野球選手權爭霸戰はルース、ゲーリツグ等の名手を有するヤンキースが三回連勝遂に霸權を獲得しました

武裝移民團出發　（同　五日）

關東、東北五縣の在鄕軍人移民團四百三十二名は滿蒙新天地開拓に向ふため五日午前カーキ色の軍服を着用神戸市中を行進、正午第三突堤からばいかる丸に乘船しました

リ報告書に反駁　（同　七日）

滿洲國政府はリットン報告に對して獨立を宣言して以來中華民國の實情とは比較すべからざる幸福な發展を遂げ日本の承認により國際團體の一員たるの資格を得て欣喜してゐる滿洲國三千萬民衆に對し冷水を浴びせるものであるとの聲明書を發表しました

大ギャング事件　（同　六日）

東京市大森入新井町の川崎第百銀行支店に午後四時頃三人組のピストル強盜押入り行員を脅迫三萬圓を強奪逃走近來にない大ギャング事件として各署では非常召集を行ひました

今週の獻立

和田とし子

	朝	晝	晩
日	味噌汁（玉葱）　卵の半熟　アミ鹽辛	コロツケ　鳥ロースとスープ　プディング	蟹玉（支那料理）　野菜スープ　胡瓜、コハダの酢物
月	茄子新燒　味噌汁（春菊）　蓮根の辛子和へ	ホウボウの黄味燒　炒り鳥　大根のゴマ味噌かけ	牛肉の雜煮　ニシンの吉野煮　八ツ頭の柚子串燒　ほうれん草のしたし
火	味噌汁（豆腐）　鹽ザケ　卵のポーチエッグ	サバの照燒　小芋の含め煮　豚、豆腐の煮込	清汁（松茸、豆腐）　エビのフライ　インギンのシタシ
水	味噌汁（ワカメ）　蛤佃煮　ハム・エッグス	アナゴの甘煮　鳥のキヤベツ煮　鰯の鹽燒	刺身　茄子燒（生姜醬油）　豆腐の清汁
木	味噌汁（馬鈴薯）　ビフステキ　馬鈴薯の粉ふき煮	コンニヤクの辛煮（唐辛子）、サバの味噌煮、カボチヤのキントン煮	豆腐のアンカケ　豚とキヤベツ鹽煮　馬鈴薯のフランス揚
金	葱の味噌汁　フライエッグス　鹽サバ（燒）	鰯の天ブラ　蓮根甘煮　新菊の汁	ケンチン汁　ホウボウの鹽燒　マグロの刺身
土	味噌汁（茄子）　煎卵　ハゼの佃煮	鯛の下ろし煮　松茸つけ燒（柑酢）　さつま芋金とん煮	鋤燒（鳥）　松茸の清汁

主な料理の拵方

▼…茄子新燒…材料（味噌五十匁砂糖二十匁）濃い出し汁五合をドロ〳〵に煮て、茄子に油を刷毛で塗つて火にかけ柔かに炒つて、皿に盛つて前の味噌汁をかけます

▼…蓮根の辛子和へ…蓮根を煮て汁を切つて辛子に醬油と砂糖少々入れて擂り、水を切つた蓮根を入れて混ぜます

▼…ホウボウの黄味燒…三枚に下ろしたホウボウに鹽をし三十分して鹽洗して燒き、卵の黄を刷毛で塗り、二度位塗つては焙ります

▼…八ツ頭の柚子串燒…八つ頭を適宜に切り串に刺して醬油をつけて燒き、味噌五十匁、砂糖二十匁位に出汁一合を加へて煉り上げ柚子の皮を微塵切にし灰汁を拔いたものを前の味噌の中に入れて刷毛で八つ頭に刷毛で塗り、一寸炙つて出します。

▼…いりどり…酒を沸かして鳥肉を切り入れ、沸騰した時に鳥肉を取り上げ醬油の中に肉を入れ、後の汁で、コンニヤク、牛蒡のゆでたのを煮て前の鳥肉を入れて、トロ火で汁のなくなるまで煮込む七味唐辛子を振りかけて出します

▼…牛肉の雜煮……野菜と、肉を賽の目に切り入れて、砂糖、醬油で煮込みます。

▼…卵のポーチエッグ……沸騰してゐる湯の中に玉子を割り込み半熟になつたころ上げトーストパンにバタを塗つて、卵を上にのせます。

▼…茄子燒…瓦斯で丸の儘の茄子をとろ火で燒き、皮を剝いて、適宜に切つて生姜醬油をつけます

▼…蟹玉…葱、百合根、筍を細く線切りにし蟹の罐詰の汁をとりフライ鍋に油をひいて野菜を炒ります。炒れたら、鹽、胡椒をふつて混ぜ、前の蟹汁を鍋の中に入れて、蟹を並べ、卵の溶いたのを上からかけます。

"一度汚された女の操の恨を晴らす"

色魔ゴリラと靑柳を罵つた 勝美夫人の告白書

【大阪特電三十日發】死を覺悟した勝美夫人が二十六日夜から翌朝にかけ認め『共犯兒玉勝美』と自ら記して大連檢察局宛發送した告白書は中園、勝美のお互の心境、社會への懺悔の告白書で全文左の如し(右は勝美の控書から)

勝美の遺書

全文一字一句削除なし

自分故にかうしたことを來たしたのだと思ふとどうしてもさうさせることは出來ず、自分は兒玉より去る考へでゐたところ丁度歸國を許されたので秀雄に相談、無理にこの地へ同船し秀雄について記す **勿論兒玉には內密で此處まで來た、** 前記秀雄と私とは結婚前よりの知合であるが、**全然清い交際である、ともに兄妹の交際**をしてゐた、私の性格は非常に短氣者であつたが非常に彼の人格、容貌に愛しい心の持機、仁義、義俠、信義の人であることを社會はどう云はうとも自分はよく知つてゐる、事件發生當時は如何に正義の上とは云へ殺人の罪は宥されぬ、自首すると稱してきかなかつたが **こゝに事件の眞相を逐一申述べおきます** そもそも事の初めは一昨年一、二月頃色魔團靑柳貢の居候して居た事あり、尙又私と仲好くしてなりました、前信通り計畫的に紹介あつたのも心附かず單なる交際をしてなりました、日數はよく記憶しないが二月頃聖德街附近の廣場まで送られ**ウムを云はさず〇〇された、それからといふものは兒玉の地位名譽に附込み脅迫され金錢物品、それも二圓三圓と絞り取られた** 兒玉の地位名譽を護り護らんとふ斷然たる態度に出られなかつた事は眞に殘念に思ふ、この金は後で氣付きし結果、**その手先佐藤三輪子に仕送りしたり或は又この一團の阿部、小松原等と飮食をなしをりし事はこゝに明らかに記し置く** 突如事件の當夜(五日)午後九時頃鳥打を目深に被り他の一人の男暴力團の團長の樣な男を伴ひ荒々しげな足取りで靑柳と兒分の阿部、小松原等が來り兒玉と二、三話合ひましたから自分は秘かに中園を電話で呼寄せた、中園秀雄も來り大に怒り階段より突落したところ他の二人はすぐ引上げましたが靑柳は尙も暴言を吐き中園を罵しりましたためミシンの上に氷を割る出刃庖丁がありましたゝめ前記**中園が憤激の餘り手に取りて殺害**せしなり 中園は自分の無二の兄妹として私等の親しい間柄であつたところからこの事に就いて前々から打明けてあつた、かゝる色魔をこの世に生存さすことは社會の秩序安寧のため好しからず何處までも正義の上に立ちてなせしなりと再三申したりしなり、自分も事の突然に呆然として居たが**兒玉は一生懸命止めてをつたらしく氣の附きし時は右手に傷**をしてなりしなり、斯くて死體は暫く隱して吳れとの賴みに依り階上に持上げ置き二三日して何處かへ運び去りたるが自分が使ひに出されたゝめこの持出し先は知らなかつた、新聞にて初めて承知せしなり惡覺でも愛人とか戀愛遊戲とかの對象ではなく **一度呪はれた女の弱身からかゝる大事を引起すに至りしなり、自分はこゝに立派に惡人に對し恨みを晴らした** 自分達は結局この世を終るのだと決心をした、何の未練もない、たゞ新聞によれば秀雄があのゴリラに對して挑戰の脅迫をなしたとあるが何の必要でこんな事をするか、又ゴリラそのものをかつて一度も見た事がない秀雄の知る筈もなく何處までも社會は正義は弱く强き惡を榮えさすのであらうか、誠に殘念であまりにも社會は無責任過ぎると思ひます、**色魔團の團長ゴリラの樣な靑柳貢及彼の手先不良マダム佐藤三輪子、又その惡計畫にかゝり女としての辱めを受け又美男子とか愛人とか何をもつて色魔團の團長ゴリラの樣なかの靑柳貢を社會は何を夢見てゐるのか、**あまりにも情けなく思ふ、**殺害の主犯と動機を述べるとゝもに實に女として一大復讐をなせし結果になりし事を喜んで書き記すなり、終りに兒玉は共犯でもなく只の一寸死體を階上に隱匿するに手をかした丈けに過ぎない事を明記しておく、**如何に女なりと雖も誤れる報道は默するに忍びず、今更乍ら**一度汚された女の操の恨はこの殺人事件を卷起するに至るまでに** 深い事を御推察頂きたい、以上をもつて事の眞相を記し終りたり、この上は諸機關樣方の賢明なる御推察の下に事の解決を待つばかりである、兒玉は人も知る篤學研究溫厚の人であり自分は七年間の生活に於て一度も腹立たしい事をされた事のない程である、恐ろしい殺人事件などする人でなく、隱す人でないことを自分は好く知つてゐる、如何なる自首かは判明しないが自分が死を賭して遺すこの手紙、よくよく御賢察願ひたい

山田辯護士の登場後 一切トリックと悟る

虛僞羅列の遺書、中園は嘘つき けふ兒玉博士が陳述

鐵窓裡にある兒玉博士に對して、勝美夫人並びに中園秀雄の兩名が逮捕されたといふ事實は特に二十九日は嚴秘に附され三十日午前八時博士の頭腦の冷靜なる時を狙ひ深い思ひやりの下に谷川司法主任より直接博士に傳へられたが、その時博士は唯一言「さうですか……」と感慨深げな內に喜びの微笑を見せた、更に續いて司法主任が奥さんは中園と情死を圖られて高野山で捕つたのですと述べるや博士は愕然として色を失つたが、生命には別狀ないらしいとの話しに漸く安心の色に立ち返つた、尙谷川司法主任が新聞紙に現れた勝美夫人の遺書を讀み上げるや、不斷無口の博士が憤然として次の如く陳述した

私は今始めて大きなトリックに引ッかゝつてゐることを知りました、このトリックは山田辯護士が現はれた時から仕組まれてゐたものなのです、私は最初面識のある大內辯護士に一切を打あける考へでゐましたが、秀雄(中園)が心安い辯護士がゐるからと云つて山田氏を紹介して一面識もない山田氏を信賴して一切を委せたのです、これがそもそも間違ひでした、十八日の夜、私が事件の發覺を恐れて自首せんとした時に、私を押し止めた山田氏の態度も今にして思へば非常に奇怪です、山田辯護士登場以來、今日に至るまでの長い時日の間に、私を不利な立場に陷し入れるトリックが細心の注意を以て進められてゐたものと思ひます、殊にその遺書も何等かの計畫の下に書かれたものでせう、私は妻が果して妻個人の意思でこの遺書を書いたものか何うか疑ひます、遺書の虛僞な點を申しますれば、私なり妻なりが靑柳の脅迫に脅かされて秀雄を電話で呼びよせたと云ふやうな事は決してありません、秀雄が靑柳を同伴して來たもので、他に不良靑年等居ませんでした、次に兇器は絕對短刀です私の家の氷割りは「三股」ですその短刀は五寸四方位のリンネルに包んで天ノ川(馬欄河)に私が投げ込んだのですから誤りはありません、又組み打して階下に落ちたなど出鱈目です、喧嘩の事に靑柳は全然抵抗しませんでした、私の目から見れば靑柳は女蕩しかも知れませんが、性質は溫しい方のやうに見えました、寧ろ秀雄は大嘘つきです今後の御取調べにも、秀雄が非常な嘘つきだと云ふことを御承知の上嚴正な御取調べをお願ひします、二人が捕つた以上私が述べたことが事件の眞相であるかないか、遠からず判明することゝ思ひます、私の今の心境は重荷をおろしたやうな氣持です

この意味を不自由な口で吃つゝあえぎあえぎ係官に語つたが、午前九時二十分一先づ取調べを打切つた、なほ取調べ後谷川司法主任は博士の陳述は自首以來終始一貫してゐて非常に筋道がたつてゐる、殊に最近はすつかり落ついてゐるが、前述をくつがへすやうなことは決してあるまいと語つてゐた(寫眞はけさ沙河口署で兒玉博士)

飽くまで夫人を庇ふ

高野署で中園取調べ

【大阪特電三十日發】中園は何故靑柳を殺したかにつき山田和歌山縣刑事課長は二十九日午後七時中園を高野署の留置場より引出し二度目の取調べを行つた

兒玉夫人とは古い知り合ひですが戀仲ではありません世間が色々と勝美夫人の事を淫蕩女性の標本の樣にいつてゐますが以ての外で氣の弱い世間知らずのお孃さんみたいな女です、それをあのピアノ教師佐藤三輪子が靑柳に紹介したのがきつかけで靑柳は毒牙をのばし途中暴行まで加へしばしばこれを脅迫して金を卷上げて行きました、靑柳は實は憎んでもあき足らぬ冷血のギヤングです、勝美は世間を恥ぢて默つてゐるし兒玉博士は溫厚の士で見て見ぬ振りをしてゐるのを好い事にして靑柳の傍若無人は益々募るばかりです僕は義憤のあまり靑柳を面罵してやつた事もあります、これももとはと云へばあのピアノ教師佐藤三輪子といふ淫婦が介在してゐるからでこの女は大連社交界に色魔風を吹かせる妖女です(ついで兇行當夜の模樣の陳述に移れば聲を張り上げ)正義のために大連の社交界の革正のために敢て僕は出刃を揮つて色魔靑柳を倒しました

と叫び出刃は何處から持つて來たかとの問には答へず「僕は死刑になつても好いこれで大連の社交界に平和がくれば僕の本望です」と大見得を切りあくまで勝美夫人を庇つてゐる

博士邸へは絕對に行つた事なし

憤慨する小松原君談

同じ係に勤務してゐたと云ふ關係から靑柳貢の手記に姓名が出て來たと云ふ單なる理由で面白くない立場におかれてゐる滿鐵用度課の小松原君を訪ふと以ての外だと云ふ面持で苦々しい激憤にかられながら語る

夫人の遺書に自分までが登場してゐるなぞとは考へられません用度課の人たちはキット私の事を信じてゐて下さると思ひますが、あゝした事が事實書かれてゐるとしたら實際迷惑も甚しいです、必らず調べられたら事實が明白になると思ひますが、もし中園と夫人が死んでしまつたとしたら……こんな事を考へるとゾッとします、博士の邸へ行つたなんて事は絕對にありません、この前も申上げた通り全く靑柳君の友人として夫人を知つてゐる範圍なんです、私の名譽の爲にも少し考へて戴きたいものです、また勝美夫人の遺書によると靑柳君が夫人から金を強請した樣に書かれてゐますが、私は一度靑柳君に賴まれて一緒にロシヤレストランで夫人に會つた時、夫人から靑柳君に財布を渡してゐるのをみましたし時々金を貰つてゐた事實はありますが強請した等と言ふ事は絕對にないと斷言出來ます、靑柳君は元來口では非常に強い事を言ふがその實小心な男ですから勝美夫人の所謂遺書なるものは僕達から見れば全然虛構としか思はれません

桃色暴力團など以ての外だ

被害者の弟克巳君談

勝美夫人の遺書が物語る如く果して靑柳貢は夫人の憎しみを一身に受けてゐたものであるか、遺書それ自身にも幾多の疑問があるが、市內對馬町六二の靑柳方を訪れると弟の克巳君は憤慨し乍ら語る

兄が夫人を嫌つてゐたのは事實でよく夫人を嫌ふ樣な口吻をもらしてゐました、あの遺書で見ると全く兄を陷れるのみならず阿部さんや小松原さんを如何にも桃色暴力團の一味の樣な事を書いてゐるさうですが、以ての外です、殊に小松原さんなぞが名前を書かれるなぞ不思議に堪へません、昨日も話合つたんでしたが、二人が生きてゐたので助かつた、面と向つて恥を知らない面の皮をヒンむいてやると憤慨してゐた位です、阿部さんも小松原さんもともに仕事に就いて居られる人なんです、少しでも御迷惑が掛つては死んだ兄も氣が濟むまいと思ひます、私の考ではあの遺書は全く中園の出鱈目なものか中園に脅迫でもされて書いたものだと思ひます

あす兇器搜査

靑柳貢の生命を斷つた兇器は博士の供述により馬欄河中にあることは既報の如くであるがその搜査は諸準備の手違れのため、一日午前七時頃より消防隊の應援を得て大々的に搜査することとなつてゐる

遺書の內容を 極力主張する夫人

【大阪特電三十日發】勝美夫人は二十九日午後九時頃數名の高野署員に物々しく護送され人力車に乘つて黑山の樣な彌次馬に見送られ高野署に到り、同署の裏手から袖で面を隱しながら同署階上取調室で山田刑事課長、椒谷署長の取調べを受けた勝美夫人は取調べに對し遺書の內容を極力主張し、中園との間には何等醜い關係なく彼は私の窮狀を救ふため天に代つて淫獸靑柳を斃してくれたと主張した

兒玉博士の更生策を 草間博士が中心に協議

【東京特電二十九日發】兒玉博士の恩師草間茂博士を中心に山田辯護士兒玉博士の兄榮一氏代議士山本壯一郎氏等が二十八日夜から集まつて博士更生策について友情を盡した涙ぐましい協議が續けられてゐる、二人逮捕の報に何れも安堵の色を浮べこの上は一段落まつて離婚問題を解決し又兒玉博士が晴天白日の身になつてから東京に招き再生の途を講ずることゝなり山田氏は榮一氏とともに近く大連に赴き博士の身の上を護る筈である

【東京特電二十九日發】山田辯護士と草間博士との會見において山田氏は從來兒玉博士の性質を知れる草間博士から詳さにその性癖を聞いて今後の參考にしたのち兒玉氏の身の振方を打合せた草間氏は

兒玉君は學界で得難い研究をしてゐる人だからあの事業を完成させたい、自分は出來ることなら大連に出掛けて行つて兒玉のために力になりたい、そして彼を隱遁義での生活と使命を完成させることに努めたい

四角關係の愛情比率表

夫人3・中園7
靑柳2・夫人8
夫人0・博士0

【東京二十九日發國通】兒玉博士の依賴を受けて博士の恩師草間博士を北里研究所に訪れ事件解決後の善後策を協議した山田辯護士は草間博士との會見後次の如く語る

殺された靑柳と夫人との愛情の比率は靑柳二、夫人八、夫人と中園は夫人三で中園七、夫人と博士は〇對〇といふ事が出來る、つまり冷たい家庭にある有閑夫人が隨分強く中園に引ずり廻されたあとがある、しまひには夫人が中心になつて演ぜられた醜惡なる愛慾悲劇で、此事件に博士がどの程度まで關係してゐるかは今云へぬ、離婚問題も事件が一段落ついてからボツボツ具體的にする積りだ

尙山田辯護士は四、五日滯京し私用も片付けば大連に歸る筈

"若き燕"の巢から 中園へ綿々の情

三輪子の戀愛巡禮行

ごぎつい中年女の愛慾生活はまさに人倫を超越したドロドロの腐肉のやうなあくどさで異性から異性へと轉々としてゐるが、變態に近い彼女御幡三輪子の亂倫生活の一端を物語るにふさはしい一片の書狀、これは彼女の若きつばめ田村元雄と同棲しながら恥も知らずに沙河口大正通一二七田村元雄方から中園に宛て、立つてもゐてもゐられない綿々の情を訴へたものである【寫眞は御幡三輪子から中園秀雄へ送つた戀文】

昨日も今日も御手紙を御待ち致しましたのに、遂々二十日の日も暮れやうとしてゐるのに、十二時が十分なのに

お待ち致してゐても來さうも有りません、又沙河口局まで來てゐても夜の十二時では來ませんし又配達もして下さいません

われ

お別れ致します時にあんなにお約束致しましたのにわれ

多分今日位は御手紙がつくだらうと御待ち致しましたのに、でもこんな無理な事は申せませんわれ

何だか書きたくなりました、然し筆を取つて見ますと書くこともありませんのね、御會ひ致して御話し致してみたいのですけど

あなたが御出發の前には御手紙を下さるとの由、今からその日を心待ちに待つてゐます

書いてみると書くこともありません

家を御願ひ致した方がまだはつきり拒否を申して來ないのでまた他所の家に約がいになつて居ります、若し今日中に返事が來ませんでしたら宿を御願ひいたし度いのですけど

二十二日の八時頃に御電話するかも知れませんから御承知下さいませ、ではまた御會ひの節御話が山の樣に有る樣です、では

中園樣 御幡みわ子

(原文のまゝ)

遭難勇士の遺族來る

海軍葬に參列

去る十五日練習飛行中關洋礁沖合で墜落慘死した能登呂搭載機乘組の今井今吉航空兵中尉、功刀嘉明一等航空兵の海軍葬は三日午後三時より水行社において執行されるが、これに參列のため今井中尉の實父今井久助、實兄今井久二の兩氏並びに功刀一等航空兵の實兄功刀信佳氏は三十日入港のたこま丸にて來連し能登呂よりの中込大尉江原中尉に迎へられて直に旅順に向つたが交々語る

お國のためです、たゞ死體が見つからないのが殘念ですが、今度は三日に盛大な海軍葬をやつて頂いて本人もさぞ滿足のことゝ思ひます

一日 南西の風(曇)一時晴

滿潮(午前八時二十分 午後八時四十五分)

干潮(午前一時二十五分 午後二時三十分)

各地溫度(三十日午前十一時)

大連	二五	奉天	二〇
旅順	二六	新京	一七
營口	二三	新義州	一九

今日の小洋相場(十一時半) 金百圓につき一二三圓四〇錢

善鬼惡鬼 (214)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

二つの骸（四）

「おいらははじめ、此死骸を、女郎屋へ持込んで、おはまさんの目の前にさらして、強意見をしやうかと思つたんだ。併し、考へて見ろ、おいらといふものは、おぎんさまあつての長吉だ、いはゞ、おはまさんとおいらは苦手といふ事になる。して見れば、おいらがどんな強意見をしたところで、おはまさんにとつては、手前勝手のいひ草としか聞えねえ、そこで途中で舳先をまげて、お前の親爺さんに頼んで、意見役を引受けてもらう氣になつたのだが、病氣と聞いて、おらあ、がつかりしたよ」

長吉に心を打明けられた金太郎感心して聞いてゐたが

「何しろ、あの通り、手前勝手のおはまさんが、人の意見なんぞを聞いてくれるかなア」

「元より、只の意見ぢや、百萬日通つたつて聞く事ぢやあるめえが何しろあの死骸を二つもならべたら、まん更——」

「旨く聞いてくれれば好いが」

「聞かさずに置くものか、あの通り、眞黑になつてしやちこばつてはゐるが、あれあお前二つとも、おはまさんにとつて只の仲ぢやれえんだぞ」

「その事なら知りぬいてゐる」

「おまけに、殺した奴が、手前の亭主と來てゐるんだ、こゝで一番おはまさんが心を入れかへて、良人大事の人になつてくれなけあ、又ぞろお隣の花をいぢめに來るときまつてゐる。さうしたら今度こそはむごたらしさの骨頂が出來ねえとも限られえ、その邊の道理をおらたちが命がけで並べたてたら少しは利目があるかと思ふんだが」

「よし、當つて碎けろだ。やつて見ろ」

「だけど、藤助爺さんの病氣といふのは」

「うちの親爺はもうダメだ、けふあすもむづかしい」

「ぢや、やつぱり、おれ一人でやらう」

「おいらが行かう」

「え、お前さんが」

「うん、行くとも、假令小僧ッ子あがりであらうとも、人の一心てものは岩をも通すんだつて、よく内の爺がさう云つたよ。長さん、一緒に行かう、こゝに待つてゝくれ。おら、爺に相談して、意見の文句の智惠を貸してもらつて來るからな」

若いものは氣が早かつた。

行くときまつたら、待てしばしがない。

「おい、金太、よく氣をつけてな爺の病氣にさはられえやうに、話しをするんだぞ」

「呑み込んでゐるよ」

早うつすらと東が白みかけた。

長吉は、不氣味な船の積荷を、ぼんやり見つめながら、朝寒をおぼえる陽氣に、袖をかきわけて、渡し小屋の方を幾度かふりかへつた。

金太郎が、威勢よく艪もごつた時、最早あたりは明るくなつてゐた。

「長さん、船の荷物を、爺のとこへ持つて來いと云つたが」

「あの荷物をか」

「さうよ。おいらとお前が、そんな死骸を見せつけたくらゐで、百萬遍を並べたつて、人の意見を聞くやうなおはまさんぢやれえといふんだ」

「それで、爺はどうしろといふんだ」

「死骸はこゝへ上げておいて、おはまさんを呼んで來て、爺もとも意見をしたいとかう云つてゐるんだが」

「病氣の爺にまで、そんな心配をかけちや濟まれえなア」

「なアに、爺はれ、おぎんさんを仕合せにする爲めには、どんな事でもしたいと、一生懸命になつてゐるよ。死骸は二人で、運び込まう、そしておはまさんは、おいらが、是非とも呼んで來るよ」

「待て〱、幸ひ舟があるんだ、佛を陸揚げしたら、おいらとお前と二人で、舟をまはして、呼んで來る事にしやう」

打合せがすむと、二人は、舟の中の黑佛をかき上げて、渡し小屋へ擔込んだ。それから間もなく、二人を乘せた舟は千住に向つて漕ぎ下した。

醫大和樂部 新京演奏會

奉天滿洲醫科大學和樂部では十月一日午後五時半より新京高等女學校講堂に於て新京地方事務所滿鐵社員クラブ主催の下に新京系友會新京和風會の後援を得て滿鐵音樂部講師名和榮次郎氏指揮部員十四名出場して大演奏會を開催するが七日は四平街八日は公主嶺にて開催する豫定で入場無料である

十月の日活館 キング・コング契約發表

秋の映畫シーズンに入つたので十月の各館プロは巨篇を續々上映するものと期待されてゐるが、日活館では十月豫定プロを左の如く發表した

◆第一週（一日—四日）「花の東京」「一心太助」再映大衆興行
◆第二週（五日—十一日）「曠野の果」後篇、メトロ映畫「戰く幻影」
◆第三週（十二日—十八日）メトロ映畫「男子戰はざるべからず」「龍造寺大助」
◆第四週「十九日—二十五日」洋劇超特別興行（上映々畫未定）
◆第五週（廿六日—一日）「大學の歌」「振分小平」

なほ秋の洋畫界の巨彈として注目されてゐたRCA映畫「キング・コング」を千鳥興行との間に直接契約したさ

タマキ舞踊團 默劇舞踊プロ

日滿女性社主催のタマキ舞踊團の默劇舞踊と獨唱の夕は三十日午後六時半から協和會館で開催されるがプログラムは左の如くである

◆第一部 1、舞踏マイ・ベビー 研究部全員
2、舞踊アタナエルの幻想 環玲三
3、獨奏ハンリガアン圓舞曲 ドルトラ作曲 佐藤富房
4、獨唱折れば好かつた 伊太利民謠 正木正子
5、默劇良心 全員 ゴールヅワジー作
◆第二部 1、舞踏ワルツ 圓舞 研究部
2、舞踊ノスタルジア 松波芳江、環玲三、吉野不二子
3、默劇ゴールドラッシユ 滝文子、丘龍兒、環玲三
4、口笛獨奏 西田祐四郎
5、獨奏デップ・リヴア 佐藤富房
6、獨唱アルカンタラの一節 正木正子
7、默劇幾覚幻想詩 全員
◆第三部 1、舞踏俺れはピエロ 吉野不二子、滝文子、松波芳江、環玲三
2、舞踊ラパロマ 正木正子
3、舞踊プロミシウフ解放 吉野不二子、環玲三 本居長世作
4、獨唱闇の夕ざれ 正木正子 ボッカチヨ 佐藤富房作
5、獨奏春の憂ウツ 佐藤富房 ホイットマンの詩の一節
6、舞踊第二の世界

うわさ話

滿鐵社員會の機關雜誌「協和」に十月一日號から新しく映畫欄が設けられ◆第一回は十月第三週に日活館が上映する「男子戰はざるべからず」の映畫物語を掲載◆中央映畫館の前支配人安田友彦氏は捲土重來を策して二十九日のうらる丸で東上した◆柳さく子一行は一日入港の香港丸で來連、二日から中央映畫館で實演

滿鐵側所員引揚げ 滿烏協定終焉
烏鐵側の態度は不明

滿烏協定は八月滿鐵より破棄を通告し、これに對し烏鐵よりの反駁あり改めて滿鐵より再反駁を行ふなど文書戰を續けて來たが、滿鐵は既定の方針に基き本九月三十日をもつて滿烏共同事務所より滿鐵側所員を引揚げ、同時に東南行數量調査なども打切つて事實上滿烏協定に止めをさした、これに對して烏鐵側が如何なる態度に出て來るかは來電なきため不明だが、恐らく一應は先方の理論を延長して滿烏共同事務所の存續を主張するならんも、滿鐵側が引揚げた以上烏鐵側のみが殘つて經費を全部負擔するも無意味であるので「滿烏協定は當然存續するものと認む」との捨科白を殘して共同事務所を引揚ぐることとなるべく一九二五年以來の歷史的協定も事實上本三十日を以つて終焉を告げたわけである

新しい酒は新しい嚢に盛れ
市場問題で日下局長語る

三十日菱刈長官を大連驛頭に見送つて民政署に立寄つた日下內務局長は市場問題につき小川市長と會談したのち左の如く簡話ながら意味深く語つた

まだ小川市長から公式に詳しい具體案は聽いてゐないが、大體のことは承知してゐる、ナニ大したことはないよ、市も仲買人組合も考へてゐることは結局同じ所に歸着するのではないか、何事にせよ滿洲情勢の一變により以前の儘では間に合ひ兼ねてゐる、水產會においてもその感を深くしてゐるが、市の市場だつて同樣で、新しい酒は新しい皮嚢に盛つて時代の進運に添ふやうにせねばならぬ、例の世話料問題にしろ市の方では解決したと稱するし、組合だつて何だか譯の分らぬやうな枝葉のことに拘泥せんでもよいではないか要は市場の健全な發達を當事者が協力してはかるべく問題はそれで解決するのだ、市場を市に開設させ、昨年例の廳令を出したのも市場の健全な發達を期したからに外ならぬ

末日限り 特產納會成績

大連特產市場における九月末日限大豆、高粱は二十九日前場を以てそれ〴〵納會を告げた、大豆は賣買總出來高六千二百十六車、受渡高四百二十車、受渡標準值段四圓二十五錢、受渡步合六分八厘弱にして前月末日限に比較すると賣買總出來高では一千百四十一車の減少を示したが、受渡高では百四十八車の增加を示し受渡標準值段は十五錢方の安値であつた、尚公定相場は最高五圓三十六錢最低四圓十三錢でこの開き一圓廿三錢である、受渡の手口を示せば左の如し（單位車）

▲渡方●
東永茂 二八　和泰 九
泰來 七一　雙盛 一
福元 一　興慼東 四
公濟棧 九九　益興德 二

▲受方●（前段より續く）
益發合 五八　丁新昌 五
裕昌元 一七　東昌源 七
日清 一五　玉谷 六
瓜谷 一〇二　三泰 三〇
三井 二九
▲受方●
寶隆 八五　和記 三四
順發公 一　豐年 六七
三菱 二三三

次に高粱は賣買總出來高一千二十五車、渡受二十七車、受渡步合二分六厘强にして前月末日限に比し賣買總出來高では九百三車の減少を示し受渡高では七車の增加受渡標準值段は十三錢方の安値である、なほ公定相場は最高二圓五十二錢、最低一圓八十錢、この開き七十二錢であつた、受渡の手口を示せば左の如し（單位車）

▲渡方●
益興德 二　東昌源 三
三井 一　三菱 一
▲受方●
達昌 一　泰來 一
双盛 六　福順厚 八
天和成 一

日印現行條約延長に關し 英國折衷案提議
松平大使から請訓

【東京三十日發國通】松平大使は廿八日午後英外務省を訪問、懸案の日印通商條約延長問題につき協議の結果、英國側は新通商條約締結まで現行條約を繼續實施せんとする日本側の要求は破棄通告を無意味ならしめるから、英國より日本へ通告した通り破棄を一ケ月延長することにしたいと提議し、兩國の意見を折衷した案を得た松平大使は政府に請訓し來つたが、英國側の意向は既報の如く日印通商條約に關する暫定取極めに就いて英國政府は條約有效期間滿了後尙一ケ月延長することに同意する、しかし若しこの有效期限たる十一月十日以前日印間に協定が成立せざる場合は印度に於て日本及印度の兩政府代表者間で協定される條件に從ひ更に適當なる期間延長せ

下旬貿易 出超二千二百萬

【東京三十日發電】九月下旬の對外貿易は左の通り出超を示した

輸出 六千四百四十四萬四千圓
輸入 四千百五十九萬八千圓
差引出超 二千二百八十四萬六千圓

通商審議會 十二日第一回會合
海外商權確保案審議

【東京三十日發國通】我海外商權確保の根本方針を確立すべく、內田前外相が設立した通商審議會は外相更迭、委員の人選並に增補等の問題で延期されてゐたが、委員の顏觸れも二十九日發表され第一回の顏合せは來る十月十二日午前十時より外務大臣官舍で開會愈々我海外商權確保の具體案審議を開始する事となつた

近海郵船が 連灣航路に 新配船

近海郵船では今回大連臺灣航路に配船中の岩手丸を廢して優秀の貨物船岐阜丸を配し大連臺灣間の蒐貨に積極的に動きかけることになつた、更に十二月よりは第二養老丸を配して二隻の定航とする豫定であり、行く〳〵は船客の設備をもする筈であると

開原管內農作 概ね增收

【奉天】九月中開原管內の農作狀況は八、九月に於て比較的順調な氣候に惠まれ、一般農作物は孰も成績良好で、黍は本月上旬既に大體收穫を了し粟も本月中旬より取入れが開始され大豆、高粱も作柄良好で稻作の如き作付面積は昨年の二倍で收穫又一割五分の增收の見込昨年より二十萬石增加し結局七十萬石の收穫がある見込である

らるべしと言ふにある

印度頑强 產業自衛から
代表聯合協議

【シムラ二十九日發國通】澤田カイタン兩氏會見の結果印度側は飽く迄印度產業の自衛手段として關稅の必要を理由として日本の要求を斥けんとする意向あるので、澤田代表は直に政府代表民間顧問の聯合協議會を開始し、我國の執るべき方策を協議したが、會議の前途は愈々多難とみられてゐる

朝鮮水產會 新京で卽賣宣傳

【釜山】朝鮮水產會では水產物輸出獎勵の目的を以て來る十月十五日より五日間新京において朝鮮水產物の宣傳卽賣會を開催することに決定したが、種類は約百種の低級魚類に屬する鹽鯖及鹽干魚等である、なほ卽賣方法として新京の外奉天、大連方面の水產物取扱商人六、七十名を招待して懇談を試みることゝなつてゐる、又夜間は活動常設館を借受けて朝鮮水產映畫を上映して宣傳する筈である

外國爲替管理 關東廳令內容（上）
横山理財課長解說要旨

廿九日午後四時より大連商議主催、大連、滿日兩社後援の廿七日附發布「關東州及滿鐵附屬地外國爲替管理令」に對する横山理財課長解說の要旨を左に揭ぐ

內地に於ても爲替賣買の思惑を禁止し、或は資本の逃避を防止する目的をもつての外國爲替管理法が資本逃避防止の意義を擴大して、本年第六十四議會により可決され去る七月一日より實施されてゐるが、この關東州及び南滿洲鐵道附屬地に於てもその實施の必要を認め、これを實施する聲明を發し、且つ關東州及び滿鐵附屬地には特殊的經濟事情が存在するので其の實施方法を種々講究中であつたが今年八月拓務省に於て外國爲替管理委員會に諮問し、この委員會の根本方針に大體從つて去る七月二十七日「關東州及び南滿洲鐵道附屬地外國爲替管理規則」の公布を見、來る十月五日より愈々實施されるに至つたのである

今各條にわたつて逐一說明して行くが、內容說明に當つて前置したいことは、此の法令は三つの部分から構成されてゐることである、卽ち第一は公布に關する勅令であつて關東州及び滿鐵附屬地の外國爲替管理法も大體內地の爲替管理法に準據して居る事を示し、第二は關東廳令による外國爲替管理規則よりなるもので、此の法案の最も重大なる實體的な規定であり、第三は細則よりなつて居り、此の法の實施により生ずる手續きに關する事項を規定してあるのである

實際この外國爲替管理法なるものは複雜な對象を取扱つてゐるから、その條文が非常に難解なものとなつて居るが、この說明にあたつては法文の趣旨を失はない程度において平易に話す心算である、先づ「第一條」は金輸出禁止に對する規定であつて關東長官の許可なくして金貨幣金地金、金の合金又は金を主たる材料とする物を本令施行地外に輸移出し、又はその豫備を爲すを得ずとされてゐる、なほこの本令施行地內と云ふのは關東州及南滿洲鐵道附屬地を指すのであつて、金貨幣は之を鑄潰し又は毀傷することを絕對に禁じてある「第二條」はこの規則中の最重要規則であつて、此の外國爲替管理規則の適用を受ける所の對象を夫々列記してあるのである、卽ち第二條は「關東長官の許可を受くるに非ざれば左に揭ぐる取引又は行爲を爲すことを得ず」「一、邦貨を對價とする外國通貨の賣買」とあり、此處で云ふ邦貨は本邦貨幣、日本銀行券、朝鮮銀行券、臺灣銀行券たる所謂「金圓」を謂ふのであつて、是以外の通貨（例へば鈔票の如きものも）は皆外國通貨として取扱はれ、之等外國通貨の賣買には共に許可を受ける必要があり、この賣買には先物賣買も含まれ、また他人に賣買を委託する場合も包含し、取引に於ては取引人及びその委託者共に許可を必要とするのである、それ故之等の兩替、錢鈔業に於ての賣買は當然にこの規則が適用されるわけである、然し例外規定として次の第三條に許可不要の場合が規定されて居り、然もこの例外が相當に廣範圍にわたつて居るから、之等の一般的日常實需賣買には絕對に許可が要らないといふ事になり、この點安心して然るべしと思はれる

第二條の（二）は邦貨又は外國通貨を對價とする外國爲替の賣買で此處で云ふ外國爲替とは本令施行地と施行地外とに跨るもの、卽ち施行地より施行地外へ仕向け又は施行地外より施行地內へと仕向けられた爲替手形、小切手類を指すもので、之等の賣買は皆關東長官の許可を受ける必要を有し、たとひ圓爲替でも本令施行地と施行地外とにわたる場合は外國爲替となり、一例を擧げれば、ハルビンから大連へ仕向けられた圓爲替も許可無くしては行はれない事になる但しこの場合內地との間の圓爲替は除外され、これは自由に賣買する事は差支へないのである、以上によつて明かなる如く外國爲替の賣買卽ち邦貨、外貨（滿洲に於ける銀系通貨を含む）でも外國爲替の賣買は上海との間の滙申取引と同樣この第二條の對象となる、但し例外のある事は上述の通りである三、四、五等は條文に示す如く特に說明を要しない、六の例を示せば本令施行地外からの逆爲替を施行地內に拂ふ場合等が代表的なものであり、この場合勿論この規則の對象となるのである

「第三條」は第二條の規定に拘らず關東長官の許可を受くることを要しない、卽ち例外の場合を定めてある、一、は輸移出入貿易の爲に必要なる場合で、この場合には當然許可を要しない然しそれには實際に必要にして適度なる範圍及び時期の許す限りに於てこの例外が認められ、貿易額に不相應な又非常に遠期の先取引をなす時はこの限りに非ずとしてあり、第二項は本令施行地內に於ける公債、社債等の在外投資者に對する收益をその在外投資者に送附する場合、第四、五、六項は省き第七、第八項は旅行者等に對する規定で、第七項は通貨にて自己にて持參するもの、第八項は送金をなす場合である

錢莊困憊 國幣に統一され

【奉天】滿洲建國で中央銀行が國幣をもつて統一したため、錢莊業者はこれまで各省が濫發してゐた地方通貨の交換で利益を占めてゐたのが全然其の利鞘がとれなくなり、僅かに國幣と圓金との交換で店舖を維持してゐる狀態であるが百餘軒の城內錢莊兩替店はいづれも青息吐息で約半數は閉店の止むなき傾向にあり大恐慌を來してゐる

八月中 奉天到着貨物

【奉天】奉天驛取扱ひによる八月の貨物噸數は到着十二萬五千八百六十六噸で昨年同期の七萬四千九百六十三噸に比し五萬噸餘の增加であるが、發送數量は二萬七千二百二十七噸で前年同期の五萬三千四百九十五噸に比し二萬六千二百六十八噸の減少を來して居る、これは今年の特產出廻りが少いためと軍需品の輸送が激減した結果である

九月限株式受渡

大連五品取引所の株式九月限定期受渡高は株數一千五百六十枚、代金七萬五千六百十圓、一株平均値四十六圓六十三錢でこれを前月の受渡に比較すると株數二千二百八十枚、代金六萬一千五百九十五圓の共に減少を示してゐるが一株平均値は東新株の受渡が多かつたので十二圓六十三錢の値上りを示してゐる、各取引人別に受渡の內譯を示せば左の如し

▲五品株（渡方）柏原一〇〇、石橋四〇〇、岡村五〇、三谷二〇、早渡六六〇（受方）山田三〇、伊藤五〇、德泰四〇、白川一〇、後藤一二〇、石橋三〇〇、山本七〇、橋本三〇、中村三五、瀨川三〇、美好五〇、三谷五〇、鵜邊四〇、岡崎五〇、計一、二三〇枚

▲新豆株（渡方）山田五〇、鎌野五〇、早渡三〇（受方）山田三〇、伊藤五〇、石橋五〇、計一三〇枚

▲東新株（渡方）後藤二〇、早渡一八〇（受方）山田三〇、白川一〇、中村八〇、美好四〇、岡村一〇、鵜邊三〇、計二〇〇枚、總株數一、五六〇枚、代金七六、〇一〇圓

▲受渡標準値
五品 二七、〇　新豆 二一、〇〇
東新 一九四、〇

清酒品評會 褒賞授與式

關東州酒造組合第十六回清酒品評會褒賞授與式は三十日午後二時より市役所市會議場にて開催されるが入賞清酒並に表彰杜氏左の如し

優等 松鶴ロ號 合資會社原田商會
一等 高風イ號 岩田 爲藏
同 アカシヤ正宗ロ號 北川 商店
二等 月ケ瀨ハ號 森川 清
同 美乃鶴ハ號 鹽足 龜吉
同 志摩錦ハ號 志摩釀造合資會社

被表彰杜氏
優等 原田商會 宮澤 金作
一等 北川內 佐藤 郡司

九月限商品受渡

大連五品取引所の九月限商品受渡高は麻袋七十五萬枚、代金二十五萬九千百五十圓、綿布受渡高八百二十八俵、代金十七萬五千四百七十七圓六十錢であつた

會頭書記長北行

來る十月一、二の兩日ハルビンに於て開催の全滿商議書記長會議並に三、四兩日の滿洲商議聯合會に出席の爲め長永大連商議書記長は廿九日午後四時半の急行で北上、高田會頭は滿洲商議聯合會に出席の爲め十月一日北上の筈

黄塵

◇…奉天城內の兩替業者達が舊紙幣の流通を禁止されてから、スツカリ營業がさびれ出し、氣息奄々の揚句が店を閉ぢればならぬものが少くないといふ、由來複雜な通貨裡に生活してるのが支那人の一特有性があつただけ、國幣の統一といふ單一化が彼等を困らしたことはあり得ることだ。

◇…滿洲の木材都市安東が材木の拂底を來して、はる〴〵樺太から輸入するなんごは全く未曾有の現象だらうそれだけ本年の木材消化が旺盛であつたことを物語るものだ。なんにしても目出たい一事實たるに相違あるまい

滿洲國商標法の一瞥（四）
中村如峰

四、關東州と商標法

滿洲國商標法第八條に國內に住所、居所及び營業所の孰れをも有せざる者は、國內に住所、居所又は營業所を有する代理人に依るに非ざれば、商標の登錄出願其他の手續きを爲し、又は商標專用權若くは商標に關する權利を主張するを得すとある、この國內とはいふまでもなく滿洲國內の意である、卽ち滿洲國內とは關東州並に滿鐵附屬地を除いた滿洲國內の地域をいふのである、換言すれば滿洲國の法權の及ぶ範圍の地域を指示したものと解すべきである。

この意味からして關東州及び滿鐵附屬地は、商標法では純然たる外國扱ひである、日本內地、朝鮮、臺灣、樺太と同樣である、英國や米國や波蘭やチエックやエストニヤやラトビヤとも同樣に取扱はるゝのである、今、滿鐵附屬地は近く治外法權の撤廢、附屬地の返還が解決せらるれば、滿洲國の法權下に歸するのであるから暫く之を切離して、關東州單獨に商標法上の地位を考察しなければならぬ。

先づ第一に考察しなければならぬ事は、滿洲國の商標法上、關東州は純然たる外國扱ひを受けねばならぬであらうかといふ問題である、素より關東州は我が租借地であり、我が法權に依つて統治せられつゝある地域である、滿洲國の法權が一歩も踏込むことの出來ない地域である、この意味からすれば、日本內地や臺灣、朝鮮と同一な外國であり、米國やエストニヤ等とも同樣な外國としての形體にあるのである、然らば之を經濟的に見たらどうであらうか。

◇

關東州は滿洲國の南端に位置し同一經濟關係に置かれ、而も滿洲における經濟の主體は關東州にあり、原動力もその大部は關東州にある、大連における輸出入貿易額が、全滿貿易額の約七割を占據しあることを考へたならば、之等の事情は最も明確に且つ如實に證據立て得る、且つ滿洲に取引される我が商品の商標約六萬（我が特許局の推定）の大部分が、また關東州を中心なり基點として動いて居る。

斯うした關係から關東州を見るときは、關東州と滿洲國との聯絡と交涉は同じく外國といつても、日本內地や臺灣、朝鮮、樺太とは大いに事情を異にするものあるを知るに足るべくまた米國やエストニヤ、ラトヴイヤ等とは全然違つた立場にあるを、直に發見し得るであらう卽ち經濟的に滿洲國から見た關東州は、果して之れを純然たる外國と言ひ得るであらうか、然るに滿洲國商標法は全然關東州を外國同樣に取扱はんとして居るのである。

然らば其の結果はどうなるであらうか。

關東州內の在住者は、日本人と滿洲國人が殆ど大部分を占め、他は少數の外國人である、この日本人は素より假令滿洲國人でも、關東州內に住居する以上は、商標の登錄出願其他の手續を爲し、又は商標專用權若くは商標に關する權利を主張せんとする場合は、滿洲國內に居所、住所又は營業所を有する代理人に依るに非ずんば、之を爲すことが出來ない（第八條）ことになつて居る、料金納付の如き些細な手續までも、代理人を依賴して報酬を支拂はなければ出來ない、その煩瑣と負擔は言ふべくもあるまい。

その代理人は滿洲國に居所、住所又は營業所を有する者ならば誰でもよいといふ譯には行かない「商標局に對する手續に關する件」に依つて許可されたものでなければならぬ、卽ち滿洲國內に居所、住所若くは營業所の孰かを有し、商標の出願、請求その他の手續きに關し代理行爲を業とする者であつて（第一條）實業部總長から許可を受けた者でなければ（第二條）代理を依賴することが出來ないことになつて居る。

◇

次は證明の矛盾である、滿洲國商標法は先使用主義を採用（第四條第一項）して居る結果、商標登錄出願に際して次の證明を要する

一、滿洲國內に於けるその商標の使用開始年月日
二、その商標を滿洲國に於て現在引續いて使用しつゝあること

故に滿洲國內でない關東州では、如何に古くからその商標の使用を開始し、現在引續いて使用して居つても、それは先使用の證明にはならないといふことになる、滿洲國政府が大自慢の先使用主義も、關東州に在つても些かも有難味がないのみならず、却て國內不正業者の爲めに飛んでもない不測の被害を受けないとは、誰れが保證しやうぞ、關東州內の商標權者若くは商標使用者は深甚な考慮と戒心を要するのである。

市況（三十日）

特產 賣物旺盛で 大豆軟調

今朝の定期は大豆は賣物旺盛に軟調を辿り、豆粕も相伴つて軟調を呈し、豆油は買氣薄に低落を辿り高粱は邦商奧地筋の買戾しに强含を示した

◇定期前場（銀建）
▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一一九	一一九	一一九	一一九
一月限	一一九五	一一九五	一一九〇	一一九五

出來高 五萬四千枚

▲豆油（低落）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
十二月限	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇

出來高 一千五百箱

▲高粱（强含）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三十車

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋込四〇七〇）	四一三〇	
出來高	六十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	一一九〇	一一九〇
出來高	一萬枚	
豆油	出來不申	
高粱（上物）	一八五〇	一八二〇
出來高	三車	
包米	二五八〇	二五八〇
出來高	一車	

◇定期喰合高（廿九日帳入）
豆粕生產高 三十日 一二、〇〇〇枚 五軒　卅一日 八、〇〇〇枚 四軒

品名	數量	前日對比
大豆	三三〇六車	△七車
高粱	七三五車	△八車
豆粕	四八一千枚	一二千枚
豆油	六三五百箱	一〇百箱

錢鈔 氣迷ひ人氣で 鈔票弱含み

海外情報は倫敦銀塊現物先物共同事、紐育銀塊八分の五高、孟買同事、米英クロス三仙四分の一高、米支爲替十三仙高、米日爲替二十五仙高、滙水百八圓から百九圓四分の一、滙申九七元五〇、滙烟九

市場電報（三十日）

銀塊及爲替
倫敦銀塊 一八片一六分七　同先物 一八片一分一
紐育銀塊 三五仙二分一　孟買銀塊 五六留比一六分七
スチール 四八弗八分一　アナコンダ 一五弗八分一
英米爲替 四弗七五仙八分一　米日爲替 二六弗二五仙　米支爲替 三〇弗七五仙

神戶日米 第一回 二八弗八分七　第二回 二八弗八分七　第三回 二八弗八分七

棉花 ●米棉 現物 [illegible]

●印棉 ベンコール 一三二留比　ブローチ 一七三留比　オムラ 一〇〇留比

大阪株式 / 東京株式 / 大阪期米 / 神戶期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 横濱生糸 / 印度麻袋

[illegible]

豆

けさ大豆は奧地筋及南支筋賣りに外商及邦商買も材料とならず軟調を辿つた▲豆粕も大豆安に押されて邦商買も利かず軟調を示し豆油は買氣薄に低落を呈し高粱は邦商奧地筋の買戾しに强含を辿つた▲輸出筋の買氣があつても新大豆の出廻りに悲觀人氣を呼び奧地筋が一齊に賣放つので相場は依然として落潮滔々▲現物大豆は日清一〇、三菱一〇、三井五、賣年五、油房三〇で六十車の手合、現粕は三菱四、瓜谷四、奧二で一萬枚の買物に過ぎず一方油房生產高は十月に迫つたのに一向に增加しない

銀

海外銀塊は倫敦同事紐育八分五高、米日爲替二十五仙高を入れ▲材料區々なるも當市は依然として爲替法の運用に對し樂悲交々の觀測行はれ不引立の商狀を呈した▲昨日橫山理財課長の條文解說でアウトラインだけは判つたが結局運用如何が問題であるので氣迷ひを免れない▲結局實施されてみなければ確然とは判らないことであるから當分マバラ筋は手を引き靜觀するが賢明であらう▲滿人取引人側では大連に見切りをつけ早くも青島進出を考へてゐる向もあるさうだ

株

大阪諸株はいづれも二圓搦みの低落東新も三圓方暴落して二圓臺の新安値に辷り▲當市も之につれて五品錢鈔は八九十錢安と低落しいづれも新安値となつた▲九月は期待された秋高相場も出ず低迷商狀を辿り月末掉尾において安値をみせたのであつた▲けふの引の氣味からみると東新はもつと惡るさうださて來月はどうか▲大體において九月は玉整理時代で終始したが貿易の好調などから十月は人氣の好轉をみるのではあるまいかと思はれる

◇定期前場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	二二四五	二二七五	二二二〇	

出來高 期近二百十一萬圓

◇現物前場（單位錢）

時	銀對金	銀對洋
九時	二二六五	二二二四〇
十時	二二八〇	二二三四〇
十一時	二二二〇	二二二六〇
十二時	二二七五	二二三七五

出來高（銀對金十七萬圓 銀對洋七萬四千圓）

株式 東新低落 五品軟調

北濱定期の前場寄は大株二十錢安、大新一圓五十錢安、鐘紡一圓八十錢安、鐘新一圓八十錢安、二十錢、四十錢方安と下押す、東京短期の東新は再び五圓臺を割つて四圓十錢と寄付き、更に二圓十錢へと二圓方の低落に大引、當市五品の定期も內地につれて軟弱に九十錢方安、延も弱く、錢鈔も九十錢方安と反落し、東新も二圓九十錢と東京軟調に連れて弱引

滿鐵株（保合）

▲東短前場 滿鐵新株 六十七圓十錢
▲大阪短期 滿鐵舊株 六十七圓七十錢

前場

◇定期（單位十錢）
◇延取引
◇雜取引
◇爲替及受渡日步

[illegible]

上海爲替情報

▲本日受渡休會

【上海三十日發】圓は銀塊賣物多く大連筋ボツ〳〵買ふも全く評價されて氣配强し、弗は中央銀行正金銀行良く賣りたる爲、投機筋の買も利かず三、四分三賣手にてびつたり、標金は當市に諸物價安を打消して安含みとは買物少きも突込み買なく安値高値保合

上海標金
寄値 七七五元
高値 七七六元六〇
安値 七七二元
止値 七七三元五〇

手形交換高（三十日）

[illegible]

爲替相場 / 鮮銀 / 錢鈔 / 奧地相場 / 各地特產發送高 / 大連埠頭到着高

[illegible]

商品

[illegible]

朝夕刊共十二頁
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 一部 金五錢 郵税 金十錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

廣田外交新作戰に陣後の聲援を懇望す
對米平和保障努力を誓ふ
外相きのふ藏相訪問

【東京三十日發國通】廣田外相は三十日午前九時半高橋藏相と重要會談を遂げ同十一時辭去した

【東京三十日發國通】廣田外相高橋藏相會談の内容は帝國の外交方針に關し鋭意研究の上聯盟脱退後に於ける對列國關係對支問題等に就き新生面を開く事に努力しつゝある點を説明し對支關係に就いては近く蔣支那公使の歸任を待つて兩國關係改善上に一進展を見んことを期待すると述べ更に對米關係に就いても此際之が改善を實現する必要ありよつて駐米大使以外に更に有力な使節を派遣し日米關係を緩和せんと考慮してをる次第であることを告げ外務省としては全力を擧げ對外關係改善に努めつゝあるを以て藏相に於てもこの點大に同情諒解を與へられたし從つて外務豫算に就いても多少增加すべきを以て之を容認されたいと述べ外相の平和國策の全貌を高橋藏相に告げたるに對し藏相も贊意を表したものである

藏相諒解

【東京三十日發國通】廣田外相は就任以來外交國策遂行のため其の抱懷する意見に就き齋藤首相を始め軍部側最高首腦部を個別的に訪問何れも長時間に亘る懇談を遂げつゝあつたが更に三十日別項のごとく閣僚中の長老たる高橋藏相を訪問一時間半餘に亘り現下の帝國外交國策遂行の完璧を期するため所信を披瀝し更に外務省の新規要求に就き説明し藏相の支持諒解を求めたが高橋藏相も新外相を大いに鞭撻激勵するところあつた

軍令部異動

【東京三十日發國通】海軍々令部條例改正に伴ふ軍令部異動は一日發令の豫定

元帥海軍大將大勲位 博恭王
補軍令部總長
海軍中將 高橋三吉
補軍令部次長
海軍少將 島田繁太郎
補軍令部第一部長
海軍少將 古賀峯一
補軍令部第二部長
海軍少將 津田靜枝
補軍令部第三部長
海軍大佐 前田政一
補軍令部第四部長

兩陛下還幸啓

【東京三十日發國通】葉山御用邸に御滯在あらせられた天皇、皇后兩陛下には今朝十一時三十五分東京驛御着、二ケ月半ぶりで天機並に御機嫌麗はしく兩陛下御揃で宮城に還御遊ばされた

政黨聯合に一歩前進
まづ選擧法共同調査を行へ
松田民政幹事長提議

【東京特電三十日發】二十九日衆議院各派の議會振肅委員會において民政黨の松田幹事長から選擧法改正の各派共同調査を提議し、各派委員もこれに贊成したことは政黨各派の間に漲る空氣を代表したものとして相當注目されてゐる、即ち從來政民各派の中には政黨の信用恢復と議會政治立て直し工作のため政黨共同國策調査會設置論が行はれたが、種々の關係から實現しなかつたが選擧法改正の共同調査はやがて政黨の聯合提携に一歩を踏み出す可能性を促進するものとして政界各方面から注目されてゐる

議會振肅委員會

【東京三十日發國通】衆議院議會振肅委員會は昨日午後二時から議長官舍で開會され秋田、植原正副議長、政友會島田、山口、民政黨頼母木、松田、國民同盟山道、清瀨第一控室安部の諸氏出席、選擧法改正事務局案の審議に入り松田氏は改正案の大綱即ち比例代表制か選擧公營を採用するか連坐規定の擴張、罰則規定の改正に就き各派一致案を作成して議會淨化を促進したいと提言し島田氏も主旨に贊成で各部會の承認を經て希望に副ふと述べ午後四時半散會した

商工省官吏 實業部入り

【東京三十日發國通】かねて滿洲國政府より有望な青年官吏の採用方を商工省に申出て來たが商工省では銓衡の結果商工事務官椎名悦三郎氏以下四名、商工技師伊藤慶二氏以下二名の六名を選び右六名は本日附依願免官となり滿洲國實業部官吏として近く赴任する事となつた

對日政策の轉向に反蔣派反對を叫ぶ
南京首腦部辭職說

【上海特電二十九日發】黄郛の北支對策を支持するに決した蔣介石、汪精衞、宋子文等首腦部は更に蔣作賓公使を日本に歸任せしめ、日本に對しても經濟的に働きかけ財政の行詰りを打開せんとする模樣であるが、これに對し國民黨内少壯氣鋭の黨員は對日抵抗を高唱せる蔣氏等が假令一時的にもせよ對日接近策をとるは國民を欺くものとし政府糾彈を叫んでゐる、又西南派を初め各地の反蔣派もこれに呼應せん氣配を示してゐるが、折角對日轉向を策した蔣氏らはその對策攻究中なるところ二十九日に突如蔣、汪、宋三氏の辭職說が傳へられた、これは蔣氏等が反對派を牽制しつゝ將來の責任回避よりする一策と消息通は見てゐる、いづれにしても慰留されるものと見らる

同體に落つ 三頭の相撲

【上海特電三十日發】汪精衞と蔣介石、宋子文等との暗鬪は遂に深刻化し汪は南京より上海に歸り要職全部を辭職することに決意したと傳へられてゐる、これに對し蔣介石、宋子文も財政破綻を口實として辭意を表明したとの報あり蔣介石、汪精衞の提携不調は軍費捻出米麥借款に絡まる策謀の結果であると見られてゐる

廣田外相に竢つ 對蘇關係の調整 (二)
新村龍二

二

以上は廣田外相の對外關係危機に對する廣田外相の判斷であるがこの判斷より外相の對外政策は生れて來る。外相は去る九月十八日滿洲事變二周年記念日に當り

現狀維持が國際間の最高の正義たる意味するやうに考へるのは形式論である、今日の現狀は昨日の現狀でなく又明日の現狀でもない、内容から云へば流轉するのが歴史の本質である

と聲明した。この歴史觀を今日の外交用語に翻譯すると現狀修正主義である。この現狀修正主義はヨーロッパにおいてはイタリーやドイツが提唱してヴエルサイユ條約改正要求となつてゐる。この意味において廣田外相の現狀修正主義は現狀維持を主張する國々に對蹠するやうに想はれる。だが今日は何れの國も現狀維持を以て今後その生活を繼續し得るとは思つてゐないのだ。今日は何れの國も或る諸問題に於ては現狀維持を固持し、他の諸問題においては現狀打破を主張してゐるのである。たゞその間の相違は何れの國がどれだけより多く現狀維持を要求し、また何れの國がどれだけより多く現狀修正を主張してゐるかといふだけなのだ

而も廣田外相の現狀修正主義は自ら快を叫ぶために日本の孤立化を謳歌するものとは類を異にしてゐる。外相はその點を明白にするために「流轉する歴史の内容をその形式と衝突せざるやうに調和して行くのが平和を愛好するものゝ資格である」となし「今日の問題は如何にして形式的ならざる眞實の國際主義と國家主義とを調和するかの問題である」といつてゐる

此處に外相の外交政策が窺はれるではないか。外相の離隔哲學は無鐵砲な空威張ではないのだ

ところで現狀修正論を提唱しつゝ「眞實の國際主義と國家主義とを如何にして調和する」かの問題を解決する任務を背負つて出た廣田外相は如何なる具體的對外政策を披瀝したか

外相は先づ「滿洲國の完全な建設を實現することが日本としては東洋平和の維持方法として最善の方法である」といふ確信から出發してゐる、而して他の諸國に對しては九月十六日外國新聞記者に對する就任挨拶のステートメントに於て

今や世界諸國の政治的經濟的相互關係は益々複雜化しつゝある我々があらゆる國々と最もよき關係を續けて行かねばならぬことはいふまでもないが、特別の注意を我々は直接の三大隣國との關係に就て拂はねばならぬ、それは即ち支那、ソウエート聯邦、アメリカである、イギリスとも經濟協定を結ばねばならぬ

と明言した。

支那、ソウエート聯邦、アメリカとの關係を特別重視せずして日本の外交政策はあり得ないといふ見解はこれまで多數の識者によつて承認されてゐたものであるが、かくの如く外務當局の最高責任者がこの事を明言したのは殆ど最初である。これはヨーロッパ第一主義、國際聯盟至上主義との絶縁である。日本人の頭には今や滿蒙大陸における日本の生命線であることと、南洋委任統治諸島が太平洋における日本の生命線であることは十二分に徹頭した。そして大陸における生命線はいふまでもなくソウエート聯邦と相接し、太平洋における生命線はアメリカの勢力と近接してゐる。だからこの兩生命線と直接に接觸するソウエート聯邦とアメリカとの關係が如何に重要視すべきものであるかは小學校の生徒にも明白である

ところが如何に贔屓目に見るもこの二大隣國との關係は決して好いとはいへない。好くないどころか、益々惡化するやうに見受けられる。アメリカは「堅勢を得た兩國(日米)の軍備は相互尊敬の念を維持するに役立つべく、若しこの均衡が破れる場合こそ、他の國がやゝもすれば侵略的野心を持して來るものである」(新聞王ハーストの言葉)として頻に海軍空軍々備を擴大して居り、その政府は日本のなした日米仲裁條約締結提議を廣田外相就任の後も依然「これは問題にならぬ」と木で鼻をくゝつたやうに取扱つて居り、日本のゴムグツや電球に對し高い防塞を張り廻らすことを聲明した

露臺に月は遲い
秋宵 話題は豐富だ
寛ぐ菱刈長官談片

二十九日太陽が大分西に傾きかけた頃關東長官々邸のヴエランダで和服に寛いだ菱刈長官は新聞記者團とテーブルを圍んで漫談を交した、以下長官との問答

長官●「君この頃は大連の何某博士の殺人事件で新聞は賑つてゐるれ、内地に逃げた二人はどうなつた」

と口火を切つて長官から逆に質問を受けた

記者●「只今高野山で情死しかけたところを逮捕されたと本紙の號外が出て居ります」

長官●「死ぬところを逮捕されたかだが情死しかけたところを捕へられたとは一寸おかしい、人間が死ぬと云ふ事はよく〳〵行き詰まつた時の事で、仲々死れるものでない、腹切つて死ぬ〳〵と云ふ人間にそれなら死ねと短刀を與へてやつても顏色が變るだけでやれるものぢやない、まあ今度捕へられたら又新聞も賑やかだな……」

と長官は話題を轉じ

長官●「この間米岡市長から學校增設とか外に二つ三つの問題を聞かされたが、君、學校なんかは日本にあり餘つてゐるよ關東州だつて日本の內だ餘り必要ないと思ふれ」

記者●「方振武の問題も解決したが大連會議の第二次的會議は何時になるか」

長官●「方振武にしろ何にしろ烏合の衆だよ、統制のないものに何が出來るか、あんなものは放つたらかして置いても大した事はない、大連會議の細目會議は近くやるが、こつちから出掛けて行つて便利なら誰か出掛けるし向ふから來た方がよい時は來て貰う事にしてゐる、これも成るべく早くやる豫定だ」

記者●「長官は三位一體と云ふ重責を負うて居られるが、非常な重責だから近く滿洲に於ける各機關の機構を改革して閣下の重責を少しでも輕くし健康その他の關係から旅順の方に長く滯在される樣になるとの話を聞きましたが」・

長官●「そんな事はない、三位一體と云つた所で重要な事をア…と聞いて居ればよいのだ、皆が皆一緒に動いて吳れるからやつて行けるのだよ、重責と云ふ程ではないれ……」(寫眞は菱刈長官)

空の尖兵
日本海横斷
壯圖・福岡大尉操縱
……二番機舞鶴を出發……

【羅津特電三十日發】今日は海軍の日本海横斷飛行の成功を祝するが如く昨今稀な絶好の飛行日和なるが相澤大尉の操縱する一番機は右舷發動機不工合の爲遺憾ながら本日の横斷を取止め一日の試驗飛行の結果、工合よければ一日午前七時舞鶴出發の豫定、福岡大尉の操縱する二番機は朝霧深きため豫定時刻より遲れ本日午前八時四十五分舞鶴を出發した

于學忠軍 天津に歸還

【東京三十日發國通】三十日陸軍省着情報に依れば保安隊の名に依り非武裝地區に侵入せしめた于學忠軍に對し支那側は我が軍の撤退要求の結果二十九日天津に歸還せしめた

北平公安局長 余晋和氏就任

【東京三十日發國通】三十日陸軍省着情報に依れば久しく問題となり一時は河北軍隊の動搖をも豫想せしめた北平公安局長問題も二十八日豫定の如く余晋和氏の正式就任を見るに至り一段落を告げた

日印條約問題 讓歩條件付 原狀回復

【東京特電三十日發】シムラ來電によれば三十日の日印會商に於て日本代表は日印通商條約の廢棄通告された四月十日以前の狀態復活にする事但し無條件復活でなく、日本側より綿布其他の數量統制を行ふ、綿布關税は現行七割五分より四月十日前の五割に引下ぐべしとの要求を提起したと

ハバナの騷擾 益々激化

【ハバナ二十九日發國通】ハバナ市中における共産黨の示威行列隊と政府軍の衝突は益々激化し銃聲はハバナ全市到るところに聞かれるに至つた、その結果多數の死傷者を出してゐるが、正確な數は未だ判明しない、米人ニュース映畫撮影者も衝突の實況撮影中狙撃された、今回の騷擾にはソウエートロシアから入り込んだ共産黨員が煽動を行つてゐる事實あり、本日は罷業團を煽動しハバナ市内の取引を停止させ砂糖工場を奪取する計畫を樹てたもので形勢なほ憂慮されてゐる

第十回論功行賞發表
滿洲事變犠牲九十八柱に對し

【東京三十日發國通】滿洲事變第十回論功行賞は卅日公表、主として滿洲にて名譽の戰死を遂げた九十八名に關するもので中九十五名は金鵄勳章を授與せられ特に偉功を樹てたる歩兵第四十聯隊村井瀨伍長に對しては拔群者として特殊賞を受け又騎兵第十八聯隊黑澤少尉は准士官として小隊長として勇戰特に功五級といふ破格の恩典である將校の分左の如し

歩兵第二十九聯隊 功四級勳四等旭日章 歩兵中佐 佐伯健雄(仙臺)
騎兵第十八聯隊 功五級勳四等旭日章 騎兵少佐 川崎長雄(兵庫)
騎兵第十八聯隊 功五級勳六等旭日章 騎兵大尉 片岡三男(岡山)
騎兵第十八聯隊 功五級勳六等旭日章 騎兵少尉 黑澤貞造(埼玉)
關東軍憲兵隊 功七級勳四等旭日章 憲兵軍曹 佐藤達吉(北海道)

五・一五事件 民間側公判 きのふ第三回

【東京三十日發國通】民間五・一五事件第三回公判は三十日午前九時十分開廷、橘孝三郎起ち「自分がこの計畫に進んで參加せんと決意するに至つた重大動機を申上ぐる」と前提し

嘗て古川が私を訪ねて來た時是案なる書を示されたが其の改造案なるものは社會的認識が全くゼロである斯、るものを聖典として國家改造をやられてはたまつたものでない依つて不肖乍ら自分が出て建設的指導に當らんと決意したものである

と述べ

王道國家の根本は徹底せる民本主義でありその一機關としては議會を認めるがそれは資本家地主の利益を代辯する現在の如き代議士でなくして大衆を代表するものでなければならぬ

と說き更に茨城縣の實情を例に引き地方政治の墮落と地方官吏の無力ぶりを述べ

要するに現在の政治が大地に足をつけてない事に一切の原因がある

と力說し少憩に入る

少憩後再開 少憩後十時四十五分再開、林正三腦貧血で退廷、橘は日本改造案の第二項經濟組織論に入り

個々の利益が全體の利益と衝突し血みどろの鬪ひをなさゞるを得ぬ資本主義的經濟組織の慘禍から人類を救ふのは協同組合運動に依る外はない、併し消費者のみでは唯の反面のみだから生産者側の協同組合組織を徹底的に行はねばならぬ

と力說十一時五十五分休憩

午後續行 午後一時三開、橘起ち教育論に入り「誤れる教育は其人と共に國家をも損傷する」として「愛國主義精神を涵養し共同生活に馴致する樣せねばならぬ」と說き起し現在の大學教育の技術のみに偏するを排し次いで共濟組織國防組織論に入り次いで思想發展の經過につき一通り語り

革命とは主權を改めるとの意であるから日本にはあり得ない言葉である

と革命の字義を說きマルクス主義の批判に入り少憩に入る

警察官異動
牧田(沙河口)署長遼陽へ

關東廳警務局中堅幹部の滿洲國及び鐵路總局進出に伴ふ異動は三十日左の如く一部を發表された

補遼陽警察署長 警部 牧田太猪藏
高等課警部 廣石郁磨
補沙河口警察署長 警部 平林三治
同 佐藤競治

依願免本官 衛生書記 川島常行
願により本職を免ず 本溪湖警部 吉川忠一
同 佐々木補夫
撫順警部 藤本愿
鞍山警部 坂井博延
本溪湖警部 北里房義
依願免本官 本溪湖警部補 田所輿竹
依願免本官 新京同 武市琦緖
同 黑瀨始
遼陽同 吉富重雄
營口同 松岡榮之助
瓦房店同 北喜吉
大連同 伊藤次郎
同 光松延
范家屯同 佐藤彌太郎
同 千葉誠
鐵嶺同 安本美喜三
同 中村智全
依願免本官 警部 清水徹
同 磯部濱治

書記生墨國へ

【東京三十日發國通】三十日在メキシコ堀公使よりの來電に依ればメキシコ國タンピコ市附近を襲つた大暴風雨洪水のため住民は住むに家なく飢餓に瀕し慘狀を極めて居るが同市には邦人約百名が居住し居るので公使館では直に邦人救濟のため食糧その他救濟資料を携帶せしめ二十九日飛行機に依つて伊勢川書記生を現地に派遣救濟に努めて居ると

滿電 社員會綱領

過般設立を見た滿電社員會は今回左の如く綱領を發表した、社員會は從來の社員倶樂部とは全然性質を異にした重役の後援機關である

●目標 電氣事業の本質と使命を闡明し個人主義理念を超克し眞誠平和の經濟的文化的厚生の基を開く

●認識 滿洲國建國は文化共同體たる亞細亞民族大同團結の歴史的必然にして電氣事業の公正なる統制經營こそ其の質的發展の第一歩なる事を確認す

●實踐 先覺的滿洲電氣事業者として其の責務の命ずるところに從ひ自戒以て研究琢磨之を推して外に及し滿洲電氣事業統制の完璧を期す

綿類輸出增 棉花輸入減

【東京三十日發國通】九月下旬十六港外國貿易概算は夕刊所報の如くなるが前年同期に比し輸出二百七十三萬六千を輸入七百二十六萬四千を增加、輸出入合計二千萬の增加となつた、而して一月以降入超額六千九百七十五萬四千圓、前年同期に比し四千四百八十五萬五千の入超減となつた、その內容は綿織物の輸出依然旺盛他方棉花の輸入數量は減少を示してゐる

開魯北方に匪賊

【奉天電話】二十九日開魯北方に匪首占中華の率ゆる約二百名の匪賊團が現れ急報により開魯政治隊より齋藤中尉の指揮する二小隊騎兵一小隊蒙古軍が出動し約四時間に亘つて激戰の末これを西方に潰走せしめた

辭令

【東京卅日發國通】
依願免本職 撫順高女教論 辻一

社説

滿洲自由企業の内容と意義

滿洲經濟開發の爲には、日滿を單一ブロックとして合理的に融合させ、平戰兩時に於ける兩國經濟の安固を圖り、併せて兩國經濟力の對外的擴充性を確立すべきである。此の方針の下に經濟統制がある。而して統制事業以外の産業、卽ち自由企業の範圍に屬するものとして都合二十一種の種目が擧げられた。其の中パルプ及製紙、セメント、紡績の三種は、比較的注意すべき企業として、現在並に將來の重要性を認めらるゝが、其他は産業上の視野に映ずる影が甚だ薄いやうである。

◇

統制下の企業が鐵、石炭等の重工業方面を包有し、又精密化學の部門に於ても國防工業の關係上概ね統制下に入るものが多く、又鑛業方面は全然統制されてゐる。隨つて自由企業として許された二十一種には水産物、畜産物、農林産の各取引を始め農畜産物の加工等々、特殊資源に依らざる所謂營業の部類に屬するものが多い。殊に各種取引は純然たる商賣であるから自ら別個の視點に立つべきものであらう。又品目により指示された製粉、醸造、食糧品製造、油脂等は、種類によりて示された農畜産物の加工に屬するものを主とし、別に新規なものはない。農産が大豆、高粱、粟、玉蜀黍、小麥を主とするから其の加工業も自ら限度があることは言ふ迄もない。

◇

試に之を點檢して見ると、製粉は小麥、玉蜀黍を原料とするし、醸造中の高粱酒は各地の燒鍋が、廣義の農産加工の部類に入る狀況であるし、陸稻（粳米）に依る紹興酒も同樣である。食料品製造に至りては、大豆や高粱を原料とする研究もあるが、又油脂は大豆の油房工業を主とし、動植物油に亙るもので、更に蒙古の羊の如く皮革業に類する畜産もある。故に農畜産物の加工は品別の製造工業の數種と略一致し、殘るは甜菜に依る製糖、煉瓦を主とする窯業と染色皮革、製藥及び機械工業といふことになる。而も甜菜製糖は尙研究の餘地があるし、窯業中の陶磁器類は名古屋地方の製品に一蹴されるから、唯皮革業が見込あるものとして擧げられるであらう。

◇

勿論上記のパルプ及び製紙とセメントと紡績とは、企業の餘地を存する重要なるものであるが、セメントは旣に各地に着手されてゐる。又パルプは無限と稱せらるゝ森林が開發さるゝと共に、製紙事業と聯關して有望視され、吉林方面では大分計畫が進んでゐるが、結局國有林の處置如何が問題の重心となるう。紡績は棉花さへ出來れば旣存機以上に發展性を有するが當面の紡績業は棉花よりも寧ろパルプに依る纖維紡績であらねばならぬ。内地の人絹工業が漸次棉毛纖方面に喰ひ入る動向は滿洲のパルプ事業に再認識を加へる必要があらう。

◇

之を要するに與へられたる二十一種中、數種の企業は頗る重要性を有し、これが自由企業に依る發達段階に入らば、金融資本の動員も行はれるであらう。

朝鮮鐵道北部諸線 愈よけふ移管
淸津で盛大なる擧式

滿鐵は十月一日より淸津以北の朝鮮鐵道卽ち輸城會寧間、淸津線、會寧炭礦線及び圖們線並にその附帶業務の移管を受け北鮮鐵道管理局を創設してこれが管理に當るが、この記念すべき移管式は一日午前中に淸津において滿鐵よりは村上理事、鮮鐵よりは吉田局長ら關係朝野名士の參列の下に盛大に擧行されるなほ當日式場において村上理事が代讀する林總裁の訓諭は左のごとくである

總裁訓諭

今回當社は朝鮮總督の委託を受け朝鮮國有鐵道咸鏡線中輸城會寧間、淸津線、會寧炭礦線及圖們線竝其の附帶業務の經營に當ることとなり北鮮鐵道管理局を淸津に設置し本日を以て其の業務を開始す

惟ふに本鐵道は嚮に會社が其の經營を受託せる滿洲國國有鐵道京圖線に接續し相互の關係極めて密接にして離るべからざるものあり、會社が本鐵道の受託を受くるに至れる所以も亦實に茲に存するものとす加之本鐵道は日滿を連絡する大交通幹線の一部を占め江湖の本鐵道に期待する所亦甚だ切實なるものあり會社創業以來年を經ること二十有七其の間社員諸子の不斷の努力に依り社運年と共に進み能く今日の隆盛を致したりと雖も會社の使命は愈々重く社業益々多事ならむとす而して又本日を以て新に千三百有餘の優秀なる社員を迎へたり冀くは全社員諸子深く思ひを茲に致し協心戮力、刻下非常の際更に一層奮勵以て其の使命を完うせられむことを

昭和八年十月一日　總裁

北寧沿線の邦人激增

【天津二十九日發國通】灤東熄以來北寧沿線への邦人進出を追うて目覺しいものあり、…

	昭和六年末	本年八月末
天津	六、六八六	六、八…
塘沽	八七	…
唐山	一五	…
山海關	一三〇	…
秦皇島	一一	…
北戴河	一	…
昌黎	二三	…
灤州	一六	…
合計	六、九七二	八、…

北鮮鐵移管 意義重要
移管調印後 宇垣總督談

【京城三十日發國通】北鮮鐵道…

鞍山 地委選擧戰
開票前夜の白熱狀態

【鞍山電話】雨か風か鞍山區第六回地方委員及び豫備員選擧は過去十餘日に亘つた逐鹿戰の幕も閉ぢられて一日午前八時から午後四時半まで滿鐵館に於て森地方事務所長議長となり四時より開票を行ふこととなつた

立候補者は長井、星原、久米、見戸、古江、淺輪の製鋼所側六氏（滿鐵）上田（市中）野毛、井下、（滿人側）長田の十名にて定員と同數なりしも三十日に至り豫て準備中の池尻大塚兩氏が俄然運動を開始するに及んで三十日は最後の一戰とて各候補者運動員一齊に戸別訪問猛烈なる叩頭戰が行はれたので當落再び逆睹しがたくなりしも大體立候補を聲明せるものは當選すべく見られてゐる尙有權者は事故失格六十五名を出した爲め千二百六十五名となつた

赤の魔手 盛んに活躍
滿洲國内に潛入

【チチハル二十九日發國通】確なる筋への情報に依れば蘇聯の第二期五ケ年計畫の進捗につれ滿洲國内の匪賊に武器或は資金を供給又は北滿從業員中の共産黨員の總動員を以て滿洲國攪亂の魔手を伸ばしつゝあるが一方ザバイカル方面にて對日滿の目標に不逞鮮人支那人を以てパルチザンを組織し各方面に多大の策動を與へて居る、卽ち該パルチザンは五十名乃至五百名を以つて一隊とし共産黨政治學校卒業生二十九名宛を配置之れを指導せしめ西部では三河方面、東部では八道河子を經て森林地帶に…

承認一周年を迎へて
建設され行く滿洲國 (14)

軍政部の沿革 (二)
軍政部總長 張景惠

國内治安の維持

新京地方の治安を擔任するは首都警備司令部憲兵隊禁衞軍團及び新京警備獨立騎兵旅等である、各省縣の治安を擔當するは各省警備司令官及び各地區司令、各軍隊である、人民群居の地を肅淸し地方治安を維持するは先づ滿洲委員會の設けあり、最近治安委員會の成立するあり、日滿軍憲警備は徹底的相通連絡を遂げ地方治安の維持に對して全責を帶び全力を盡して以て生民の保護に任ずる事實し斯くの如くで、自今相當の時期を假すれば自から良好の成績を擧げ得べきは必然である

軍事教育機關

建國當初にありては中央陸軍訓練處の設備あり、最近に至りて奉天、吉林、黑龍江三省に陸軍教導隊の成立を見専ら幹部人材の養成を企圖し、之が卒業後は各部隊に配屬して初級軍官に任命し、以て軍事教育の根本的改善刷新を計り優良精鋭なる强兵を養ひ以てその撃明を東亞に輝かしめ、延いてはこれを全世界に紹成せんとしてゐる、これ實に我滿洲國家の光輝たるのみならず亦以て我三千萬同胞の榮譽たりといふべきである

郷土肅淸の成績

建國當初國内治安の急速なる恢復を圖らんとしてその應急對策を研究し進行の方途を考究せんが爲…

宣傳狀態の成績

淸酒品評會 褒賞授與式

大連市民射擊會の回顧

金組聯合會 理事長新任
近藤義一氏

ヒイキ生氏へ
連鎖街事務所

電話料の督促

新管理局規程

機械貿易博覽會

菱刈長官過奉

『電氣の歌』募集

材料薄乍ら 鈔票强含み

利喰買物に 大豆强保合

卓上日誌

▲けふの運動會　大連朝日小學校（九時）春日小學校（八時三十分）南山麓小學校（九時）嶺前小學校（八時）下藤小學校（九時）聖德小學校（九時）
▲伏見臺兒童圖書館　二十八日から十月四日まで曝書のため休館

兒玉博士夫人を繞る舞臺に躍る人々・批判（C）

家庭生活に對して眞劍さがない　わたし達には想像も出來ぬ

滿鐵々道部タイピスト　中原勝子さん

「そうした話はどこか關のある奥さんにお聞きになると好いわ」これが中原さんが記者に放つた第一聲である。

別に階級意識を強くして言ふわけではありませんが私たちには想像の出來ないことでプールの人もみんな唖きれ返つてゐるだけですだから感想など特別に話したくはありません。

記者「然し今度の新聞の記事は誰でも讀んで……」

いゝえ、かう云ふと貴方になんですが私は今度の事件に對する新聞の扱ひ方は餘りに表面的ではないかと思ふのです、だから見た瞬間嫌だと思ふ感情が先に立つて拾ひ讀みをしたにすぎません、それは本當です。

記者「然しそれにしても感想がないといふことは」

えゝ、だけど私はまだ結婚生活の經驗がありませんから夫婦の感情といふものが全然解りません、また私にその經驗があるとしても兒玉博士夫婦には夫婦としてだけの他人には解らない深刻な感情があつたでせうし、そうしたことは到底私には解る筈がないのですから

それを批評しろとか感想を述べろとかいはれるのは貴方が無理でせう、それに新聞の記事を基にすることは餘計嫌です。

記者「勿論僕も貴女にそこまで突込んで批評してくれと言ふのではありません、然しかうした事實があることは明らかなことですからそれを第三者的立場から一つの社會問題として見た場合の感想が……」

困つたわれ、だけどこの兒玉博士の家庭悲劇は偶然殺人といふ刑事問題を引起したからこそ新聞でも騒がれてゐるのでせうが、世の中にはこれに比較にならない、もつと〳〵深刻な家庭悲劇が澤山繰返されてゐるのではないでせうか。

記者「どうも僕が押され氣味ですがとに角この問題にしても決して輕視出來るものでは……」

えゝ、そりや勿論です、ぢや生意氣なやうですが……私は結局家庭生活に對する兒玉博士御夫婦の態度が眞劍でなかつた點に總ての原因があると思ひます、奥さんは享樂的な方のやうですし、博士もそりや醫學者としては世界的權威者であつたでせうけれどそれだからと言つて家庭生活を無視して好い筈はありません、研究に專念されるとすれば家庭をお持ちになることが間違つてゐると思ひます、かうしたことを考へると博士も家庭生活を無雜作に考へて却つて博士自身が享樂的な女性をお求めになつたのではないでせうか。あれで子供さんでもあれば……ね。

記者「僕たちは結局勝美夫人は兒玉博士の肩書に結婚されたのだと言つてゐますが」

だから奥さんも不眞面目だと私は言ひたいのです、とに角私たちには今度の問題は想像もつきませんもうこれだけ言へば好いでせう

この問答完全に記者の敗北であつたことを告白する、なほ中原勝子さん（二三）は神明高女を卒業後直ちに滿鐵に入社し現在鐵道部のタイピストプールに勤務され、社員會評議員に選出された經驗もお持ちの方で性格のしつかりしたことが何處からも窺はれる靜かな女性である（寫眞は中原勝子さん）

夫人に同情　遼東ホテルの梶田さん語る

兒玉勝美夫人と母校を同じくする後輩の梶田ますみさんを遼東ホテルにお訪れしました。

此の度の事件の中心人物兒玉勝美夫人と母校を同じうする後輩としての感想をと云はれるのですか、じつと眼を閉ぢれば黒つぽい海老茶の袴をキチンと穿いたあの方の靜かに澄んだプロフイルが想ひ出されます、今度のことは結末がかうした悲劇に具體化されて表面に表れただけのことで、これに似た幾多の精神的悲劇のあることを思ふ時胸の痛む思ひがします、そして已れの素行は顧みず表面に現はれた一人の人の弱點、缺點を面白がつて騒ぐと云ふことはあさましいことではないのでせうか、勿論私は夫人の行爲を是認すると云ふ樣な亂暴な考へ方はしません、しかし夫人程の教養ある一個の人格を、いはゞ貰つて來たオモチヤかなんぞの樣にそのまゝ家にほつぽり出して何等人格的交渉を持たなかつたと云ふ點に、博士御自身の告白にある通り夫人を此の度の過ちに導いた大きな動機があることは見逃せません、後輩として先輩に何處までも同情を持つた思ひのみ述べました、他の半面はあまりに他の人達が述べていらつしやることですから私は申しますまい

酒がさせる兇行　飲まれないやうに注意すべし

大連署司法庄司刑事談

女の犯罪は月經時に多く、男の犯罪はお酒を飲んだ時に多い、人間は誰でも相當に理性や意志を持つてゐますから平靜な時には滅多に間違つた事をやりませんが、婦人は月經時になるとひどく感傷的になり、意志の力がほとんど働かなくなり正邪善惡に對する判斷もにぶくなつて感情の動くまゝについフラ〳〵と萬引をしたりとんでもない間違ひをしたりするのです、男にしても平生は自分の立場を顧慮し世間の道德に照して事を行つてゐても、たま〳〵酒をのんだりするとつい氣が大きくなつて不斷はごく内氣な小心なものも生れ變つたやうに亂暴をしたり大それた事を平氣でやつてのけたりするのです、殺人や强盜など兇暴な犯行を計畫してゐるものが、兇行前にわざと酒をあふるのも、酒の力によつて兇暴性をよび起し内にひそんでゐる理性や良心をねむらさうとするので、どんな兇暴な人間でもなか〳〵しらふのまゝでは思ひ切つて事がやれないらしいのです

酒をのんだ爲に惡い事をするのと酒の力によつて惡事を敢てしようとするのは全然立場が違ひますが何れにしても酒が人間の理性を痺れさせ氣を大きく粗暴に（時には兇暴に）することは事實です、ですから酒を飲む人は恰度月經時にある婦人と同じやうに餘程自重して酒にのまれて自分を忘れぬやう又さういふ惡癖のある人に對しては周圍の者も餘程心してやる事が必要です

製帽講習會　彌生會の試み

大連彌生高女校の同窓生より成る彌生會では製帽の權威者ア・ラ・モード帽子店の平塚美代子女史を招き三十日の土曜から毎土曜日午前十時より午後三時まで講習會を開催することになり帽子の家庭クリーニングから手入れ法、織物利用の製帽法、夏、冬布を利用した合帽、フエルト製帽と各種の帽子製作が順次に講習される筈で彌生會では彌生會員に限らず一般婦人の希望者の講習を歡迎する由

月謝二圓、當日は裁鋏、長針、カタン糸、二十番の白黑、六、七十番の白黑、吋卷尺、ブラシ固い木綿一尺四五寸のもの、天竺木綿一尺位のもの、サンドペーパの用意が必要です

家庭顧問

頭髮が少くて困つてゐます

【問】小生事二十三歳の男子です、生來頭髮少なく殊に額の生え際薄く甚だしき出島になつてゐるので、今まで種々の塗藥を使用いたしましたが効果なく惱んでゐます、他に良い方法がありましたら御願いいたします（一青年）

梅毒の有無を檢査なさい

【答】恐らく先天的のものと思ひますが良法はありません、唯梅毒の有無を檢査し有毒であれば驅梅法を行へば生えて來ます（辻坂太郎）

來るべき大問題　女學生の眞劍な叫び

全部が夫人の責任です

大連彌生高女五年生……B……

今度の問題は直接私達に關係はないが將來直に來るべき大問題ですから、斯樣な問題に遭つた時の私達の立場から事務的にこれを批判してみませう

一、學者肌の兒玉博士は或る意味においては人間の不具者であり人情味に乏しい人であつたかも知れぬ、併し世の學者なる者が皆な斯樣な人だつたら學者の妻は必ずこの樣な事件を惹起する事になるが學者は學者としての生命を何處までも持續して行ける樣に妻たる者が常に内助の心掛けを忘れてはいけないと思ふ

一、夫婦の趣味が餘りにもかけ離れてゐる

一、博士の行爲全部に對し勝美夫人が全責任を背負つても良いのではないか

二、青柳は男子として餘りにも弱過ぎる

二、博士が夫人と青柳の關係を知つた時何故訴へ出て正しく裁いて貰はなかつたか、博士は常識がなさ過ぎる

子供があれば

大連技藝女學校生徒　尾崎道子

兒玉博士の事件に接しまして私達は深く深く家庭といふ物について考へさせられました。

一體家庭といふものはどういふ風にしたら平和な家庭になれますでせうか？兒玉博士の樣に研究に沒頭し少しも家庭を顧みずして世間のことも知らず、たゞ研究に〳〵と一心になつて居る博士の家庭――實に潤ひのない家庭に居住して居る奥樣に對して私は同情せずにはなられません。

でも奥樣に對しても夫が研究家であれば自分も夫の職に身を傾け夫と共にその事業に手傳ひをするかもしくは奥樣は慈善事業の爲めに自分の身を使ふか、或は信仰を以て一家を明るくするか、奥樣は奥樣としての務めをつくす事も必要だと思ひます、まして七ケ月にもなる子供を持ち乍らそれをおろすなんて奥樣の心掛も惡いと思ひます。

子供があれば家庭も自然と明るくなります。子供をおろすなんて第一家庭の不和の基を作つて居る樣な氣も致します。博士も研究に沒頭するのもいゝのですが、いま少し家庭を顧み、世間といふものを知つた方がよいと思ひます。私達の第一の考へとしてはまづ結婚したならば家庭を平和にする事が必要だと思ひます。

餘りに力弱い

大連技藝女學校生　中西てる子

兒玉博士家の殺人事件――かうした事件は何處の世界にも都會にもある事ですが、唯それが兒玉博士家のやうに結果として表れないだけのことです。

家庭を娛樂場と思ひ主人をお友達として街に行かう、活動を見に連れて行つてくれないからと云ふ心では斯うした殺人事件も起り、結婚解消も起る樣になるでせう、兒玉家問題渦中の人々の力弱い心を悲しみます。

◇

ラヂオ RADIO

大連 JQAK　十月一日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード（ポリドール）
▲午前十一時五十分　講演（新京より）溥儀執政の御日常に就て　執政府諮議中島比多吉
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時　ニュース
▲午後六時三十分　滿洲電氣記念の夕（一）講演「滿洲の電氣事業とサイクル統制に就て」滿鐵審査役岡村金藏（二）合唱「電氣禮讃の歌」大連高等音樂學院生徒有志、伴奏村岡樂童（三）物語「或る電氣人の思ひ出話」滿洲電氣協會（四）俚謠「電氣禮讃俚謠」一、串本節　二、安來節　三、都々逸　四、鴨綠江節　五、館山　六、草津節（大連檢番）唄歌六、三味線松石衛門（五）三曲「一夜々の星」箏富森大檢校、三絃竹内愛子、尺八小笠原米山、同梶原娥山（六）尺八都山流本曲「寒月」小笠原米山　梶原娥山
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK　十月一日

▲午後六時三十分講演（未定）▲午後七時「獨唱」矢追婦美子、ピアノ伴奏上田仁（一）つばめ（林柳波作詞、藤井清水作曲）（二）母のこゑ（大木篤夫作詞、山田耕作作曲）（三）雨の浮島（林柳波作詞、藤井清水作曲）（四）雁が啼きます（北原白秋作詞、藤井清水作曲）（五）うら島（北原白秋作詞、藤井清水作曲）（六）泣きさまほしさに（北原白秋作詞、藤井清水作曲）（七）沖の小島の（北原白秋作詞、藤井清水作曲）（八）忘れた花（北原白秋作詞、藤井清水作曲）（九）おばこ節（關屋敏子作曲）（一〇）富士山見たら（久保田宵二作詞、橋本國彦作曲）（十一）垣の壞れ（北原白秋作詞、橋本國彦作曲）▲ラヂオドラマ「ホケン、ホケン、ホケン」瀬戸英一作、第一景お濠端。第二景銀座。第三景カフエー。第四景下宿の主婦の居間。第五景丙見君の居間。第六景結婚式。第七景新家庭。配役（發聲順）解說（日守新一）會社員甲田君（小林十九二）同乙部君（結城一郎）同丙見君（竹内良一）同丁野君（齋藤達雄）女給松枝（村瀬幸子）同燕子（富士龍子）同お梅（岡田嘉子）同さくら（吉川滿子）同あやめ（若水絹子）下宿の主婦（川田芳子）下宿の主婦（若水絹子）新妻A子（水久保澄子）他群衆及客大勢。演出瀬戸英一

本社特選　新棋戰（其一）

平手　先六段△石井秀吉　六段▲石原勇吉

【圖は三二金迄の局面】△石井氏持駒ナシ

△七六歩　▲三四歩
△二六歩　▲八四歩
△二五歩　▲八五歩
△七八金　▲三二金
△二四歩　▲同歩
△同飛　▲八六歩
△同歩　▲同飛
△八七歩　▲八二飛
△二六飛　▲二三歩
△四八銀　▲六二銀

累計二十手

土居八段講評

石原君の八六歩は差支ない手ではあるが、敵に橫歩を取らるゝと些か紛れを生ずるから、直ちに二三歩、二六飛と退かせ、八六歩、同歩、同飛と指すが本筋である。

萩原七段解說

石井氏の七六歩より以下七八金、三二金は所謂相懸り戰の趨向である、石井氏が七八金で直ちに二四歩と突くと同歩、同飛の時八八角と交換されて三三角と打たれる變化があるので七八金と上つたのである、石原氏の八六歩は一旦二三歩と打つて敵が二六飛、その時八六歩と指す方が紛れが少ない、石井氏の八七歩は三四飛と橫歩を取る趨向もあるが、敵に八八角と交換されて同銀、その時二八歩と打たれ同銀四五角と打たれ、その時七七角と指すのも相當面白いが穩かに先手の德を發揮する意味で八七歩と打つて次に二六飛と引いたのである

第廿九回　滿日特選碁戰

先々先先番　四段　中川新　三段　渡邊英夫

―【3】―

○三六チの十五　●三七ホの十二
○三八トの十三　●三九への十二
○四十トの十二　●四一トの十一
○四二への十一　●四三ニの十一
○四四ニの十　●四五ハの十一
○四六ニの八　●四七リの十六
○四八リの十三　●四九トの十八
○五〇ホの十七　●五一ハの七
○五二リの十　●五三チの十一
○五四ヌの十六　●五五リの十五

感想　白曰く　四十で四十七に打つのもあつたやうですが味が惡いので打ち切れませんでした　黒曰く　四十一はかうハネるの一手でせう、次いで四十五まで相當の地を持つて生きて居るのが大きいやうです　白曰く　四十六でも四十七と打ち黒五十三白四十八と打つて先づ實利を收め、十以下の白は必死に凌ぐ方がよかつたかも知れません、五十二は疑問ですが、他に名案も浮びませんでした

解說　白四十で四十七ならば、次いで黒(い)白(ろ)黒四十の棋形を辿る事にならう、これは下邊の黒四子が味殘り丈けに黒が惡いとも云ひ切れない　黒四十一とハネ、白四十二と切られるは覺悟の前、以下四十五迄となつて十目許りの地を持つて生きて居る所が黒の自慢なので、同時に四十一がよい切りなので黒が面白い　白五十二が善惡不明の手で、要するに黒五十三と打たせて五十四と押す調子を得る爲めの手段である

滿日各地版

鞍山附近一帶で雲母、鉛鑛發見

實業廳へ採掘權申請

【鞍山】發かれんとする遼陽縣下の大寶庫──鑛物を豐富に藏してゐる鞍山附近一帶には昔から鉛鑛や雲母、砂金等が又多量に藏されてゐると傳へられ從つてこの附近一帶湯崗子の溫泉に見る如き鑛泉が處々に湧出してゐるとも傳へられてゐたが、最近の調査により右は單なる傳說や噂にあらずして儼然たる事實なること漸次明白となり早くも各方面の事業家利權屋が飛び込んで寶庫開發の具體化を急ぎつゝあり、就中雲母採取に就ては當地某氏目下滿洲國實業廳へ採取權認可申請中であり近く認可を見る運びとなつて居り、一方大寶本家三井の食指も大いに動き過日來詳細調査中であると傳へられてゐる程の優秀なるもので、又鉛鑛脈は製鐵所櫻桃園採鑛所員某氏が本月二十日頃實地踏査してその豐富なる鑛脈を發見製鋼所に於て原鑛分析の結果含有量六十%夾雜物少き富鑛なることまで判明して居り、而してこれ等雲母、鉛鑛脈は何れも當地東方乃至東南、東北方等數邦里なる遼陽縣下一帶に亘り豐富に散在せるもので早く舊政權時代より支那人間に傳へられ再三採取計畫を樹てられたが、該地方は滿洲でも有名な千山馬賊の橫行地域として今まで手の下しやうがなかつたもので、現在に於ても尚匪賊の脅威は免れず假りに採取權を得るも直に作業を開始するわけにはゆかぬが、やがて匪賊平定ともなればこれ等の寶庫一齊に開かるべく、かくなる曉昭和製鋼所に次いで鞍山一帶に於ける鑛山業の發展はまさに目覺しきものがあらうと

支那人の暴行

少女を山深く連れ行き

【旅順】二十七日午前十時過ぎ水師營西北街七一劉懷思の二女劉秋宏(一〇)は友達である附近の遼明楠了頭(一三)と共に水師營南方の山野を歩行中通り懸つた三澗堡西窪子屯鐵工職董長顯(三〇)が「棗の木のある處を教へてやらう……」と連れ山深く連行き人影なきを幸ひ同行の遼明楠(一三)を押へつけ逃走を防ぎ劉秋宏(一〇)を押倒し獸慾を遂げたのが發覺し二十八日劉の實父が告訴に及んだので吉田司法係は現場調査を行ひ取調べの上起訴した

愈々無風帶か

安東の地委戰、蓋を開けたら定員に一名不足

【安東】地方委員選擧はいよ〳〵一日公會堂で執行されるが、一時亂戰を豫想されたに拘らず二十八日現在では

內地人は大津岐、瀨之口藤太郎、中島三代彥、金井佐次、山縣寅吉、伊藤勘三、藤平泰一、秋元民、中川憲義、橫畑幾久の十氏

鮮人は金虎贊氏一名、滿人側は孫玉寶、史質堂、馬占熊の三氏

都合十五名が立候補し定員十六名に對し一名の不足といふ無風帶を現出するに至つた、これは近藤松五郎、小島剛一氏等が立候補を取消したのと鮮滿人側で出馬の意思はあるも形勢を觀望してゐる者が可なりあるためであつて、いよ〳〵選擧間際になつてから乘出す者あるべく興味は選擧直前の突風的立候補にかゝつてゐるやうである

奉天出廻大豆 豐作で續落

【奉天】奉天市場への新豆の出廻りは昨今一日平均四車位であるが本年は豐作のため今後大量の出廻りを豫想され、相場も續落、二十九日の出來値は支那枡一石九圓三十錢で、前日より四十錢下落し最初の出廻り相場に比べると約一圓五、六十錢方の暴落である、然し當市場への出廻り品は概れ品質不良で蟲豆が多いとのことである

討匪行戰死者の納骨式擧行

【安東】八、九兩月に亙る獨立守備第〇〇隊の三角地帶討匪戰の戰死者牛丸軍曹等十一氏の遺骨祀は安東納祠に祀られることゝなり廿八日午後三時半鎭江山納骨祠において嚴肅なる納骨式が執行された

四人組の匪賊逮捕

【鐵嶺】過般來鐵嶺守備隊の密偵なりと稱して縣下各地に出沒して良民を脅迫し不正を行ふ四人組の滿洲人あり、守備隊でも軍の威信に關する問題なので鋭意搜査中のところ二十八日歸順匪首董品三が城內に於いて犯人の潛伏せるを探知し滿洲側警察の協力によつて三名を逮捕し目下取調中なるが、首謀者たる萬某は元守備隊に雇はれてゐた者で巧に蹤跡を晦ましてゐるが、數日中に逮捕の見込みである

鞍山に高女創設

愈よ明春開校に決定

【鞍山】豫て計畫中であつた當地の高等女學校開設問題はその後地方事務所當局の努力によりいよ〳〵具體的決定を見るに至り明春より開校の由傳へられてゐるが、最近仄聞せる處によれば滿鐵當局に於ても昭和製鋼所の設立に伴ふ大鞍山の將來に鑑みて斷然その必要を認め明九年度豫算を以て直に校舍建築の工事に着手することゝし、既に地方事務所に於ては再三に亙り校舍敷地に關し地元及び本社當局と折衝したる結果最後案たりし淺間通に二分されてゐる北七條通敷島町の一角約一萬二千坪をその敷地に決定し目下本社において工事設計教職員人選等の準備中の由であるが、差當り明春の開校に當つては目下竣工中の大宮小學校を假校舍とし一年生二學級を收容の豫定であると

鐵路總局、國線の對外宣傳に乘出

目下案內書を編纂中

【奉天】總局では國有鐵路の充實と共に沿線の治安も漸次確保されて行くので對外的宣傳をなす爲め編纂する事となつて目下準備中であるがこれは各沿線の名所古蹟を寫眞に入れ懇切に說明を附したものである、目下寫眞を撮影中で本年內には完成を見る筈で來年三月迄には發行の見込である

輸送規定完備へ邁進する鐵路總局

十一月初め頃發表豫定

【奉天】鐵路總局では舊政權時代には完全なる輸送規程がなく不統一の狀態で、其間從業員に不正事件がしば〳〵行はれ貨物輸送の運送が左右される有樣であつたが、斷然この弊風を一掃するに努めると共に輸送規程を作成し十一月初め頃發表の見込で來年早々よりこれを實施する意向である、同規定の重要なるものは從來輸送貨物の紛失損傷に對しては鐵道が責任を負つて居なかつたが、改正案では負ふ事になり全線統一の貨物引換證を發行する外貿易の伸展をはかるため代金引換輸送を行ひ荷主の希望により着驛の變更に應ずる筈であるが、其の爲には滿人從業員の訓練を要するので之が準備を進めつゝある

奉天の拳銃強盜團 奉天署の手に逮捕された附屬地內外を荒し廻つた拳銃強盜團の一味

地委逐鹿界

けふ各地一齊に投票

奉天 奉天地方委員の選擧はいよ〳〵十一月一日に擧行されるが二十九日現在で定員二十名に對して立候補者二十二名で猛烈な競爭は見られないが、只候補者の心配する點は棄權で、本年は例年に比し有權者五千三百三十一名の中失權者は八百九十七名、即ち一割六分餘で多いとはいへないが恐らく棄權者が多數に上るのではないかといふ事で、これがため自動車や人力車で有權者の狩出しを試みんとして居る運動員さへある狀態である

瓦房店 餘す處二日に迫つた今日地方側では相談した樣に候補者に立つものが一人もない、恐く有史以來の珍現象を現出した、地方側は一般に日和見の狀態で誰かゞ出る位な處で人任せ主義である然し全然色氣がない譯ではないが自發的には誰れだと謙遜に振る連中計り、さりとて俺が一ツ力瘤を入れてやるから誰出ぜよと出馬を促すものも一人もない、斯くては瓦房店の市政に一大支障を來すのみか滿鐵に對しても申譯なしと見て取つた森田東區長は緊急市民大會を二十七日午後七時市民俱樂部に招集し日滿關係の重大事に鑑み最適任者を三名選出方希望を述べたるに滿場一致候補者を推選する事に可決、即時無記名投票したるに白土彌次郎、大津興作、松尾新道の三氏(同點)最高點で選ばれ常盤町內では白土、南部町內では大津興作、西巴では松尾新道の三氏が出馬する事になつたが白土氏は市民が勝手に當選さしたのだから俺が出る義務はないとポンと蹴つたので折角人物本位に選びしたのも水の泡根本的に覆へされ南部町內も西區町內も共に歩調を合して解消した、滿鐵側では機關區相澤庶務主任、驛山崎助役、保線伊藤助役、病院丸目事務長各々轡を並べて出馬し一齊に火蓋を切つたが、內輪で石よりも堅い結束を固め、更に地方側地盤に手を伸ばし驛入會、町內會、校友會その他の團體勤務先取引關係に手を廻し緣故を辿り攻防必死の秘策を廻らし「淸き一票を賴みます」と驅を進めて陣頭に乘り出し拜み倒して爭奪の序幕戰に入り戰雲漸く動き始めてゐるが今の處病院事務長丸目保氏が最高點で當選する噂が高い森田東區長は語る

十月一日愈々選擧です日滿關係の重大に鑑み識見人格の優秀實力本意人物本意で實際に市の爲に働いて下さる人を選出し市政の進步を圖りたい、有權者は一切の情實を避け責任政治に目醒め立憲政治國を尊重し棄權者のない樣に心がけて貰ひたい

開原 開原地方委員選擧は各員自重靜觀主義を執つて居たが期迫るに隨つて出否の旗色鮮明し二十五日佐竹氏は市中有志を驛食堂に招じ委員たりし過去十二ケ年間の指導と援助を感謝し次回は辭退すべく聲明し二十六日藤井、上郡山、崔王の諸氏名乘をあげ驛長矢口氏亦出馬を謝し鮮人有力者一名の候補決定したと、開原八名の定員は全部出揃つた譯である、佐竹氏は多數有志數次の勸說を受けつゝあるも初念を翻へさず氏の不在中理想選擧を爲さん計畫あるを聞きその推薦者に對し二十八日電報を以て固辭したと傳ふ

鐵嶺 選擧史上空前といはれる今年の地方委員選擧は想像以上の淋しさで定員八名に名乘りを擧げた候補僅かに五名、投票前から三名の缺員であるが、この三名には名乘りこそ擧げざれ現委員の下山、橋本、末廣三氏が當然推されるであらうと豫想されてゐるので漸く定員に達するといふ有樣である、滿鐵側候補の小平、小野、小森、平田氏等も最初は華々しく名乘りを擧げ猛烈な文書戰を開始したが市中側候補の鳴をひそめて動かぬ爲め張合拔けがして全くの無風狀態、今は誰が最高を獲得するかといふ點にのみ興味が注がれてゐるに過ぎない、投票前斯の如き狀態なるを以て有權者にも熱がなく而も今日は日曜日であり棄權者も相當多數に上るであらうと觀られてゐる、而して選擧も愈々一日午前八時より演藝館において投票が開始せられ午後四時締切り午後五時頃から開票の豫定であるが、選擧立會人には大塚良治氏河村常次郎氏が委囑された

故河合上等兵の慰靈祭

【鞍山】匪賊長勝の討伐に當り名譽の戰死を遂げた鞍山守備隊故河合松上等兵の慰靈祭は二十九日午後一時半から同隊伊藤大尉委員長となり秋風蕭々たる守備隊練兵場頭において執行された、正面故勇士の遺骨兩側には軍司令官、守備隊司令官、滿鐵總裁を初め在鞍諸有志より贈られたる供物、花環弔旗などところせまき迄に供へられ定刻神官僧侶並に羽山隊長以下戰友在鞍各機關代表、學生、在鄕軍人、青年團員一般市民一同着席を終れば先づ神式にて修祓、献饌、祝詞奏上、次いで導師引導讀經に移り第六大隊長代理羽山少佐並に市民代表として時局委員長、奉地方事務所長の弔辭あり、弔電披露の後神官玉串捧奠、導師燒香、各機關代表の玉串拜禮燒香を終つて敵隊羽山少佐の挨拶があり參列者一同燒香、同二時四十分閉式となつた

激增をたどる奉天の乘降客

乘客五割降客七割增

【奉天】伸び行く大奉天を物語る奉天驛の乘降客を見るに八月乘客は十一萬六千九百八十八名で昨年同期の六萬八千百二十五名に比し四萬八千八百六十三名即ち五割餘の增加であり降客は十二萬二千二百一名で昨年同期の七萬三千四百三十名に比して四萬八千七百七十一名即ち七割餘の增加を示して居る、之は內地の滿蒙熱による見學視察の團體が押しかけて來た事にもよるが一般の活動が活潑化した現れである

罪の身に故鄕を想ふ錦州の犯罪者

【錦州】北より南へ──幾萬とも數知れない渡り鳥が來る日も來る日も錦州の空を過ぎて行く、染み〴〵と母國が思ひ出されるこの頃薄暗い領事館警察署の留置場には五名の同胞が刑期を待ち、或ひは裁きの日を待ちながら日夜罪の責苦に喘いでゐる、罪名別にすると窃盜一名、同被疑一名、贓物故買二名で以上は未決、詐欺一名これは既決である、この詐欺漢は旅館に宿泊中酒と女のため所持金を蕩盡し宿泊料支拂に窮して踏み倒した如何にも新開地らしい犯罪者、當局は

以前阿片密輸者が相當多かつたが專賣局の取締が嚴重になつた爲め昨今尠くなつた、多いのは矢張り窃盜、詐欺、橫領だ

と語つてゐた、冷たい鐵格子に映る淸澄な空、そして渡り鳥の群、驛く尾、利鎌のやうな月を眺める時彼等は異鄕萬里の獄裡で良心に何を誓ひ何を呼びかけてゐるであらう

公主嶺 電氣週間の催し

【公主嶺】大同電氣株式會社公主嶺支店では來月一日より五日まで電氣週間に當るので社屋を電飾し奉仕車十輛を運行赤襷の社員總出動需要家を戶別訪問し電氣袋を贈呈電燈の故障修理門燈の掃除等需要家にサービスをなし五日は電氣關係者を招待懇談會を開き斯業の進步發達を祝福禮讚すると共に六日は小學校に映畫の夕を無料公開しその他ポスター及びビラを撒布し大に電氣知識を大衆化し電氣の普及利用を宣傳唱導すると

錦州市場會社滿鐵が出資計畫

近く創立總會を開催

【錦州】建設途上にある新興錦州では新鮮な魚菜の供給や物價の統制に關する何等の機關なき現狀に鑑み、卸並びに小賣の市場を設置すべく有志相計り資本金十萬圓、一株五十圓、四分の一拂込みの錦州市場株式會社を設立すべく計畫中既に滿鐵の諒解を得、總株數二千株中八百株は滿鐵、一千二百株は有志において引き受ける事とし場所も市中目拔の大馬路空地約二千坪と定め創立準備中であるが、滿鐵において右八百株を滿鐵の名義とするか夫れとも傍系會社たる奉天市場會社の名に於て引き受けるか根本方針がまだ決定しない爲め、その儘の形となつてゐる、滿鐵の方針さへ確立せば早速株主總會を開く段取となり、設立の曉は居留民の臺所經濟に多大の利便を齎すであらうが、なほ之れにより渤海の魚族は連山灣、西海口の兩港より驛せずして錦州に蒐まり轉じては奉天方面にまで供給され大連方面の漁業者に一大脅威を與へるであらうと觀測する向もある

營口公會堂建設協議

【營口】當地公會堂は嚢に使用建物を軍部に返還以來各種の集會其他に甚だしき不便を感じ早急に建設の必要を痛感するも建設基金の支出に行惱みを生じて困難の態であつたが、今回或る事情があつて急に建設し得べき機運が生じたので二十八日午後一時より地方事務所に於て二十日會を開會した幸ひに午後二時半より二十日會出席員全部と廣範圍に涉つた市民有志の人々を小學校講堂に參集を求めて公會堂建設に關する打合せ會を開會した參集の人々は主催者二十日會員等四十名であつた、開會に先立ちて大畑憲兵分隊長は

軍部が嚢に返還を受けた公會堂は現在憲兵分隊廳舍として使用しゐるが市民が公會堂なき爲め非常なる不便不自由を忍ばれ居るを見るに實に御氣の毒に存じ常々如何にすべきやと陰ながら種々心配したる所、今回ある事情の物を得たるにつきこれを古川地方委員議長に通じ今日これを說明し併せて目下の狀勢からして日滿人共用の公會堂を必要とするについて諸君が向後五ケ年の歲月を經たる時の事を思ひ及ぼし日滿合作の公會堂を建設せられん事を希望す

との意味を述べて退場、續いて參會者一同より古川地委議長を座長に擧げて協議に入つた、協議について相當意見を有する人もあつたが重大性を帶びた事を一二時間に決定する事は元より不可能であるに依つて參會中腹藏なく意見の交換を行ひ又は滿鐵の意圖等の闡陳を要求して說明を聞き結局十名の詮衡委員を座長指名して午後四時半閉會した

生田流箏曲演奏會

【奉天】生田流箏曲演奏大會が奉天芙蓉會の主催で二十九日午後六時より春日小學校で開かれる

遼陽片々

◇兩親再教育協會主事杉本春喜氏の講演會は二日午後一時から社員俱樂部日本間で社會係の主催で開催演題は家庭教育の實際と云ふ會費無料多數の來聽を希望すと▲張臺子驛の北方四粁の線路上で二十八日七十三歲になる草刈老人が貨物車と輕油動車の行違ひ運行の間に挾まつて即死したので警察署の新妻警部補が福地囑託醫を伴ひ實地檢證した▲地方委員選擧は一日午前八時から公會堂で執行選擧立會人は小林留吉西田爲次郎の兩氏であると▲輸入組合では豫て背後地旅商團の計畫中であつたが滿鐵會社の諒解も出來たので近日愈々實行すと▲廿九日執行された鞍山守備隊の慰靈祭に遼陽から本橋時局委員會幹事が參列した▲支局及び販賣店では讀者奉仕の爲め之迄夕刊と朝刊を二回に配達して居りましたが列車時間の改正で一日から配達を一回に致しますから御承知を願ひたい▲警察署保安係では管內の原動機檢査を實施した▲地委定員八名に立候補七名殘り一名の當選者に興味を持つ有權者が多い、結果は何れ蓋を開けば判明する譯

旅順放送

▲既報十月一日午後五時から昭和園において擧行される電氣デーの餘興には錦晴會々長松木錦良氏總指揮大連より福永、福森兩大勾當、幸大勾當その他の總出演でその番組は

花ちる里、黑髮、六段まゝの川、春の曲、茶音頭、娘道成寺、千鳥、秋の言の葉、風まち

と決定した

▲滿洲博覽會に出品した旅順商工者中近かく表彰される者は左の如く決定された

二等絹織及生糸 旅順 糸廠
三等滿洲の華 加藤東金堂
三等殺虫劑 石井榮一
三等日本刺繡 鹿井モミ
褒狀ストーブ 野間鐵工所
褒狀煉瓦 小林治作

▲京都市內各小學校長並に訓導見學團一行二十名は市川準一視學引率の上來る十月二十二日來旅する由

▲吉野町六辛島文一氏方では二十一日二男健君が出生
▲赤羽町六臼井健三氏方では二十三日六男六郎君が同上
▲赤羽町六渡邊義弘(四〇)二十七日赤痢と診斷
▲千歲町二六河野詫郎(八つ)同上
▲朝日町二ノ一二中山イネ(二九)同上
▲越家溝三浦八郞(一八)同上
▲山頭村緒方さみ子(三つ)同上

選手を出迎へぬとて 二十數名を毆る
奉天中學五年生の下級生毆打事件
學校當局の責任回避に 關係父兄極度に憤慨

【奉天】去る二十八日鞍山で擧行された滿鐵中等學校射撃大會に參加した奉天中學校の選手は二等を贏ち得て同夕方歸奉、各級の生徒を以て組織する應援團一同は驛まで出迎へ賑々しく歸校したが歸校後應援團五年生十數名は驛まで出迎へず舊グラウンドに開催中の有田サーカスを見物中の四年生以下二十數名を會場から呼び出しグラウンドの一角の薄暗につれこみ有無を云はせず之等下級生を袋叩きにした事件は學校當局でも容易ならずとして圓滿解決に努力し、一方被害者の父兄側でも二十九日朝中學校に名和校長を訪問した處校長は「それはお氣の毒であるがこの事件は學校外の事だから」と暗に學校內ならとも角學校外は知らない意味の回答をしたといふので憤慨し重大問題として父兄會を催して父兄側の對策を講ずることになつてゐるが、この事件の內容はかうだ

抑々の原因 は鞍山で開かれた中等學校の射撃大會に參加せる奉中選手を奉天驛に出迎へに行かなかつたといふに始まり舊グラウンドに開催中の有田サーカス見物が許され二十七日に各生徒ともその入場券を貰つてゐた、二十八日は射撃大會が開催され夕方歸奉することゝなつてゐたので、その際はなるべく驛に出迎へに行くやうになつてゐた

同夕方となつて出迎へに行かなくてもよいといふことを知つて四年生以下二十數名は二十八日夜サーカス見物に赴いたのである、同夜八時頃となつて

突然 五年生十數名が來りサーカス見物中の中學生一同を會場外に呼び出した、上級生の命令には絶對服從することゝなつてゐる、二十餘名も云はれるまゝに外に出た處グラウンドの一角の薄暗がりの處へつれ來り一言も云はせず力まかせに袋たゝきにしたのである、その理由は驛まで出迎へに行かなかつたといふのである

被害者側の父兄は語る

「實にひどいことをしてゐます、その毆つた五年生中には成績のよいものもゐたといふことで成績のよいものがこんなことをする位ですから他のものも推して知るべしでかうした學校に我子を入學せしめてゐるのは誠に不安で堪りません、私の子供も頰を無茶苦茶に毆られ四ヶ所も大きなこぶを出し

一時 は痛さにたへられず苦しんでゐるのを見て可哀さうでなりませんでした、外の毆られた生徒は後難を恐れて何にも云はないやうですが私の處は何もかも云つてしまひます、二十九日校長にお目にかゝつて話をしましたがそれは

學校外 のことだからと暗に君の方で解決せよといふ無責任の回答でありました、奉中の前途を思へばこそかうしてこのまゝにして置かれませう、父兄會を開いて對策を講じ事によつたら診斷書を奉天署に提出してお願ひするやうにするかも知れません」

又學校當局では語る

「この事件が學校外だから知らないと云ふやうなことは決して云つてゐない、上級生が下級生を毆つたのは惡いことだが、被害者は只一人休んでゐるのみで他のものは何事もなく出席してゐる、下級生を毆つたものに對しては學校としても相當處置をとるつもりでゐるが父兄側で傳へてゐるやうなことは絶對にない」

日滿融和の結婚 一度破れて返咲く
可愛の日本の妻よ、何處

【奉天】日滿融和の結婚に破れて再び咲き返る喜びの邦人婦人――市內琴平町五番地元飲食店都庵に女中として働いてゐた城戸すな子(三一)はその以前滿洲國官吏趙寶田(二六)と戀仲となり日滿融和に魁して兩人共結婚しその間には本年三歳になる男子まで惠まれたが趙は滿洲國の官吏と云つても收入が少なく同人の俸給だけではどうしても一家を支へて行かれる樣な見込みがないのですな子は夫に對し「あなたも一生懸命勤めて下さいその代り私も懸命に働きますから」と申立てた、二人の兩眼には淚さへ浮んでゐたが、その間にはいふにいはれぬ堅い愛によつて結びつけられた夫婦で喜びも苦勞も共々にと水入らずの生活を續けて來た、そしてすな子は前記飲食店で女中として夜遲くまで働いて居たかうした一家も漸く溫かい平和に惠まれて來たもの〻毎夜の如く遲くまですな子が自分以上に働いて居るのを見てこれ程苦勞させるにしのびないと趙はすな子の將來を思つて一旦離別した最近となつてその趙も昇進し俸給も增したのでこれなら大丈夫と考へすな子の許を訪れたが同所にはそれらしいものが居ないので目下各方面に手配し搜査中であるがこれを聞けばすな子も定めし喜ぶであらうと關係者では力を入れて搜査してゐる

熱河代表等 本社支社訪問

【奉天電話】關東州內の文化施設と首都新京の實狀及奉天、撫順、鞍山其の他各地の工業狀況を見學せしめるために第〇團部の筒井恒大尉が班長となり熱河及奉天省の綏中興城等での希望者を集めた警察局長、自衛團長、教員、學生、村長の一行三十六名が二十八日滿日支社を訪問した一行はいづれも元氣「歸りましたら大に村民に日本の滿洲國にたいする援助を話し教へてやるつもりです、これからは愈々日滿兩國は眞の兄弟として手を握り合つて行かねばならぬと覺悟しました、それもやがて東洋の平和を確立することです」と語つてゐた(寫眞は支社前における記念撮影)

―二十九日擧行された關東軍兵器廠竣工式―

匪賊賢しうして「牛賣りそこなふ」
副頭目始め六名 見ん事逮捕
十八頭を盜んで彈藥 衣服に代へんとして

【奉天】奉天省淸原縣に蟠居中の匪首古文珍は部下五六十名を有し各地を荒し廻つて居るが、去る十六日淸原縣小蘇子晉河に副頭目以下六名が牛十八頭を掠奪して之を瀋海線で貨車積にして奉天に輸送し來り瀋陽縣後三家子村陳守番(六五)の手を經て賣却し此の代金を以て冬の衣服並に彈藥の購入をなしつゝあるを兵工廠憲兵分隊で探知し一味を檢擧一應取調べの上瀋陽警察廳に引渡したが犯人は山東省生れ淸原縣河南村副頭目王前燈(三七)同陳德順(五九)王運田(五三)楊世清(三二)陳守番(六五)五名である

製材大不足 樺太材を移入
安東では未曾有の現象

【安東】安東の製材界は滿洲各地における軍、民兩方面の大需要に依り未曾有の活況を呈したが、肝腎の原木が上流林區の治安關係で出廻り遲れ、六、七兩月の流筏高は極めて僅少で八月下旬以來相當の着筏を見てゐるが、到底需要に足りないので一部製材業者は今春來鴨綠江材の不足を見越して樺太材の輸入を計畫してゐたが、秋田商會及び鴨綠江製紙では樺太材五萬噸輸入を決定、來月上旬安東着の豫定である、木材都市を誇る安東が他地から木材を輸入することは未曾有のことゝされてゐる

奇特な邦人婦人 冬物を一山寄附
憐れな人に惠んでくれと

【奉天】二十九日午前十一時半頃奉天署保安室に三十五歲位の邦人婦人が多數の衣類を包んだフロシキ包を持參し之を寒さで困つてゐる人にやつて下さいと云つたまゝ係官が其の名前を聞く暇もなく立ち去つた、そのフロシキ包の中にはタンゼン、メリヤスシヤツ、單衣、袷等三十餘點這入つて居たが人情紙より薄い世の中にこうした婦人の奇特な寄贈に係官も感謝して居た

奉天孔子廟の盛んな祭典

【奉天電話】滿洲國政府は王道精神をもつて建國の立前とする處から大聖人孔子を滿洲の祭神として尊崇し國民信仰の中心とする事になり仲秋節の二十八日午前四時半から大南門裡の孔子廟において牛、羊、豚を神前に供へ臧式毅省長が祭司となり各廳長、各科長その他文武官を引具して古式に則り奏樂舞樂のうちに莊嚴な祭典を行つたが祭司の參拜後參列者の禮拜あり式を終了した、なほ市政公署、市商會ではこの日を記念し一般市民を集めて孔子の道にたいする大講演會を開催し各官公署はこの日いづれも休暇し孔子廟に隨意參拜し大同二年の仲秋節を壽ぎ祝つた、二十九日は武の神である關帝廟の祭典が執行された

軍事救護資金募集 演奏會
十月六日旅順昭和園で 愛國婦人會支部の試み

【旅順】十月六日旅順昭和園において開催される愛國婦人會旅順支部主催、關東廳、關東軍司令部、滿鐵後援の陸海軍傷病兵慰藉並に軍事救護資金募集を目的とする尺八とセロの大家鈴木蘇枝女史演奏會は、愈々當夜午後七時から開演と決定され入場料は大人五十錢、子供三十錢、陸海軍人三十錢愛婦會員三十錢、曲目は左の如し

◆第一部 二上り獅子(總員)尺八新曲(イ)紅そうび(ロ)セキレイ(箏寺田敏子、尺八鈴木蘇枝)セロ獨奏(イ)トロイメライ(ロ)ジョスランの子守唄(セロ鈴木蘇枝ピアノ岩田達雄)尺八洋曲マドリガル(尺八鈴木ピアノ岩田)獨唱セレナーデ(ソプラノ鈴木、ピアノ岩田)尺八古典曲深山獅子(箏寺田敏子、三絃吉村のり子、尺八鈴木蘇枝)

◆第二部 筑前琵琶扇の的(鈴木蘇枝)尺八洋曲ユモレスク(鈴木、岩田)ギター獨奏スパニッシュ・ファンタンゴ(鈴木蘇枝)茶音頭(箏寺田敏子、三絃吉村のり子、尺八鈴木蘇枝)セロ獨奏(イ)白鳥(ロ)セレナーデ(セロ鈴木蘇枝、ピアノ岩田達雄)正調追分唄(鈴木蘇枝)千鳥(總員)

因に女史は日本女子大學出身後セロ研究の爲め渡歐、全歐洲を五年間尺八行脚に成功したヴイオロンセリストとして著名である(寫眞は鈴木女史)

鐵嶺附屬地の道路改修

【鐵嶺】附屬地北五條通りは青柳街まで鋪石道路となつて居り以東も全部鋪裝する計畫であつたが滿鐵の豫算關係に禍されて工事中止となり青柳街以東の居住民は何れも砂塵と烈風に惱まされ屢々鋪裝道路完成の歎願を提出したが未だ達せられず遺憾とされてゐたところ、今回龍首山の自動車道路開拓に刺戟されて五條通兩側には家屋商店櫛比し將來商店中心街となる形勢を備へたので愈々五條通改修の必要急迫し山田地方事務所長もこの實狀を觀て滿鐵本社に對し道路改修の急務なるを力說遂に滿鐵を動かし二十九日附を以て道路改修費一千八百圓を交附する旨通知に接した、これによつて五條通居住民は多年の苦惱から救はれ龍首山自動車道路は一層完全なものとなるので鐵嶺全市民は非常に感謝してゐる、因に改修工事は急速に着手される模樣である

鮮人學校への寄附金 雇人が拐帶逃走

【安東】安東朝鮮人會經營の私立普通學校、新興學校に對し岡本領事の斡旋で日本側資産家數氏が多額の寄附を爲し目下校舍を新築中であるが、二十五日校長金虎贊氏が朝鮮人會雇人李英俊(二二)に右寄附金の一部一千六百圓を領事館より受領せしめたところ、李は之を拐帶逃走し各方面に手配搜査中であるが未だに手懸りがない、折角日本人有志の義金で新校舍建築內容充實を期待してゐる新興學校に取つては意外な大打撃で關係者は非常に憂慮してゐる

奉天に造られた 善隣女子技術學院
十月一日より開校

【奉天】今回大西關月窓胡同路東に關啓秀氏を名譽校長とする善隣女子技術學院が開設され十月一日午前十時半より左記順序で盛大な開校式を擧行することになつたが同院は生徒百名を擁し設立後半歳を經過してゐるが當時は萬事不備であつたので今度漸く擧式の運びとなつたものである

▲開會、國歌、挨拶(主事)經過報告、會計報告、祝詞、謝詞閉會、▲正午より二時までバザー▲午後二時より餘興(日本舞踊・園兒の歌)

平安北道の初雪

【新義州】平安北道厚昌郡東興(奉天省長白縣對岸)に二十七日午前零時初雪が降り一面の銀世界を現出した、昨年の初雪は十月四日で今年は一週間早いと

各地片々

◇奉天 奉天附屬地內外を荒し廻つた大膽極まる强盜團逮捕に對し、立川署長は司法係一同に金一封を送りその功を表彰した

◇奉天 奉天警察署では軍事功勞者及團體を表彰するため目下各方面の調査中である

◇奉天 二十六日午後六時頃京圖線、延吉驛で五六名の匪賊らしい擧動不審者を認めた轉轍手陳樹林は之を誰何すると矢庭に發砲腰部に銃創を負はせ南方の護地に逃走した

◇公主嶺 公主嶺驛主催鐵道現業員を主體とせる修養團の講習會は當地修養團支部後援二十七日午後一時より二十九日午後八時まで滿鐵社員俱樂部に於て短期講習會を開催したところ大多數の參加者に好成績をあげた

◇鐵嶺 鐵嶺小學校では滿鐵列車時刻の改正と始業時間變更期につき從來午前八時二十五分始業となつてゐたのを今一日から八時五十分始業に變更實施する

◇鐵嶺 鐵嶺愛國婦人分會員七十餘名は來る五日午前十時より龍首山にて大懇親會を催すと

◇鐵嶺 鐵嶺青年訓練所は來る七日午後一時より練兵場に於て秋季査閲を實施するにつき後援者多數の參觀を希望すると

◇營口 商業會議所にては第十七回滿洲商議聯合會に對する營口の提出議案につき三十日午後七時より所內會議室に役員參集審議した

◇營口 奉天省立營口水產高級中學校在學生並に卒業者の一團が昨七年十月一日校友會を設置してより來る十月一日は滿一ヶ年に相當するため一周年記念として一日二日に涉り同校禮拜堂に於て生徒主演の演劇を開催し教師並に同校關係者を招待する事とし夫々案內狀を發送した

◇普蘭店 中澤警部補沙河口署へ榮轉、普蘭店警察署司法主任中澤警部補は昨年二月着任以來三十餘件に及ぶ强盜事件を片端より檢擧して餘す處なき敏腕家であるが一面溫厚篤實署內外の氣受けよく離普を惜まれつゝあつたが二十七日附にて突然沙河口署へ榮轉と決定十月一日午前十時三十分の上り列車にて赴任の由であるので當地官民有志多數は二十九日午後六時半より警察署講堂にて送別の宴を催し氏の行を盛にする處あつた、因に司法の後任には三十里堡勤務の植田警部補が坐るものと見られて居る、そして三十里堡は現下の情勢より推して當分缺員になる模樣である

◇金州 金州南京書院長兼金州公學堂長山口二郎氏は今回滿洲國文敎部へ轉職する事となり近く發表される筈である、又旅順高等法院覆審部次席判官行山義光氏も滿洲國へ就職ハルビン勤務となる

一ツの藥で三作用！

1. 眼病を治し
2. 目を美しくし
3. 紫外線の害を防ぐ

專賣特許

（我社研究部發明　ウルビオレギン應用）

醫學博士 河本重次郎氏
醫學博士 小玉龍藏氏
醫學博士 吉田義治氏
醫學博士 山中崟之氏
醫學博士 豐田正還氏
推奬

特製 大學眼藥

特製『大學眼藥』の魅力は

藥効が特に優れて良いといふばかりでなく、自働點眼器といひ、スマートな鼈甲ケースといひ、東洋唯一のサニテープ完全包裝（大學洗眼藥に使用）といひ、何れも、便利・衛生・快適の點に於て他に比肩するもの無き高級品のみを揃へてゐる所にあります
さてこそ、在來の目藥の領域を脫して、紳士のポケツトにも、淑女のハンドバツグにもふさはしい、最もモダンな『保健明眸劑』として近代人の絶大なる支持を受けてゐるのであります

藥價低廉

一瓶毎に「大學洗眼藥」添付

人造鼈甲ケース付

一瓶入	三十錢
二瓶入（ケースは一個）	五十錢
補充用特大瓶付（同）	一圓

ケースなし

小瓶	二十錢
大瓶	三十錢
德用	五十錢
（小兒用）	二十錢

―◉全國各藥店及び百貨店藥品部にあり―

大阪市東區北濱二丁目
參天堂株式會社

目藥を使ふ方は

▼先づ、眼病を治したい、目の痛みを止めたい、といふ御希望だけでお使ひになるのが大多數ですが……目藥御使用の結果が單に眼病が治るのみならず目が美しくなり、目を害する紫外線が防止されて目が保護されるといふ事になれば全く望外の喜びを味はゝれる譯です
▼さればこそ、この三作用ある特製『大學眼藥』を一度お使ひになつた方は、誰方でも『ナル程、目藥は大學に限る』と申されます
▼おまけに、一瓶毎に、洗眼專門の『大學洗眼藥』が添へてあつて、これで快く目を洗つてから特製『大學眼藥』を點せば、治療がより早く完全に行屆くのですから、『これこそ理想的眼科藥である』との信認は廣く海外までも行渡つて居ります

適應症

○トラホーム ○結膜炎 ○角膜炎 ○はやり目 ○のぼせ目
○光線による眼炎 ○血目 ○疲れ目 ○たゞれ目 ○かすみ目
○ころ〳〵する目 ○凝り目 ○打ち目 ○突き目 ○ほし目
○なみだ目 ○はれ目 ○麥粒腫 ○くもり目 ○やに目

痛まず、シマズ
心地よくキク

好評嘖々の人造鼈甲ケース付特製「大學眼藥」 一瓶入三十錢
（中の瓶がカラになつたら、少し小形ですが二十錢の瓶を代りに入れゝば、便利なケースが永く使へます）

明眸市川春代孃（日活）は、さすがに特製「大學眼藥」の愛用者です。
強烈なライトの紫外線を防ぐ爲め撮影所では斷然特製「大學眼藥」が愛用されてゐます

青柳を殺害したのは中薗秀雄の單獨行動
博士は死體處分に手を貸した
高野警察署長の報告

【高野二十九日發國通】二十九日午後三時高野山頂に出張した和歌山縣山田刑事課長は板谷高野警察署長と會見左の報告を得た

兇行は九月五日夜九時すぎ兒玉邸で行はれたので同夜青柳は博士夫人との愛慾生活を種に博士を脅迫すべく同邸を訪れ博士は仲裁者として中薗を夫人に電話で呼び出させ駈けつけた中薗は青柳と遂に口論格鬪を演じ兩名組合つたまゝ二階から顚落中薗は臺所にあつた料理庖丁に眼をつけ發作的にこれを手にとり殺害するに至つたもので**殺人は中薗の單獨犯で博士はその死體處分に手を貸したのみであること明かになつた**

なほ中薗は三十日和歌山に護送されることになつた

青柳の卑劣に憤激 庖丁で滅多切り
中薗秀雄の供述

【大阪特電二十九日發】高野署に引致された中薗は直に署長自らの取調べを受け最初は口を緘してゐたが遂に包み切れずこの奇怪な謎を解きほごしていつた

即ち九月五日博士邸から「私の自邸へすぐ來て下さい、青柳が私を脅迫します」との電話があつたので私は博士と一面識もなかつたが同家に急行しました、**青柳はその時博士の面前で夫人を睨みつけ情交のあつたことについて辯じたてゝゐた、**これを目擊した私は憤怒して「貴樣は惡人だ」と叫んで摑みかゝり大格鬪となつて取り組んだまゝ二階から轉げ落ち**私は無意識のうちに階段下にあつた氷割り用の庖丁で彼を滅多斬りしました、**その時夫人は何事か博士にあやまつてゐるやうでした、**私と夫人との學生時代の戀を物語つたとのことです、**博士は夫人を愛してゐたのです、私は博士の許しを得て夫人を伴ひ十三日大連から博士の見送りを受けうすりい丸で出發したのです

こゝまで自供した中薗は博士が何故兩人をひそかに逃亡せしめたかの點について追究されると再び口をつぐんだ、かくて死體處分について

青柳の死體を橫山きみの家へ運んだのも私で、死體を處理したのも私です、博士は兇行に一切關係はありません私達は十五日門司上陸のうへ別府から宮島六甲などを遊び、大阪の旅館に泊り二十六日死場所を求め高野山にやつて來たので、宮島では死ぬ覺悟の私たち打揃つて死の記念撮影をなしました

青柳に暴行され毒藥自殺圖る
そこから必然に慘劇が生れた
服毒から醒めて勝美夫人の話

【大阪特電二十九日發】北室院の一室で漸く意識を回復した勝美は中薗が高野署へ引致されたことを聞かされても涙一滴みせず午後四時過ぎには着物を着代へると起上り折から取調べに出張した板谷高野署長の取調べに對し事件原因につき左の如く供述した

青柳は恐るべき不良で博士の不在をねらつて兒玉邸に來り勝美にとつて忘れ得ざる屈辱を與へた**即ち私を暴行したのですこのため私はその後終始青柳に脅迫されて來ましたこれ**を突つぱねるにはあまりに弱い女になり切つてゐた、私はどうさもならぬ身を悲しみ自殺を決心し**六月十八日服毒自殺を圖つたが**夫の手當、愛の看護で昏睡二晝夜ののち意識恢復し惜しくもない生命を永らへて來ました、私の自殺原因については博士は深く問ふこともなくその儘となり青柳との關係も知りませんでした私を溺愛してゐる中薗はこの間の事情を知り青柳の卑劣さに義憤を感じかくこの恐るべき慘劇事件が必然的にやつて來たのです

業因未だ盡きず 蘇りの勝美夫人
再び世に出ば必ずお禮詣り
院代を通じて語る

【大阪特電二十九日發】服毒から醒めた勝美夫人は中薗が拘引されてから北室院の院代植木增信師を通じて語る

これまでの事については大連の檢察局宛遺書に認めてあります、大連を出るときは女中は伴れず主人に送り出して頂きました、家庭の名譽を思へば今更實家にも歸る氣がありません、內地へ來て淸淨な高野山を最期の地に選びましたが、死ぬことは出來ませんでした、再び世に出ることが出來ましたなら必ず北室院へお詣りしてお禮を申し上げます

と少し興奮から醒めて語つたが非常に疲れてゐた

逮捕刹那の二人
昏睡狀態の儘全一日山中に過し
再び院へ立ち歸る

【大阪特電二十九日發】和歌山縣警察部は、兒玉勝美から長野縣の實兄某氏宛に送られた遺書により、同縣警察部山田刑事課長總指揮のもとに、縣下白濱、串本、新宮、高野など縣下に嚴重なる搜査網を張り**行方**を搜査中、二十六日午後九時ごろ南海高野線で高野山に登山した男女あり、神戶市湊町二丁目一八二吉本喜藏（三）同みつ子（二）と詐稱し、北室院北堂に一泊、二十八日午前八時ごろ奧の院に參詣すると稱し、宿泊料五圓を置いて出立、其の後奧の院の裏山に入つて罪の一切を淸算すべくアダリンを嚥み心中を圖つたが、分量不足のため目的を遂し得ず、昏睡狀態に陷つたまゝ全一日を山中に過ごし、二十九日朝九時ごろ再び北室院に立ち歸つた、北室院では擧動に不審を抱き

同日 拂曉高野署に其の旨を急報、同署より沖刑事出張取り調べたが容易に事實を吐かず、嚴重追究するとゝもに、就寢せる床の下にあつたコンパクトの中を調べたところ、大連の檢察局宛に送つたらしい兇行の原因書即ち兇行の事實を認め、其の動機として昭和六年二月ごろ大連聖德街の或る廣場で中薗に殺された青柳賞のために暴行され其の後今日まで脅迫的に情交を強ひられ、自宅に青柳が屢々來たり、いろ〳〵な難題や、脅迫をするため遂に此の兇行に及んだ旨を認めた紙片を發見、さらに男の身體檢査をしたところ

洋服 の襟に「N」の文字があつたので、嚴重追究した結果遂に包みきれず「まことに濟みません」と兜をぬいだ、男は服毒後すでに恢復してゐたので、直に其の場から高野署に留置し、女は高野町岡本醫師の應急手當を受けたが、これまたアダリンを嚥んでゐたが、其の後吐き出し身體には何等異狀なく憔悴してゐるが當分靜養すれば生命には別條あるまいとの事である

和歌山縣警察部發表

【和歌山廿九日發國通】和歌山縣警察部發表＝兒玉博士夫人勝美と情夫中薗秀雄は追手を逃れ關西方面に潜み歩いてゐたが勝美は自決の遺書を實兄に送り自殺を思はせてゐたが和歌山縣警察部ではその遺書にある和歌山○○局の印に依り南紀州遊覽地のホテルの一齊臨檢を行つたところ、二十九日午前八時に至り靈場高野山頂の北室院植木增信より電話があり「新聞に報道されてゐる二名に酷似した男女が二十六日夕刻神戶市湊町二ノ一八二吉本喜藏、妻光子と記して投宿してをります」との事に宿直巡査が出かけてみると二名は北室院の庭に面した六疊の間に東枕に床を並べて昏睡狀態に陷つてゐるのを發見し、取敢ず醫師の手當を加へたところ男は間も無く意識を取戾した、そこで元氣恢復を待ち高野署に引致した、男は初め自分は飽迄吉本であるといひはつたが新聞に出てゐた寫眞を突きつけられ遂に中薗なる事を自白した、兩名は二十五日夜大阪で新聞記事で追及の手の延びた事を知り遺書を認めた後高野山に辿り着き北室院に一泊、二十八日は高野山中をうろつきアダリン五〇錠を二人で分けて服んだが少量のため死にきれず二十九日午前二時頃歸院した旨を述べた

逃走徑路

【大阪二十九日發國通】兩名逃走徑路左の如し

九月五日夜兒玉博士邸で青柳を殺害し、死體を四人で隱匿、十三日博士承諾の下に勝美夫人、中薗は大連發うすりい丸で內地へ（この點中薗の主張）十五日朝門司着、十六日より二十日まで別府溫泉巡り、二十一、二十二日尾道、宮島に、二十三日、二十四日大阪、寶塚、六甲、二十五日大阪築港の宿に投宿、二十六日高野山北室院に投宿、二十七日高野山見物、二十八日朝山中で自殺の覺悟で徘徊、以下既報の通り死に切れず兩人顏面蒼白となり北室院に歸る

正式回答到着

中薗秀雄、兒玉勝美兩名の逮捕については沙河口署の照電に對して二十九日午後六時三十五分至急官報を以て和歌山縣警察部より正式に左の如く回答が到着した

本日管下高野山署において中薗秀雄（三十五）兒玉勝美（二十八）を取押へ目下取調べ中　和歌山縣警察部刑事課

六師凱旋兵 きのふ門司着
嵐の歡呼に迎へられ

【門司特電三十日發】風もなく麗かな日本晴れの今朝八時十一分門司市民が待ちに待つた第六師團松田少將、鹽津大佐以下忠勇無雙の凱旋將士を乘せた御用船第七□□丸が鏡の如き門司港へすべるが如く滿船飾をほどこして入港した、空には絶えず煙花が打揚げられ門司稅關岸壁から海岸一帶は人の山旗の波で身動きも出來ない歡迎市民が萬歲の歡聲と打振る國旗の渦卷きにその熱誠振りは涙の出る程だ、岸壁に橫付けすると兒玉下關要塞司令官始め六師團留守師團長、熊本、福岡兩縣知事、關門北九州各市長、稅關長、鐵道局長等は本船に至つて歡迎の挨拶をなし記者團に對して松田少將はメッセージを發表した

斯くて將士の上陸あり、この間門鐵歡迎團は絶えず嚠喨たる奏樂をなし小倉放送局のアナウンサーは情況を放送し寫眞班は飛廻り目まぐるしい光景裡に九時凱旋將士は岸壁廣場に整列を終ると後藤門司市長並に熊本縣知事の歡迎の辭あり、松田○團長謝辭を述べ市長發聲の下に嵐の如き萬歲の三唱が行はれた、三十日夜は門司一泊一日臨時列車で凱旋歸還の筈である

刑事も根負け
俺は貴族院議員だと大ボラ吹きのキ印

三十日午前十時頃、ルンペン風の男が大廣場朝鮮銀行大連支店に日本銀行大連出張所主任龍井□作氏を訪問「少し事業を始めたいから金を借りたい」と申込んだので龍井氏が相手の擧措に不審を抱き訊問したところ件の男「金額は五萬か十萬か多ければ多い程良い」と言ひ出し益々奇妙なので鮮銀より

大連署に電話をかけ引渡した大連署では吉岡刑事が取調べたところ右は愛媛縣庄內村福城寺當時市內光風臺一八三關塚高作方寄食の志賀堅造（四五）といひ取調べに當つて「俺は貴族院議員だから粗末な眞似をすると承知しないぞ」と頭から吉岡刑事を面喰はせ今度は吉岡刑事から「貴院議長の名は」と聞かれて「今議員する、第一議員の名は一々聞かれても名簿を持合せてないから思ひ出せぬ」と刑事の口頭試問にへこたれたと見えたが更に「俺は滿鐵の村上理事も知つてゐる、林總裁には俺が爵位を與へたのだもう二、三人やりたい者がある」と高飛車に脫線するので吉岡刑事も頗負けして「君はキ印と認めるなら歸してやるが本氣なら承知しないぞ」と怒鳴りつけたが御本人は相變らずケロリとして刑事の前に坐り込んで卷煙草をスパリ〳〵鼻から煙を吐く始末に流石の吉岡刑事も根負けして志賀を寄寓先の關塚に引渡した

邦人行方不明
洮南縣下國道建設に苦力引率して出發後

【奉天電話】洮南縣下の國道建設のため大連東公園町三九福井高榮組から派遣された監督邦人宮城一郎、伊藤義春、西浦萬助の三名が二十五日苦力百七十名を引率洮南縣城を出發、縣下第六區瓦房に向つたが二十七日苦力一行並びに馬車十七臺は到着したが右監督三名が行方不明となり二十九日に至るも發見されず途中苦力に殺されたか或は匪賊のため拉致されたかは不明なるも最近相當に洮昂沿線では金を得るため人質を拉致すべく日本人を狙つてゐる匪賊團が盛んに橫行してゐるため或は彼等の仕業ではないかと日滿當局では極力搜査に努めてゐる

客馬車と衝突

市內朝日町七番地齒科醫平岡一市氏（三六）は二十九日夜市內磐城町料理店琴月に飲食に赴き強か酩酊した揚句同夜十二時同家の女中カネ子（二九）糸子（三〇）の二名をサイドカーに乘せ自分で運轉して女の家に送り届ける途中市內西公園町と對馬町との交叉點に差蒐つた際前方から來た客馬車と衝突三人共顚倒、糸子は顏面にカネは全身に孰れも三週間の重傷を負つた

禁制品の密輸
英國汽船から依賴電
水上署大童で探査

しばらく杜絶えた禁制品の密輸、脾肉の歎を洩らしてゐた水上署に三十日入報の無電、青島を出帆大連への航行途中の英國汽船シチーオブビクトリヤ號船長スミス氏の名によつて當地稅關長宛「貴地着と共に船內搜査に當られたし」とあつたので稅關は直に水上署司法係と連絡を取り午前九時頃同船入港五番バース繫留と共に水上署は西辻司法主任以下、稅關側より矢田外勤部長以下外勤員總掛りで出動した

スミス船長の語るところによると水夫長金生、火夫長南財の兩名が禁制品をひそかに積込んでゐるらしいとの事に、全員緊張しらみつぶしに各船室、船艙を搜査中であるが何等手懸りなくやむを得ず金生、南財兩名を引致目下嚴重取調中、なほ禁制品は阿片らしく事實とすれば相當數量隱匿されてゐると觀測される

滿洲國體育大會
第二日目成績

【新京電話】第二回滿洲國體育大會第二日目籠球及び排球の試合は三十日午前九時から秋晴れの好天に惠まれて新京西公園グラウンドにおいて開催されたが午前中の成績左の如し

籠球
▲北滿特別區23―22奉天省

北滿特別區23（3―3、5―2、15―10）22奉天省

排球（女子の部）
▲吉林省2―0新京特別市

吉林省2（22―20、20―17）0新京特別市

（男子の部）
▲北滿特別區3―0吉林省

北滿特別區3（21―16、27―25、21―13）0吉林省

六大學リーグ
早大惜敗
早立二回戰

【東京三十日發國通】早立第二回戰は三十日午後零時十分より神宮球場において小林、綾村、本鄕、藤田四氏審判の下に早大先攻に開始、終始接戰を續けたが八回、立教山城の大本壘打が物を言つて遂に三A對二で立教勝つ、開戰二時五分

兩軍バッテリー　早大、松本、鶴岡、立教菊谷、別井

早大	000	000	200	2
立教	000	020	01A	3A

鞍山丸の海事審判

去る五月二十五日豐後水道佐田岬において霧中航行中船底を大破した、大汽所有鞍山丸（船長長岡忠義氏）に關する海事審判は六日午前九時より門司本委員長、關根、江原兩委員、木村理事官のもとに開かれる、因みに大汽側より輔佐人として大塚源吉氏が立つ筈である

光瑞師講義

若草山關東別院に居住せる大谷光瑞師は院內十數名の布教使の品位向上布教力充實のため十月一日より毎朝七時半より八時半まで大乘佛典の講義眞宗聖典の解釋及び布教學の教授をなす由

佛國軍艦入港

佛國軍艦アルゴール（一四五〇噸）は三十日大連入港ブイ三に繫留した

西部大連の軟式庭球
組合せ決まる

本社西部大連支局主催の西部大連軟式庭球大會は十月一日午前九時から霞町俱樂部橫のコートで擧行する第一勝戰の組合せ左の如し

第一勝戰組合

橋本（工）―平井（據）
津川（場）―小笠原（野）
橘（聖德）―宮根（工）
林（街）―瀨川（場）
鈴木（工）―大橋（大）
坂井（場）―水谷（商）
米地（工）―伊庭（聖德）
森川（場）―中谷（街）
山田（工）―大下（工）
北島（場）―大田（場）
佐藤（霞）―野口（ツバメ）
岡山（町）―原田（俱樂部）
黑川（ツバメ）―川畑（工）
山本（俱樂部）―月輪（場）
和田（大正小）―濱坂（大）
近藤（學校）―大和田（商）
坂井昇―松山（大正小）
坂井晃―山田（學校）
檜垣（大正小）―松角（工）
原田（學校）―笠（場）
德永―雨山
三根―丸部
橘本―松村
生駒―和泉
鶴田
大月

加戶屋主人
遂に死亡す

二十八日夜侵入せる强盜の兇彈を浴び重傷を負つた市內春日町二三七質商加戶屋主人加戶安治氏は唐澤病院に入院加療中のところ其の後經過惡く二十九日午後二時遂に死亡した、一日葬儀を行ふが大連署では當時加戶氏がよく犯人の人相を記憶して犯人逮捕の便に供せる功勞に對して厚く謝意を表し一日司法係員揃つて葬儀に參列することゝなつた

日滿處女の座談會
奉天で開く

【奉天電話】日滿兩民族の協和はまづ家庭よりと將來兩國民の導きの家庭の礎石ともなるべき日滿女學生の協和親善を圖るため奉天協和會地方事務局では一日午後一時より協和會本部會議室において日本側奉天高女生徒滿洲國師範女子中等學校生徒十二名その他關係者列席の下に兩國女性より見たる日滿結婚問題、日滿女性の長所短所等につき忌憚なき座談會を開催する

安樂椅子

今度橫濱へ轉任することになつた大阪商船支店次席の吉植庄司君は蝙蝠安の綽名で知られた政友會の曾ての闘將吉植庄一郎君の次子であり、令兄は田園の歌人として有名な吉植庄亮君である。

◇

嚴父庄一郎老は今や不治の病を得、思想上の相違から二十年來結んで解けざりし桎梏から離脫して生ける屍を抱き、歌人庄亮氏の許に歸り、肉親の溫かき看護を受けることになつた。

◇

これを聞いた吉植庄司君「大體兄貴が頑固だつたんですよ、僕はさうに和解してゐたんですが、今度橫濱に行つたら近くて宜いようなもの、相當五月蠅いことでせうよ」と彼氏のみは迷惑がである

颱風圏内 (108)

畑耕一作　山田喜作畫

反逆者（十一）

「むゝつ！畜つ！」

「うつ！うゝつ！野、野郎つ！」

ドン！ドン！——ピストルは撃ちかはされた。が、一つは壁を、一つは窓硝子を砕いたに過ぎなかつた。

銀次も小宮も、胸を押へながら双方へ轉がつた。

「乙……乙彦さん……織……江さん。け、け、怪我は……怪我はないですか……危い！は、は、早く……」

「斯、斯、斯波！銀次を……銀次を！」

互に聲をしぼつた。

と！

ドアを蹴開けて、疾風の如く飛び込んで來た人物。今、小宮のピストルを拾ひあげやうとする斯波の脳膜へ、ものをも言はぬ拳のひと突き。「うゝむ！」——意氣地なく、彼は床にのけ反つた。

「銀次！僕だつ！しつかりしろ！」

晨也だつた！

「おゝ、あなた！」

「兄さん！」

織江と乙彦は左右から——

「ドアに鍵を！」

晨也は銀次を抱へ起しながら言つた。

乙彦は急いで内部から鍵をかけた。

これだけの物音に、アパートの人々が眼をさまさぬ譯はなかつた。廊下には、あわたゞしい足音が聞えはじめた。

「しつかりしろ。銀次！僕だ。天岸だ！」

晨也はその耳に口をあてた。

銀次は喘いだ。

「むゝつ……むゝつ……」

——醫師を呼んでも、もう無益であることは、そのうつろな瞳の色で知れてゐた。だから、晨也は誰をも遮斷して、彼に最後の感謝と慰藉の言葉をいはうとしたのだつた。

「銀次！銀次！」

「うゝつ……うゝつ……」

「わかつたか？天岸だ。かうしてなに事もなく戻つて來たのだぞ。部下の者達も僕の眞意を認めてくれた。と、同時に、彼等自身の眞實にも目覺めてくれた。彼等も僕とゝもに、今までの生活の一切を清算することを誓つた。喜んでくれ。彼等はどこまでも僕のいゝ部下だつたのだ。それを知らせるために、そして明日の朝は一同揃つて、これまでの罪に對する社會的な制裁を受けるために、自首する手筈がきまつたのだ。その時、最も信頼してゐる部下の戸山が、僕に濟まないことをしたと懺悔した。それは小宮が、いつしか彼と接近して、僕を自滅させやうと計つた企らみだつた。小宮が、今夜このアパートに織江さんをよこした事實を知り、また乙彦にも危害を加へ、飽くまで僕に道ならぬ復讐を遂げやうとした企らみも、戸山の言葉によつてわかつた。僕は驚いて、あらゆる手段をつくして一分も早くこゝへ驅けつけやうとしたのだ。——が、殘念だつた。一足遅れてしまつた！お前をこんなことにしてしまつた！」

「……い、……僕、これで……これでいゝ……首領さへ……天、天岸さんさへ……」

銀次は苦しさの中にも、微笑しやうとした。

「銀次さん！」

織江は呼んだ。

「むゝ……むゝ……乙……乙彦さん……」

「僕は無事です。それではあなたがよそながら僕等兄妹を守つてゐてくだすつたのですね？知りませんでした。難有う！」

乙彦も跪いて顔を寄せた。

昭和九年 年賀用滿洲繪葉書圖案募集

一、趣旨

昭和九年の劈頭を飾るべき「年賀用滿洲繪葉書」圖案を左記規定に從つて公募致します

二、投稿規定

イ、滿洲の地方色を表はすもの、滿洲に於て在來より吉祥を意味するもの、干支に因みたるもの、若くは滿洲紹介をも兼ねるに適する年賀繪葉書たること（右を一枚に一項目を入るも數項目を入るゝも隨意とす）

ロ、畫面適當なる場所に「賀正」「昭和九年大同三年元旦」の文字を挿入若しくはこれに該當する文字挿入の空欄を設けること

ハ、畫面に簡單なる解説をなすことを得

ニ、十色以内たること（オフセット又は石版）

ホ、作品は私製葉書若くは葉書大の洋紙たること

ヘ、作品には各畫面に非らざる面に住所氏名を記載すること

ト、出品點數を制限せず

チ、作品は封筒に入れ「大連市紀伊町九十一番地滿洲文化協會」宛とし、「年賀繪葉書應募」と傍書すべし

リ、作品は一切返戻せず

ヌ、作品中入選の分に關する版權は本協會の所有とし、同一若しくは類似畫題の頒布刊行を禁止す

ル、入選作品と雖も審査員に於て着想、畫面色彩等變更することあるべし

三、締切並に發表

應募締切　十月十日

審査發表　締切後一週間以内

入選の分に限り書狀を以て通知す

但し他に適當なる方法に依つて氏名を公表することあるべし

四、審査員

伊藤順三氏　大野斯文氏　加藤郁哉氏

丘襄二氏　村田治郎氏　貝瀬謹吾氏

五、懸賞

一等　金五拾圓也　一名

二等　金參拾圓也　一名

三等　金貳拾圓也　一名

秀逸　金五圓也　五名

大連市紀伊町　社團法人　滿洲文化協會

マンニチ　にちようふろく

童話（これはほんとうのおはなしです）
總理大臣と鳩
山田健二

息がザラメのやうに凍る冬の朝です。

大きな北の國の總理大臣室にはもう濛山の立派なお客樣がつめかけてゐました。

お役人が手紙や書類を山のやうにかゝへて机の上においてゆきます。

大臣はもう七十を超したお年寄ですが、子供のやうな血色のよいお顔に輕いほゝえみを浮べながら一つ一つ丁寧に處理してゐます。

その時……

「クク……クク…」と總理大臣室にしては驚くほど粗末な部屋の天井の方で何か鳴きました。

濛山のお客樣も、お役人も氣がつきませんでしたが、大臣だけは署名をなさつてゐた筆をおいて靜かにその方を見上げました。

天井の角にある空氣抜きの穴に張つた金網が少し破れて屋根裏が見えてゐます。

聲はこゝから聞えてきたのです。

暖かい南の國の人達には想像することもできないほど寒い、北の國の冬には、弱い鳥や獸物は外で暮すことも食物を探すこともできません。

總理大臣室の屋根裏にも冬になると何處からともなく寒さに追はれて行きどころのない鳩が黑煉瓦の破れ目からはいり込んで巣を作りました。

總理大臣はその空氣拔の穴を見詰めながら、ぢーッと耳をすましました。

「クク……クク……」悲しさうなひもじさうな鳴き聲がまた聞えてきます。

「おい…一寸……」總理大臣は靜かに家來をお招きになりました。

「ハイ……」

「私用で使つてすまないが、これで高粱を少し買つて來てくれないか」

さういつて大臣はポケットからいくらかのお金を出してお渡しになりました。

「ハ？高粱を……」家來はあまり變な品物なのでお金を頂いたまゝで恐る恐る問ひ返しました。

「あゝさうだ、すまないが直ぐ買つてきておくれ」

「ハ……」

――

やがて家來は高粱の一杯入つた三角の紙袋をかゝへて歸つてきました。

「あゝ御苦勞ごくらう、ついでにそれをあの屋根裏の鳩にやつてくれないか、さつきからひもじさうに泣いてゐるから……」

「ハッ」家來は初めて高粱の使ひ途がわかるとあわてゝ梯子をかけて金網の破れ目から屋根裏に入れてやりました。

急にカサ〱と天井を引掻く小さな足音が亂れて聞えてきます。

「あゝ……ありがたう」總理大臣は心から安心したやうに、また目を落して、詰めかけてゐるお客樣の用向きをお聞きになりました。

「閣下……お中食の時間でございますが」

「ホー……もうそんな時間か、今日も中食はやめだ」

朝薄暗い内に食事をなさつた大臣はもうすつかりお腹がすいてゐらつしやるのですが、あまり忙しいのと、待つてゐるお客樣がお氣の毒なのでその日も中食をなさらないで仕事を續けました。

かうして朝早くから夜遲くまで國のためにお働きになつた總理大臣は夜中近くに疲れ切つた身體をやつと横になさつたかと思ふと三時半にはもう目をさまされました。

そして身體をきよめると机に向ひ硯箱の蓋を取りました。窓硝子は銀の杉の葉をおしつけたやうに凍つてゐます。

「ス……ス……」やがて大臣は凍つた水をとかし、正しい姿勢で墨をすり初めました。

だんだんすれてゆく墨が黑いエナメルのやうに光ります。

墨がすれると大臣は筆をとり、たつぷりふくませて白紙に力一杯

「王道」

と書きました。

「ム……」大臣は書上ると下腹の力を抜いてぢつとそれを見詰めました。

「クッ……クッ……」

その時屋根裏の鳩が元氣のよい聲で鳴きました。

「ホー……もう目がさめたなー」

大臣は靜かに立上つて空氣穴の下に行きました。

薄暗い梁の上に白い鳩のお腹が動いてゐます。

大臣は嬉しさうにそれを見上げた時

ボタリ……と

何か大臣の額をすつて床に落ちました。大臣は片手で額をなすりながら下をごらんになりました。

「ハハ…鳩の糞か…大きいなー」

總理大臣は朗かにお笑ひになりました。

敵彈に肺を射ち貫かれ 平氣で十時間の旅
さすが日本軍人 勇敢な東宮少佐

佳木斯屯墾團指揮官の東宮少佐は寶清の匪賊を征伐して、九月二十三日集賢鎭といふところにむかひました。ところがその途中で三百人の匪賊にあひました。大へんな苦戰しておひちらしましたが、そのとき敵のたまが東宮少佐の右の肺をうちぬきました。なにしろ肺をやられたのですから血はドンドンほとばしります。しかし人一ばい元氣な少佐は一こう平氣なもので、左の手できず口をおさへながら、そこから集賢鎭まで十時間も馬車にゆられていきました。しかしただの一ごだつていたいなんていはなかつたので、そばにゐる人々もさつぱりしらなかつたのです。集賢鎭についてから少佐がひどいけがをしたといふことがわかり、みんな大さわぎをしました。ところが少佐は大きなこゑで「こればかりのきずでさわぐな。豫防注射ほどのいたみしかないのだ」とどなりつけました。いまはハルビンの衞戍病院で手あてをしてゐますが、あと三週間もしたらまた佳木斯にいつてウントはたらくのださうです。とても元氣なさうです。（寫眞は東宮少佐）

小學六年生の 力試し室
お答は來週出します

地理

一、我が國の主な火山脈五つ書きなさい。

二、我が國の川は流れの早いのが多いがそれが爲どんな利害がありますか。

三、我が國は何故漁業が盛なのですか。

四、我が國で養蠶の盛な縣はどこですか。製絲業の盛んな縣はどこですか。絹織物の發達してゐる縣はどこですか。

五、我が國で製鐵業の盛んな地方三つをあげなさい。

六、我が國に工業の發達した理由をあげなさい。

七、我が國の主なる貿易品を各三つづゝあげなさい。

前週の答 國語

（1）父と作者と弟

（2）九月二日頃

（3）お百姓には一番こはい二百十日が無事にすんだからです。

（4）節分の翌日、今日から春が立つといふ日で大てい二月の四日か五日頃です。

（5）立春から數へて二百十日目にあたる日で、大てい九月一日頃です、昔からいつも支那海方面から暴風が吹いて來る時節で丁度稻の花が咲く頃ですから農家では大そう心配する。

（二）問

（1）鬼の首でも取つたやうに、喜こんだ。

（2）一心に讀み續けた、晝の仕事の合間に讀むのは勿論、夜は床に就いてから燈が盡きるまで讀む、燈が盡きると翌朝すぐ手に取れるやうにまくらもとの壁際に置いて。

（3）借りてゐた大切なワシントン傳を雨にぬらしたが、それを辨しやうすることが出來ないので其の代りに、かうした仕事をした。

（4）何度も〱讀返してゐるうちに大偉人であるワシントンの品性に深く感化された。

（5）イ、讀書に大そう熱心であることゝ、即ち深く何度もくりかへして讀み徹したといふこと。

ロ、借りた書物の辨しやうが出來ないので三日間も畠の草取りした尊さい心はえらいと思ひます。

（6）イ、ワシントン

ロ、雨が降つて本がすつかりぬれた晩のこと。

ハ、辨しやう。

ニ、ワシントン傳を貸した人。

ホ、ぬれた。

へ、もらつた。

ト、ワシントン傳をもらつてのこと。

（三）熟語

遠泳、水泳、寶物、重寶、統一統治、優等、優良

（四）イ、あの人の今の成功は少年時代からの努力のたまものである。

ロ、私のお友達の秋野さんは毎日學校から歸るとかひ〲しく父の手助をしてゐます。

ハ、私は一々計算を學習帳にしなければならないのだが便宜上ソロバンでやつてゐる。

ニ、彼は先生の言葉に力を得てそう〱優等の成績をおさめた。

ホ、遠足の朝ふと目を覺した瞬間、目覺時計がリン〱と鳴つた。

（五）組合せ文

（ニ）（ハ）（イ）（ヘ）（ホ）（ロ）

こどもの考へ物
第六十六回

船底をおよぐ お魚の群れか 左の車が怪しい……

この寫眞をごらんなさい。お魚がたくさんあつまつて、お船のそこでもおよいでゐるやうですね。けれどそれにしては左側にうつつてゐる車はチト變です。これはさて何でせうか。わかつた方は來る十月八日までに、ハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてお答へください。正解者にはいつものやうにして二十名に限りご褒美をあげます

第六十四回の答 ザウ君でした

第六十四回の考へものは、象さんを前からうつした寫眞でした。今度も殆ど全部が正解だつたので籤をひいて次の方々にご褒美をあげることにしました。それで大連市内の人々には新聞社から當籤お知らせのハガキをさしあげますからそれと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方には直接お送りいたします。

當籤者

▲大連渡邊太▲同鈴木ケイ子▲同隈岐恒夫▲同青山芳子▲同川崎良佐▲同平井直夫▲同山本茂▲同八丁忠臣▲同服部克彦▲同柳瀬千代子▲同岩下節子▲同氏原しな子▲同兼井順子▲旅順沖山直政▲鞍山市村陽三▲開原佐藤靜子▲撫子窩篠田美佐子▲海城西村篤▲熊岳城鮫島泰雄▲營口宮野哲夫

ケフハナンテ　アツイノデ　セウー　コトリサンハ　スヾシソウニ　ソラガトベテ　イヽデスネ

ヤアー！コンニチハー　ズイブン　アセヲ　ナガシテ　イマスネ

②
ボクモ　トンデ　ミタイナー
ソレデハ　ボクノ　セナカニ　オノリ　ナサイ

③
ヤー　コレハ　スズシイ　オモシロイ〱
ドウデス　スズシイ　デスカー　コンドハ　ボクガ　アツイヨ

幸

一年前の苦みを ながく記念
滿洲里に住む日本人

去年九月二十七日蘇炳文といふ軍人が滿洲國にそむきました。そして二千の部下をつれて滿洲里市をとりかこみ、三百人の日本人をつかまへてしまひました。この日本人たちは二ケ月ものながいあひだたべものはなく、ひどいさむさにくるしめられましたが、日本軍のてあついまもりをうけてやつとのこと、ウラヂオストックをさほつて日本の敦賀にかへることのできたことをみなさんよくおぼえてゐることでせう。あのころはずゐぶんさわがれましたが、あれからもう一年たちました。いま滿洲里市にゐる日本人は大ていあのころひどくくるしんだ人々です。あのくるしみをながくきねんするために滿洲里市の中央廣場に記念碑をつくつてゐましたが、こんどやうやくできあがりましたので九月二十七日市民の運動會やいろいろの餘興などをしておいはひしました。

熱河のこども

みなさんが大すき

島田特派員記
山口特派員撮影

立派な人に 日本人の様に

この寫眞は熱河の省城承德の小學校の入口です。この學校は承德縣立模範小學校さいひます。熱河で一番立派な小學校で、大きなお寺の中にあります。おさなりは滿洲國の兵隊さんの宿舍です。朝は八時に始まります。さうして午後二時ごろおしまひになるのです。ちやうど日本の小學校さおなじです教室は一年生から男子さ女子さは別々の教室です。おさなりの兵隊さんが教練を始めるころ、小學校でも勉强をはじめます。校長先生におあひするさ、

「おさなりの兵隊さんの勇ましいかけ聲が聞えるさころで勉强するので、一番大せつな文武のみちが生徒によくわかります。今に滿洲人の生徒も日本人のやうな立派な人になるでせう」

といつてをられました。

日本のお友達が持ちたい

朝學校がはじまるさきには、日本の小學校のやうに、矢張り朝禮があります。お寺の中の、大きな松の木の下に組ごとにならんで先生の號令にあはせて「イー、アル、サン、スウ」さ大きな聲をはりあげながら體操をします。承德の小學生は大へん元氣です。さうして日本のおともだちをたくさんもちたがつてゐます。

日本語の時間が大すきです

教室はあまり大きくありません。二十人か二十五人ぐらゐはいれる教室です。そこにぎようぎよくならんで讀本をよんだり、歌をうたつたり、繪をかいたりしてゐます。窓はガラスなどなく、紙がはつてありますが、冬でも寒がりもせず、一生けんめいに勉强してゐます。小さな生徒に「一番すきなのはなんですか」と聞くと、みんな日本語の時間が一番すきだといつてゐます。日本語が上手になつたなら、大連や、奉天の方に行つて日本人の小學生と仲よくなり、いろ／＼お話したいともいつてゐます。小學校の五年生に日本の歌が唱へますかときくと「シロジニ、アカク、ヒノマル、ソメテ」と大へん上手にうたつて聞かしてくれました。

私たちは滿洲國人

新聞社のおぢさん達が學校へ行つて、三年の女生徒にじやしんなさつてあげませうといふと、みんなよろこんで教室のおもてにならんでくれました。承德の模範小學校で一番人數の多い組は三年の女子で三十人ださうです。女の先生が三列におならびなさいといふと皆んなすぐきれいにならびしやしんにうつりました。この寫眞の後のはうにあるお家が教室です。寫眞をさつたあとで、女生徒達をあつめて、皆さんは何國人ですかと、ききますと皆、滿洲國人ですと答へました。次に皆さんは日本人のえらい人なだれか知つてゐますかと聞きますと、西中將といふ、日本のえらい軍人さんを知つてゐますと答へました

學校が退けると……

學校がをはると、日本の小學生のやうに、お友達どうし仲よく手をつないで歸つて行きます。せまい町をとほつておうちへ歸るのです。中には先生をとりまいて、いそ／＼と樂しくお話しをしながら歸るものもあります。おうちに歸りついたなれば、やはり日本人のやうに入口で「ただいま」といひます。さうしてお父さまやお、母さまにごあいさつをします。男子は學校から歸ると外へ遊びに行きますが、熱河の女子はおうちからはめつたに外に出ません、おとなしくおうちで遊ぶさうです

はしがき

熱河の省城承德を訪れるものは先づ十六支里にわたる城壁に圍まれた世界の秘苑、所謂清朝の避暑山莊の華麗さに驚かされます。同時に山莊の東方二里の山麓に、ずらりと並んだ廣大なラマ寺の金光燦然たる有樣にも、驚きの眼を見張らずにはゐられません。ラマ寺は全部で八大廟、避暑山莊を守るが如くに並んでゐます。溥仁、溥善寺、普寧寺、安遠廟、普樂寺、普陀宗乘廟、殊像寺、廣安寺、羅漢堂の八大廟で、世に獅子溝八座の大寺廟と呼ばれてゐます。清朝が何故このやうな大寺廟を熱河の僻地に建立したのでせう。大清朝の大皇帝の威力の下に建立されたこれ等の大建築は決して單なるラマ教崇拜の觀念から建立されたものではありません。各式各樣のこれ等寺院はいづれも遠大な政策の下に成されてゐるのです。即ち、大山莊に次ぐ矢繼早のラマ大寺建立によつて蒙古人及び熱河省民に清朝の莊嚴さと威大さを示し、これを威壓せんとしたものです。同時に喇嘛教を大いにこの地方に弘布して、熱河蒙族の勢力を削いで弱くし、更に宗教の力によつて蒙民を懷柔せんとしたものです。威を示すと同時に宗教の力を以て治める清朝の高踏的な大政策なのであります。これからラマ寺建立の物語りについてのべませう。(カットは普陀宗乘廟の全景)

島田一男記
山口晴康撮影

榮華をつたへる熱河のラマ寺

獅子溝の八大伽藍をめぐる

清帝と妃の戀物語

▼▼……帝に一人の寵妃がありました、この寵妃は西藏の或る王侯の一人娘で西藏一帶にその美名を謳はれた人でしたが雍正帝はその美名を聞き、特使を西藏に送りわざわざ北平の紫禁城に迎へました、なるほど聞きしにまさるその美貌に、雍正帝は忽ちその美姫を唯一の寵妃として日夜側を離さず、寵愛しました。ところが、この寵妃は初めの内は支那中央の珍しさに喜んでゐましたが馴れるにつれて西藏が戀しくなりどうしても一度歸してくれと申しましたが雍正帝は何うしてもそれを許さず歸すかはりに承德の避暑山莊の東方に姫の故郷そのまゝのラマの大寺院を建立し、又寺院の横の山あひに西藏のライオンや、虎を取りよせるから我慢せよと申しこゝに始めて山莊外に獅子溝といふ地名が生れ、又ラマの八大寺廟が建立され妃は夏になると雍正帝と共に承德離宮に避暑し、城壁の上の望樓に立つて毎日ラマ寺の風景を眺め獅子の鳴き聲を聞いて故郷を思ひ出してゐた……と承德附近の住民は語り傳へてゐます

▼▼…これは全く一つの傳説に過ぎません、實際は何ういふ風にして八大寺廟が出來たかをお話ししませう、はしがきに述べた如く大清朝ははじめから宗教による大政策を深く藏されてゐましたそして康熙帝の五十二年に始めて溥仁、溥善寺を建てました、これは康熙帝六旬の年祝に蒙古の王公が寄進したものであるといはれてゐます、ところが乾隆帝の御代に入るや宗教政策は俄然具體化して積極的に寺廟の建立が始められました、乾隆二十年に普寧寺、同二十四年に安遠廟、三十一年に普陀宗乘廟、三十六年に殊像寺、三十九年に羅漢堂といふ風に慶事があるといつては建立し名僧が入朝したといつては建立し、又新らしい部落が出來たからといつては建立したものです、建立された寺廟は何れも互に粹を爭ひ燦然たる甍を爭つてゐたのであります、一時は寺廟毎に四百人以上のラマ僧がをり、中でも安遠廟にはラマ僧の外準噶爾蒙古達什達瓦の寡女ほか數千人の者まで移住させたといふことです、以上喇嘛八大寺廟建立のあらましを物語りましたが

▼▼…次に喇嘛教について少し述べませう、熱河省において最も普遍的な宗教は喇嘛教でありますが、喇嘛教は主として蒙古人が中心となつて奉じてゐますので蒙古人の勢力に比例して喇嘛教の權威も擴大し或ひは減退してゐるのです、喇嘛教は唐代に西藏在來のボンボ教と印度の佛教の調和によつて發生したもので、喇嘛とは「無上」の意味を持つてゐます、從つて世界最大の教へといふ意味なのが何時からか教名に轉化してしまつたのです、喇嘛教が始めて蒙古に入つたのは蒙古勃興時即ち憲宗の代です、始めは紅教と稱し衣冠を紅色とし妻帶を許したのですが、その後宗教の權威をかざし愚民の迷夢を深くし、財物を吸取し、更に風紀を紊亂せしめたので遂に大改革が加へられ、紅衣を脫がせ黃衣とし妻帶を禁じ、現在の喇嘛教となつたのです

寫眞說明

【左上】世界第一の喇嘛大佛
【同下】普陀宗乘廟喇嘛塔
【右上】殊像寺五座の喇嘛塔
【同中】羅漢堂五百羅漢
【同下】宗乘寺宗門
【其右】傳說の望樓

新作落語 俄か仕込み

夢想兵工

俄仕込みの附焼刃といふものは、どうしたつて地金が出るもの、ですから人は平素の心掛が大切、何事でも心掛けて居れば、それが自づから身に備はつて、ボロが出るやうなことはございません。

「鍛太郎や、おまへももう高等小學を卒業したんだ、尋常を出て直ぐに中學へ進んだとすれば、今年は三年生になつた譯だ。それなら人様に今日の挨拶位は、もう心得てなくちやならない。今も聞いて居れば、お隣の御隱居が、やあ今日はと云つたのに、お前は唖か聾みたいに默つてゐた。それならばまだいゝんだが、その次ぎに御隱居が、隨分寒いなと言つたら、お前は何と言つたね、寒いたつて僕のせゐぢやないですと言つたぢやないか。そんな挨拶といふがあるかね」

「だつてお父つさん、寒いのは僕が寒くしたんぢやないぢやありませんか」

「そりや言はなくつても分つてるさ、どこの世界に、氣候を暑くしたり寒くしたりすることの出來る人間があるものかね」

「だからそれでいゝぢやありませんか」

「そこが今日の挨拶といふものだ自分のせゐで寒くなつた譯ではないが、人様から隨分寒いねと聲を掛けられたら、全くお寒う御座いますね、この向きだと今晩あたり白いものを見るかも知れませんです、位のことは言へなくつちや駄目ぢやないか」

「そんな事が挨拶なら、なんでもないです」

「だから、なんでもなく言へる口を持つてゐるんだから、人様から挨拶の言葉を掛けられたら、叮嚀に挨拶を返すんです」

「つまり何でせう、向ふで今日はと言へば今日は、お早うと言へばお早うと言へばいゝんでせう」

「さう鸚鵡返しでも曲がない。そこは何とか少し言葉を添へなくつちや愛嬌といふものがない。男は度胸、女は愛嬌と云ふけれど、男だつて愛嬌があれば人様から可愛がられる、可愛がられて損の立つことはない。以後よく氣をつけなさい」

「えゝ分りました」

鍛太郎大いに心得たつもりで、それからは隣の隱居や向ひの亭主と顔を合はすたびに、大いに雄辯を揮つて挨拶の言葉を述べるので

「あの子も今年は十六になつたさうだが、年が一つ殖えれば殖えただけのことはある。近頃は挨拶などもなか〜上手になつた。今日も途中で會つたところ隨分寒う御座います、この向ですと、今夜あたり白いものを見るでせうなんて、急に大人らしいことを言ふやうになつた、感心なものだ」

隣りの隱居はスッカリ感心して向ひの亭主に吹聽らしく話したりして、鍛太郎は近所の評判が大變によくなりました。

やがて春になりました、春雨がシト〜と降つて、毎日うつ陶しい日が續きます。

「や、鍛太郎さん、どちらへ」

「へい、親父の用事で、一寸其所まで」

「毎日シト〜うつ陶しいことだね」

「全くシト〜とうつ陶しいことです、この向きですと晩には白、いやしつぽり濡れちやうでせう」

相手の人は變な顔をして行つて了ひました。しつぽり濡れるなどゝいふ言葉は、決して子供の使ふべき言葉ではありません。

「どうも鍛太郎さんは少々變ですね」

「どうしたのです」

「子供らしくないことを言ひますよ」

「へえ、どんなことを?」

「どんなことつて、まだ春情發動期にはちと早過ぎるやうだのに、どうも變ですよ」

「近頃の子供は早熟ですからね。油斷がなりませんよ」

「どうも近所にあゝいふ軟派の不良少年がゐては、女の子を持つ親は心配ですね」

今まで評判のよかつた鍛太郎は一轉して不良少年のやうな評判を立てられましたので、親達も非常に心配をして、これは家に引き籠つてゐて小説なんかに讀み耽つてゐるためであらう、これから成るべく外へ出して、運動をさせることにしよう。まだ〜あれ位の時には、スポンヂボールで野球に夢中になつてゐていゝんだ、さうだ、これから少し野球に凝るやうに仕向けてやらう。

「へい、今日は御免なさいまし」

「やあ鐵五郎さんかい、暫く見えなかつたね、どうだね景氣は」

「景氣なんかどうだつていゝんです」

「へえ、御挨拶だね。不景氣〜で世間がこぼしてゐるのに、お前さんは、又大層な鼻息だね、そんなに景氣がいゝのかね」

「ちつともよくありませんけど、あつしや毎日々々雨が降りやがつて、好きな野球が出來ねえんで、スッカリ腐つてるんです」

「あゝ、さう〜、お前さんは野球狂、いや野球病、ぢやない野球道樂だつたね。いゝ道樂だ、道樂にも色々あるが、大抵は金を費つて身體を悪くするものばかりだ。そこへ行くと野球道樂は全くいゝ道樂だ」

「そんなにいゝ道樂だと思ふんでしたら、お宅の鍛太郎さんにも、ちつと野球をやらせなすつちや如何ですね。今時の少年青年で野球が出來ねえやうだと、世間へ出ても人から相手にされませんぜ」

「へえ、そんなものかね」

「だつてさうぢやありませんか、ありや焼き(野球)が駄目だから人間が甘いつてね」

「何だい、洒落かい」

「まあ、さう言つたやうな譯ですから、鍛太郎さんにも是非野球をやらせるやうお勸めします、實はその事で今日は參りましたので」

「いや、有りがたう、わたしも實は鍛太郎に野球をやらせるやうにしたいものだと、今も今とてその事を考へてゐたんだ。お前さんがさうまで言つてくれるのは丁度幸ひだ、ひとつ、天氣になつたら誘ひ出してもらひたいもんだ」

其所へ丁度鍛太郎が二階から降りて来たので、早速此の事を話しますと、

「僕、野球なら少しは出來るんです」

と非常な乘氣であります。

「さうかい、それは大變都合がいゝ、實は鐵五郎さんが是非お前にも、野球をやらせるやうにと、親切に勸めに来て下すつたのだ」

「さうですよ鍛太郎さん、あなたは少年だから、稽古をすりや直ぐ巧くなりますよ。實はあつしどもが組織してゐる血櫻團といふチームで、メンバーが一人足りないもんだから……」

「鐵五郎さん、その血櫻團といふのは、本當に野球のチームですかい」

「變なことを旦那お聽きですね。どうしてですね」

「いや、近頃新聞で見ると、淺草に血櫻團とかいふ不良少年の團體があつて、カフエーを脅かして無錢飲食をする、往來や活動館の中で氣の弱さうな者に喧嘩を吹きかけて飲み代を取るとか、迚もギヤング的な事ばかりやつてゐたといふ事だから、どうも血櫻團はチームの名前には、荒つぽ過ぎやしないかね」

「なアにそんな事があるもんですかね、もつと凄い名前がありますよ」

「へえ、血櫻團よりはもつと凄いのだつて、どんなのがあるんだね」

「血盟團といふのもあるし……」

「血盟團は物騒だね」

「一人一殺團といふものもあるし……」

「井上日召が團長ぢやあるまいね」

「爆彈倶樂部といふのもあるし……」

「本當かね鐵五郎さん、まさか私をからかつてゐるんぢやあるまいね」

「突撃決死團といふのもあるし、あつしのチームの血櫻團なんか、名前が優し過ぎて困つてるんです」

「どうして又そんな、五・一五事件か、農民密盟團とか言つたやうな、物騒な名前ばかり附けてるんだね」

「だつて、野球は相手を殺せば、勝ちになるんでせう」

「殺すと言つたつて、本當に殺すわけではないのだから、別段そんな物騒な名前を附ける必要はなからうぢやあるまいか」

「それがどうしてもさういふ名前でなくつちやいけねえんです」

「それは又、どういふ譯で?」

「兎角野球選手は女に持てるので、だがこいつがどうも選手には鬼門なんで……」

「はゝア、女難よけのため、チームの名前を物凄くしてゐるといふのかね」

「まあ、さういふ譯で……」

「ぢや、お前さんなんか、第一番に女に持てる方なんだな」

「あつしや監督だから、選手ぢやありませんや」

「ぢや選手の方はもう卒業したのかい」

「はなから監督をやるんで……」

「それでゐてよく選手を仕込むことが出來るね」

「なアに俄仕込みでさ」(終)

家庭満洲語 紙上講座

第廿八課

一
(1) 天氣很好
(2) 晒鋪盖
(3) 打一打
(4) 疊上
(5) 疊鋪盖
(6) 都疊好了

二
(1) 好的
(2) 不好的
(3) 這個不好
(4) 換好

三
(1) 那個好
(2) 這個好
(3) 那個太大
(4) 換小的

四
(1) 褯子
(2) 髒了
(3) 洗了麼
(4) 沒洗
(5) 怎麼不洗
(6) 天氣不好

【譯語】

一 (1) 天氣が大層好い (2) 夜具を日に乾す (3) 叩く(叩け) (4) 疊む (5) 夜具を疊む (6) 悉皆り疊んで仕舞つた

二 (1) 善いの (2) 悪いの (3) これは悪い (4) 善いのと取換へる

三 (1) どれが善いか (2) これが善い (3) あれは大き過ぎる (4) 小さいのと取換へる

四 (1) むつき(おしめ) (2) 汚れた (3) 洗つたか (4) 洗はなかつた (5) 何故洗はないか (6) 天氣が悪い

【説明】

天氣 は天候又は時候のことで晴雨寒暑の總てに用ふる言葉である。

很 は甚だといふことで、非常にとか大變などゝ譯す。

鋪蓋 の鋪は下に敷くこと、盖は上から被せることで、それから轉じて寢具といふ言葉に成つたのである。

換好的 或は **換小的** の如きものは總て(斯様斯様なのと取換へる)又は(斯様斯様なのに取換へる)といふ意味のものである。

怎麼不 〇〇は(何故〇〇せぬか)といふ言表し方の言葉である

發音上の注意

很 ヘ(ハ)ーヌは單純なヘーヌではなくして(ハ)の音を出す口つきを其儘變へずに(ヘ)を發音しやうとすれば(ヘ)と(ハ)の間の音が咽頭の方から出て來るから、其音を稍伸ばして最後に舌尖を顎齶に附けて輕く(ヌ)に終るのである。

晒 ス(ア)エイは舌尖を内方に曲げて上齶との隙間から(サ)の音を出さうとして直後にアエイをつゞめて發すればよい。

那個 ナエ(イ)コ(カ)は那一個のつゞまりで

這個 ツエ(イ)コ(カ)は這一個のつゞまりから替はつて來たのである。

前週の答

(1) 不穿衣裳 (2) 不穿鞋 (3) 你換換 (4) 換水 (5) 不換衣裳 (6) 晒乾了 (7) 都收起來了 (8) 擦乾淨 (9) 刷乾淨了麼 (10) 很乾淨了

【問題】 次の言葉を支那語に譯せ

(1) これは大層宜しい (2) あれは大變悪い(良くない) (3) 着物を疊む (4) 綺麗なのと取換へる (5) 私は良いのが欲しい (6) 良いのは無い (7) どちらが正しいか (8) これが正しい (9) あれが違つて居る (10) 何故行かないか

一年前の回顧

大東京市生る (十月一日)

[illegible]郡八十二ケ村、半徑十哩五百萬市民を抱擁する待望久しかりし大東京市が遂に生れ、大東京市はわきかへるやうな祝賀氣分が漲りました、この日市長永田秀次郎氏は午前十時半宮中に參内市民の名において上奏文捧呈、十一時半明治神宮參拜市の永劫の繁榮を祈願しました

リ報告書發表 (同 二日)

全世界の注目を惹いたリットン卿一行の聯盟調査委員がジュネーヴの聯盟に對して爲した支那調査報告は午後九時ジュネーヴ、東京、南京三ケ所に於て一齊に發表されました

星ケ浦の匪賊逮捕 (同 上)

満洲事變以來頻々として州内に匪賊の侵入あり油斷がならぬので旅大各警察署で必死の警戒中遂に星ケ浦方面襲撃の計畫中の匪賊六名を逮捕すると同時に待機潛伏中の甘井子埠頭北方の匪賊をも交戰の結果逮捕しました

産業博の醜状暴露 (同 三日)

伏魔殿視されてゐた日満貿易協會主催の大日満産業博覧會は開期僅か二ケ月の間に大連市民に十數[illegible]圓の大損害を蒙らしめ遂にそのインチキ博覧會の醜状を暴露しました

ヤ軍爭覇戰に優勝 (同 四日)

シカゴカップス、ヤンキースの世界野球選手權爭覇戰はルース、ゲーリッグ等の名手を有するヤンキースが三回連勝遂に覇權を獲得しました

武裝移民團出發 (同 五日)

關東、東北五縣の在郷軍人移民團四百三十二名は満蒙新天地開拓に向ふため五日午前カーキ色の軍服を着用神戸市中を行進、正午第三突堤からばいかる丸に乘船しました

リ報告書に反駁 (同 七日)

満洲國政府はリットン報告に對して安住樂土の建設を目標として獨立を宣言して以來中華民國の實情とは比較すべからざる幸福な發展を遂げ日本の承認により國際團體の一員たるの資格を得て欣喜してゐる満洲國三千萬民衆に對し冷水を浴びせるものであるとの聲明書を發表しました

朝 晝 晩

和田とし子

	朝	晝	晩
日	味噌汁(玉葱)、卵の半熟、アミ鹽辛	コロッケ、鳥ロースミスープ、プディング	蟹玉(支那料理)、野菜スープ、胡瓜、コハダの酢物
月	茄子新焼、味噌汁(春菊)、蓮根の辛子和へ	ホウボウの黄味焼、炒り鳥、大根のゴマ味噌かけ	牛肉の雜煮、ニシンの吉野煮、八ッ頭の柚子串焼、ほうれん草のしたし
火	味噌汁(豆腐)、鹽ザケ、卵のポーチエッグ	サバの照焼、小芋の含煮、豚、豆腐の煮込	清汁(松茸、豆腐)、エビのフライ、インギンのシタシ
水	味噌汁(ワカメ)、蛤佃煮、ハム・エッグス	アナゴの甘煮、鳥のキャベツ煮、鮪の鹽焼	刺身、茄子焼(生姜醤油)、豆腐の清汁
木	味噌汁(馬鈴薯)、ビフステキ、馬鈴薯の粉ふき煮	コンニヤクの辛煮(唐辛子)、サバの味噌煮、カボチャのキントン煮	豆腐のアンカケ、豚とキャベツ鹽煮、馬鈴薯のフランス揚
金	葱の味噌汁、フライエッグス、鹽サバ(焼)	鰯の天プラ、蓮根甘煮、新菊の汁	ケンチン汁、ホウボウの鹽焼、マグロの刺身
土	味噌汁(茄子)、煎卵、ハゼの佃煮	鯛の下ろし煮、松茸つけ焼(橙酢)、さつま芋金とん煮	鋤焼(鳥)、松茸の清汁

主な料理の拵方

▼…茄子新焼…材料(味噌五十匁砂糖二十匁)濃い出し汁五合をドロ〜に煮て、茄子に油を刷毛[illegible]して鹽洗して焼き、卵の黄を刷毛で塗り、二度位塗つては焙ります

▼…八ッ頭の柚子串焼…八ッ頭を適宜に切り串に刺して醤油をつけて焼き、味噌五十匁、砂糖二十匁位に出汁一合を加へて煉り上げ柚子の皮を微塵切にし灰汁を抜いたものを前の味噌の中に入れて刷毛で八ッ頭に刷毛で塗り、一寸炙つて出します。

▼…いりどり…酒を沸かして鳥肉を切り入れ、沸騰した時に鳥肉を取り上げ醤油の中に肉を入れ、後の汁で、コンニヤク、牛蒡のゆでたのを煮て前の鳥肉を入れて、トロ火で汁のなくなるまで煮込む七味唐辛子を振りかけて出します

▼…牛肉の雜煮……野菜と肉を賽の目に切り入れて、砂糖、醤油で煮込みます。

▼…卵のポーチエッグ……沸騰してゐる湯の中に玉子を割り込み半熟になつたころ上げトーストパンにバタを塗つて、卵を上にのせます。

▼…茄子焼…瓦斯で丸の儘の茄子をとろ火で焼き、皮を剝いて、適宜に切つて生姜醤油をつけます

▼…蟹玉…葱、百合根、筍を細く線切りにし蟹の罐詰の汁をとりフライ鍋に油をひいて野菜を炒ります。炒れたら、鹽、胡椒をふつて混ぜ、前の蟹汁を鍋の中に入れて、蟹を並べ、卵の溶いたのを上からかけます。

用心深いパパ